

岡山大学（東山（一））附属中学校 校舎改修Ⅱ機械設備工事

図面番号	図面名称	縮尺 (A1)	縮尺 (A3)	図面番号	図面名称	縮尺 (A1)	縮尺 (A3)
M-001	表紙・図面リスト	—	—	M-023	給排水衛生・ガス設備 機器表・器具表・系統図（改修）	—	—
特-001	特記仕様書（1）	—	—	M-024	給排水衛生・ガス設備 屋外配管図（改修）	1/200	1/400
特-002	特記仕様書（2）	—	—	M-025	給排水衛生・ガス設備 1階配管平面図（改修）	1/100	1/200
特-003	特記仕様書（3）	—	—	M-026	給排水衛生・ガス設備 2・R階配管平面図（改修）	1/100	1/200
M-002	配置図・案内図	1/600	1/1200	M-027	給排水衛生・ガス設備 詳細図（改修）	1/50	1/100
M-003	建物断面図	1/100	1/200	M-028	空調・換気設備 機器表（撤去）	—	—
M-004	防火区画図（1）・床下ピット範囲図	1/100	1/200	M-029	空調・換気設備 1、2階配管平面図（撤去）	1/100	1/200
M-005	防火区画図（2）	1/100	1/200	M-030	空調・換気設備 1階ダクト平面図（撤去）	1/100	1/200
M-006	凡例	—	—	M-031	空調・換気設備 2階ダクト平面図（撤去）	1/100	1/200
M-007	空調設備 機器表（改修）	—	—	M-032	空調・換気設備 R階ダクト平面図（撤去）	1/100	1/200
M-008	空調設備 配管系統図（改修）	—	—	M-033	空調・換気設備 機械室ダクト詳細図（撤去）	1/50	1/100
M-009	空調設備 1階配管平面図（改修）	1/100	1/200	M-034	空調・換気設備 便所ダクト詳細図（撤去）	1/50	1/100
M-010	空調設備 2階配管平面図（改修）	1/100	1/200	M-035	自動制御設備 計装図（撤去）	—	—
M-011	換気設備 機器表（1）（改修）	—	—	M-036	自動制御設備 盤姿図（撤去）	—	—
M-012	換気設備 機器表（2）（改修）	—	—	M-037	自動制御設備 1、2階平面図（撤去）	1/100	1/200
M-013	換気設備 ダクト系統図（改修）	—	—	M-038	給排水衛生設備 凡例、器具表、系統図（撤去）	—	—
M-014	換気設備 1階ダクト平面図（改修）	1/100	1/200	M-039	給排水衛生設備 屋外配管図（撤去）	1/200	1/400
M-015	換気設備 2階ダクト平面図（改修）	1/100	1/200	M-040	給排水衛生設備 1階平面図（撤去）	1/100	1/200
M-016	空調・換気設備 配管立面図（1）（改修）	1/100	1/200	M-041	給排水衛生設備 2階平面図（撤去）	1/100	1/200
M-017	空調・換気設備 配管立面図（2）（改修）	1/100	1/200	M-042	給排水衛生設備 R階平面図（撤去）	1/100	1/200
M-018	空調・換気設備 断面詳細図（改修）	1/50	1/100	M-043	給排水衛生設備 便所詳細図（撤去）	1/50	1/100
M-019	空調・換気・給排水衛生設備 リモコン配線計装図（改修）	—	—	M-044	ガス設備 1階平面図（撤去）	1/100	1/200
M-020	空調・換気・給排水衛生設備 リモコン配線屋外平面図（改修）	1/200	1/400	M-045	ガス設備 2階平面図（撤去）	1/100	1/200
M-021	空調・換気・給排水衛生設備 リモコン配線1階平面図（改修）	1/100	1/200				
M-022	空調・換気・給排水衛生設備 リモコン配線2階平面図（改修）	1/100	1/200				

本図面は工事概要を示すものであり、発注図とは異なる。

岡山大学（東山（一））附属中学校校舎改修Ⅱ機械設備工事			
I 工事概要			
1. 工事場所 岡山市中区東山二丁目1.3番80号（岡山大学東山（一）団地構内）			
2. 完成期限 令和8年3月31日（火曜日） ※但し、財政上の定めによる承認を得た場合は、令和9年2月26日（金曜日）までとする。			
3. 建物概要			
建物名称	中学校2号館		
工種	模様替		
構造	RC造		
階数	地上2階		
建築基準法による	建築面積 (㎡)	1,743㎡	
	延べ面積 (㎡)	2,674㎡	
消防法施行令別表第一の区分	7項		
改修面積 (㎡)	2,674㎡		
備考			

4. 工事種目（●印の付いたものが対象工事種目）			
	建物別及び屋外	工 事 種 別	
工事種目	中学校2号館		屋 外
●空調調設備	一式		
●換気設備	一式		
○排煙設備			
○自動制御設備			
●衛生器具設備	一式		
●給水設備	一式		一式
●排水設備	一式		
●給湯設備	一式		
●消火設備	一式		一式
●ガス設備	一式		一式
○雨水利用設備			
●撤去工事	一式		一式

5. 指定部分	●無 ○有	対象部分（指定部分工期 年 月 日）
6. 概成工期	●無 ○有	令和 年 月 日（ 曜日）
7. 設備概要	●印の付いたものを適用する	
方式及び種別	設 備 概 要	
空調方式	○パッケージ形空調調機（EHP）	
主要熱源機器	○	
自動制御方式	○電気式 ○電子式 ○デジタル式	
給水方式	○高置タンク方式 ○加圧給水ポンプ方式 ●直圧直結給水方式	
排水方式	建物内の汚水と雑排水（○合流式 ●分流式）	
	ポンプ排水 ●有（○汚物○雑排水●湧水）○無排水槽 ○有（計画容量 m3） ●無排水物外放流先	
消火設備の種類	●(1)汚水 ●直放流下水管 (2)雑排水 ●直放流下水管	
	●屋内消火栓設備 ○スプリンクラー設備 ○泡消火設備 ○連結散水設備 ○連結送水管 ○不活性ガス消火設備（ ）	
ガスの種類	●都市ガス（種別13A、高位発熱量45.0MJ/m ³ (N)、低位発熱量40.6MJ/m ³ (N) 供給圧力 Pa、一般ガス導管事業者名 岡山ガス（株））	
	○液化石油ガス ※改修の場合は既存概要を示す	

II 工事仕様	
1. 共通仕様	
(1) 文部科学省発注工事請負等契約規則（文部科学省訓令第二十二号）別記第1号の工事請負契約基準、現場説明書、図面4.5枚及び本特記仕様書 3枚によるほか、●印の付いたものを適用する。	
●公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和7年版）（以下「標準仕様書」という。）	
●公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和7年版）（以下「改修標準仕様書」という。）	
●公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和7年版）（以下「標準図」という。）	
●文部科学省機械設備工事標準仕様書（特記基準）（令和7年版）（以下「文科仕様書」という。）	
●工事写真撮影要領（令和5年7月）	
(2) 建築工事及び電気設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。なお、建築工事の特記仕様書は（ ）図、電気設備工事の特記仕様書は（ ）図による。	
2. 特記仕様	
(1) 本特記仕様書の表記	
1) 項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用し、○印の付いたものは適用しない。	
2) 項目に記載の〔第 編 . . . 〕内表示番号は、標準仕様書の該当項目番号を示す。	
3) 項目に記載の〔第 編 . . . 〕内表示番号は、改修標準仕様書の該当項目番号を示す。	
4) 項目に記載の<第 編 . . . >内表示番号は、文科仕様書の該当項目番号を示す。	

章	項目	特記事項
●一般共通事項	●適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ●風圧力 風速 (Vo= 32m/s) 地表面粗度区分 () ●積雪荷重 建設省告示第1455号における区域 別表 (34)

備考	
----	--

●電気保安技術者	
(第1編1.3.2)	●
[第1編1.3.2]	●
この工事現場に、下記のいずれかの電気保安技術者を選任する。	
項 目 名	電気保安技術者
1.第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	●
2.1級電気工事施工管理技士の資格を有する者	●
3.高等学校又はこれと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	○
4.旧電気工事技術者検定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	○
5.公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	○
6.第1種電気工事士の資格を有する者	●
7.2級電気工事施工管理技士の資格を有する者	○
8.第2種電気工事士の資格を有する者	○
9.短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）による高圧電気工事技術者卒業した者	○
工事用電力を構外から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。	

●施工条件	
(第1編1.3.3)	●
[第1編1.3.3]	●
・構内での喫煙は厳禁とする。（屋外・車中を含む。）	
また、敷地外であっても学校周辺での喫煙については厳禁こと。	
・騒音・振動・粉塵の発生を伴うと予想される作業実施の際には、その発生を抑制する工法を採用すること。やむを得ず騒音・振動・粉塵の発生を伴うと予想される工法を使用する場合は、第三者にその影響を及ぼさない措置を講じること。	
・本工事現場周辺の構内建物では、工事期間中においても通常の教育・研究等を行っているため、工事施工においては、その教育・研究等に配慮した施工計画をたて、監督職員との協議を受けること。	
・分離発注される建築工事、電気設備工事の受注者と工程・施工区分等について事前に協議を行い、合意に基づく施工計画により作業を実施する。	
・中学校2号館（保健室を除く）については、令和8年12月1日（火）より「工事請負契約基準第34」に基づく部分使用を行うものとする。これより、令和8年11月30日（月）までに当該部分の施工及び各種検査を完了させること。	

●発生材の処理等	
[第1編5.1.1~2]	
発生材の処理は、下記による。	
(1) 引渡しを要するもの	
1) 品 名	3) 集積場所
2) 引渡し先	4) 集積方法
(2) 特別管理産業廃棄物	
1) 品 名	
2) 処理方法	
(3) 現場において再利用するもの	
1) 品 名	
2) 使用場所	
(4) 再生資源化するもの	
1) 品 名	
(5) その他の発生材	
1) 品 名 鉄くず 保温材等	
2) 処理方法 関係法令に基づき適切に処分	

●環境への配慮	
(第1編1.4.1)	
[第1編1.4.1]	
(1) 本工事において、「図等による環境物品等の調達推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和7年1月閣議決定）」に定める特定調達品目の分野「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。	
(2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。	
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びビスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。	
② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。	
③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性剤を除く）が添加されていない材料を使用する。	
④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びビスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。	

●機材の品質等			
(第1編1.4.2)			
[第1編1.4.2]			
(1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。			
(2) 下表に機材名が記載された製造業者等は、以下に指定する事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、以下に指定する事項を評価されたことを示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承諾を受けた場合は証明となる資料等の提出を省略することができる。			
○品質及び性能に関する試験データを整備していること。			
○生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。			
○安定的な供給が可能であること。			
○法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。			
○製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。			
○販売、保守等の営業体制を整えていること。			
機材名			
監督職員が行う機材の検査及び機材検査に伴う試験は下記による。			
機 材 名	検査	試験	備 考
機器類	●	○	
	○	○	
事前調査 ●本工事 ○別途 調査内容 調査項目 ●既存資料調査 調査範囲 ○図示 ●工事対象エリア 調査方法 ○図示 ●目視			

●機材の検査等機材の検査に伴う試験	
(第1編1.4.4~5)	
[第1編1.4.4~5]	
●施工調査	
[第1編1.5.1~4]	

○技能士	
(第1編1.5.2)	
[第1編1.6.2]	
●施工の検査等検査に伴う試験・立会い等	
(第1編1.5.4~5)	
[第1編1.5.8] [第1編1.6.5~6]	
[第1編1.6.9]	
○技術検査	
(第1編1.6.2)	[第1編1.7.2]
●完成時の提出図書	
(第1編1.7.1~5)	
[第1編1.8.1~6]	

○技術検査	
(第1編1.6.2)	[第1編1.7.2]
●完成時の提出図書	
(第1編1.7.1~5)	
[第1編1.8.1~6]	
工事完成後提出する完成図等の種類及び提出部数は下記による。	
名 称	体 裁 等
●完 成 図	CADデータ（電子納品）及び電子データ
○ "	原図 ○A1版（部） ○A3版（部）
○ "	複写図製本（A4版黒厚紙表紙金文字入）（部）
● "	複写図製本 ●A1版（1部） ●A3版（2部）
●施 工 図	CADデータ（電子納品）及び電子データ
●保全に関する資料	○紙媒体（部） ●電子データ(PDF, Excel, Word)
●試験成績書	○紙媒体（部） ●電子データ(PDF)
●機器完成図	○紙媒体（部） ●電子データ(PDF)
●諸手続書類（写）	○紙媒体（部） ●電子データ(PDF)
●工 事 写 真	●紙媒体（1部） ●電子データ
※紙媒体はA4版ファイル綴じ、電子データはPDF形式とする。	
電子納品は次にによる。	
(1) 貸与する設計図CADデータの著作権者名：(株)総合設備計画	
ファイル形式：JWW	
貸与条件：貸与するCADデータを本工事における施工図又は完成図以外に使用しないこと。	
(2) 電子納品の対象は上記によるほか、監督職員と受注者で協議を行う。	
(3) 電子成果品は、提出前にウイルス対策を実施したうえで監督職員に提出する。	
(4) 提出方法及びファイル形式は以下による。	
CADデータ：JWW、DXF及びPDF	
提出方法：CD又はDVDに保存し、2部提出する。	
工事着手前に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。	

●石綿含有建材の調査	
(第1編1.5.1)	[第1編4.1.2]
●他工事又は他工種との取り合い	
(第2編1.2.1)	[第2編1.2.1]
●電動機	
(第2編1.2.1)	[第2編1.2.1]
●電源周波数	
●容量等の表示	

●総合試運転調整	
(第2編1.5.6)	[第2編1.6.7]
●足場その他	
(第2編4.1.1)	[第2編2.2.1]
●埋め戻し土・盛土	
(第2編4.2.1)	[第2編4.2.1]
●建設発生土の処理方法	
(第2編4.2.1)	[第2編7.1.1]
●耐震措置	

●空気調和設備	
(第2編1.2.1)	[第2編1.2.1]
●設計温湿度	
(第3編1.1.2)	[第3編1.1.1]
○鋼板製煙道	
(第3編1.1.2)	[第3編1.1.1]
○ダクト	
(第3編1.14.1)	[第3編1.1.1]
●別契約の関係受注者が設置したものは無償で使用できる。	
○本工事で設置する。（ 図参照）	
○内部足場（ ） ○外部足場（ ）	
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。	
●根切り土の良質土 ○山砂の類	
以下の配管は、管の周囲に山砂の類を施す。	
●埋設配管	
○構内敷きならしとする。 ●構外に敷出し、適切に処分する。	
設備機器の固定は、次によるほか、すべて建築設備耐震設計施工指針2014年版（独立行政法人建築研究所監修）による。	
(1) 機器の据付け及び取付け	
設計用水平地震力は、機器の重量[kN]・水槽類は満水時の液体重量を含む設備機器総重量)に、地震係数 0.9 及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。	
設計用標準水平震度	
機器種別	●特定の施設 ○一般の施設
	重要機器 一般機器 重要機器 一般機器
上層階	機器 2.0 1.5 1.5 1.0
屋上及び塔屋	防振支持の機器 2.0 2.0 2.0 1.5
	水槽類 2.0 1.5 1.5 1.0
中間階	機器 1.5 1.0 1.0 0.6
	防振支持の機器 1.5 1.5 1.5 1.0
	水槽類 1.5 1.0 1.0 0.6
地階・1階	機器 1.0 0.6 0.6 0.4
	防振支持の機器 1.0 1.0 1.0 0.6
	水槽類 1.5 1.0 1.0 0.6
・上層階とは2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。	
・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの	
・水槽類にはオイルタンクを含む。	
・重要機器は次による。	
[名称：消火用充水タンク、記号：T-F-1]	
[名称：、記号：] [名称：、記号：]	
[名称：、記号：] [名称：、記号：]	
(2) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とする。	

●既存躯体への穿孔	
[第2編6.2.1]	
●設計温湿度	
(第3編1.1.2)	[第3編1.1.1]
○鋼板製煙道	
(第3編1.1.2)	[第3編1.1.1]
○ダクト	
(第3編1.14.1)	[第3編1.1.1]
●別契約の関係受注者が設置したものは無償で使用できる。	
○本工事で設置する。（ 図参照）	
○内部足場（ ） ○外部足場（ ）	
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。	
●根切り土の良質土 ○山砂の類	
以下の配管は、管の周囲に山砂の類を施す。	
●埋設配管	
○構内敷きならしとする。 ●構外に敷出し、適切に処分する。	
設備機器の固定は、次によるほか、すべて建築設備耐震設計施工指針2014年版（独立行政法人建築研究所監修）による。	
(1) 機器の据付け及び取付け	
設計用水平地震力は、機器の重量[kN]・水槽類は満水時の液体重量を含む設備機器総重量)に、地震係数 0.9 及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。	
設計用標準水平震度	
機器種別	●特定の施設 ○一般の施設
	重要機器 一般機器 重要機器 一般機器
上層階	機器 2.0 1.5 1.5 1.0
屋上及び塔屋	防振支持の機器 2.0 2.0 2.0 1.5
	水槽類 2.0 1.5 1.5 1.0
中間階	機器 1.5 1.0 1.0 0.6
	防振支持の機器 1.5 1.5 1.5 1.0
	水槽類 1.5 1.0 1.0 0.6
地階・1階	機器 1.0 0.6 0.6 0.4
	防振支持の機器 1.0 1.0 1.0 0.6
	水槽類 1.5 1.0 1.0 0.6
・上層階とは2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。	
・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの	
・水槽類にはオイルタンクを含む。	
・重要機器は次による。	
[名称：消火用充水タンク、記号：T-F-1]	
[名称：、記号：] [名称：、記号：]	
[名称：、記号：] [名称：、記号：]	
(2) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とする。	

●配管	
(第2編第2章)	
[第2編第2章]	
●地中埋設機等	
(第2編7.1~3)	[第2編7.1~3]
○絶縁継手	
(第2編2.12)	[第2編2.4.1]
●試験	
(第2編9.1~5)	[第2編9.1~7]
●保温	
(第2編3.1.1~6)	[第2編3.1.1~4]
●塗装	
(第2編3.2.1)	[第2編3.2.1]
○天井仕上げ区分	
●電線類	
(第2編4.7.1)	[第2編4.7.1]
○監視・制御システムのサイバセセキュリティ	
●既存躯体への穿孔	
[第2編6.2.1]	

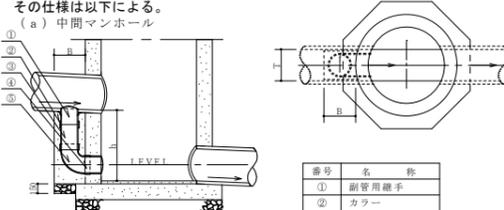
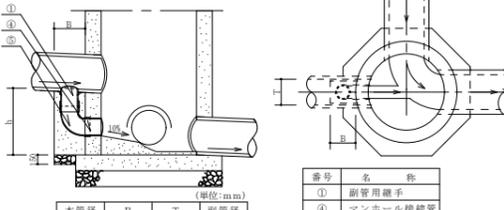
●設計温湿度	
(第3編1.1.2)	[第3編1.1.1]
○鋼板製煙道	
(第3編1.1.2)	[第3編1.1.1]
○ダクト	
(第3編1.14.1)	[第3編1.1.1]
●別契約の関係受注者が設置したものは無償で使用できる。	
○本工事で設置する。（ 図参照）	
○内部足場（ ） ○外部足場（ ）	
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。	
●根切り土の良質土 ○山砂の類	
以下の配管は、管の周囲に山砂の類を施す。	
●埋設配管	
○構内敷きならしとする。 ●構外に敷出し、適切に処分する。	
設備機器の固定は、次によるほか、すべて建築設備耐震設計施工指針2014年版（独立行政法人建築研究所監修）による。	
(1) 機器の据付け及び取付け	
設計用水平地震力は、機器の重量[kN]・水槽類は満水時の液体重量を含む設備機器総重量)に、地震係数 0.9 及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。	
設計用標準水平震度	
機器種別	●特定の施設 ○一般の施設
	重要機器 一般機器 重要機器 一般機器
上層階	機器 2.0 1.5 1.5 1.0
屋上及び塔屋	防振支持の機器 2.0 2.0 2.0 1.5
	水槽類 2.0 1.5 1.5 1.0
中間階	機器 1.5 1.0 1.0 0.6
	防振支持の機器 1.5 1.5 1.5 1.0
	水槽類 1.5 1.0 1.0 0.6
地階・1階	機器 1.0 0.6 0.6 0.4
	防振支持の機器 1.0 1.0 1.0 0.6
	水槽類 1.5 1.0 1.0 0.6
・上層階とは2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。	
・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの	
・水槽類にはオイルタンクを含む。	
・重要機器は次による。	
[名称：消火用充水タンク、記号：T-F-1]	
[名称：、記号：] [名称：、記号：]	
[名称：、記号：] [名称：、記号：]	
(2) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とする。	

備考	
----	--



岡山大学施設企画部

工事名称	岡山大学（東山（一））附属中学校校舎改修Ⅱ機械設備工事	縮尺	A1:- A3:-	図面番号	特-001
------	-----------------------------	----	--------------	------	-------

<p>○チャンパー 〔第3編1.14.4〕 〔第3編1.2.1〕</p> <p>○ダンパー 〔第3編1.15.6~14〕 〔第3編1.1.1〕</p> <p>●配管材料及び記号 〔第2編2.1.1~2〕 〔第2編2.1.1〕</p> <p>○弁類 〔第2編2.2.1~6〕 〔第2編2.1.1〕</p> <p>●保温及び消音内貼 〔第2編3.1.1〕 〔第2編3.1.3〕</p> <p>○塩化ビニル製送風機・強化プラスチック製送風機</p>	<p>円形ダクトの吊り金物及び支持金物 単位 mm</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">ダクトの長さ</th> <th colspan="2">棒鋼吊り金物</th> <th colspan="2">支持金物</th> </tr> <tr> <th>平鋼寸</th> <th>棒鋼</th> <th>最大間隔</th> <th>形寸法</th> </tr> <tr> <td>300以下</td> <td>30x3</td> <td>呼び径9 (1本吊り)</td> <td>4,000</td> <td>30x30x3</td> </tr> <tr> <td>300を越え500以下</td> <td>40x3</td> <td>呼び径9 (2本吊り)</td> <td>4,000</td> <td>40x40x3</td> </tr> </table> <p>○グラスウール製ダクト(長方形ダクト) JIS4009によるほか、公共仕様書第3編 1.14.2「ダクト用材料」の当該事項による。 最大風速13m/s以下で、長辺の長さが2,000mm以下の低圧ダクトに適用する。 また、ダクト内温度は70℃以下、ダクト周辺温度は-30℃から70℃の範囲とする。 ただし、排煙ダクト、厨房など火気使用室の排気ダクト、及び多湿箇所には使用しない。</p> <p>長方形ダクトの吊り金物及び支持 単位 mm</p> <table border="1"> <tr> <th>補強材</th> <th>最大間隔</th> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>2,400</td> </tr> <tr> <td>あり</td> <td>2,000</td> </tr> </table> <p>注1 支持材料は、軽量形鋼50×25×5×0.5t以上とする。 2 吊り鋼棒は、呼び径9mmとする。</p> <p>○塩ビインゴ鋼板製スパイラルダクト 直管は、JIS A 4009によるほか、公共仕様書第3編 1.14.4「スパイラルダクト」による。 継手は、両面にポリ塩化ビニル(塩化ビニル樹脂)を塗布したものとす。 製作及び取付は、公共仕様書第3編 2.2.1「一般事項」、公共仕様書第3編 2.2.2「3」スパイラルダクト」に準ずる。ただし、ダクトの接合に用いるスクリュービスはステンレス製とする。</p> <p>○ステンレス製スパイラルダクト 直管は、JIS A 4009によるほか、公共仕様書第3編 1.14.4「スパイラルダクト」による。 継手は、JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯)によるSUS 304を用いてはね継ぎ又は溶接したものとする。 製作及び取付は、公共仕様書第3編 2.2.1「一般事項」、公共仕様書第3編 2.2.2「3」スパイラルダクト」に準ずる。ただし、ダクトの接合に用いるスクリュービスはステンレス製とする。</p> <p>(1)内貼を施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2)空調機に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパー及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設ける。なお、大きさは図示による。 (3)外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパーは雨水の滞留のないように施工する。</p> <p>(1)防煙ダンパー 復帰方式 遠隔復帰式(定格入力DC24V) (2)ピストンダンパー 復帰方式 遠隔式</p> <p>配管材料及び記号は (○ 下記による。 ● 図示による。)</p> <p>(1)蒸気管 給気管 ○ 黒管 (JIS G 3452) ○ 黒管 Sch40 (JIS G 3454) ○ ステンレス管 (SUS304・JIS G 3448) ○ ステンレス管 (SUS304・JIS G 3459) ○ 黒管 Sch40 (JIS G 3454) ○ ステンレス管 (SUS304・JIS G 3448) ○ ステンレス管 (SUS304・JIS G 3459)</p> <p>(2)油管 ○ (3)冷温水管 ○ (4)冷却水管 ○ (5)ドレン管 ○ (6)冷媒管 ○ (7)高温水管 送り ○ 送り → H → H ← 戻り ○ 戻り → HR → HR ← ※破線としてもよい。</p> <p>(8)膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ○</p> <p>○ 図面に特記なき場合の耐圧は、JIS又はJVKとする。 ○ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。 ○ ファンコイルユニットと冷温水管の接続部(往・還)には、ボール弁を取付ける。 ○</p> <p>標準仕様書第2編3.1.4によるほか、次による。</p> <p>○ 蒸気還り管の保温不要(屋内露出は除く。) ○ 遠気ダクトの保温要(保温の厚さ25mm、範囲は図示による。) ○ 外気ダクトの保温要(保温の厚さ25mm、範囲は図示による。) ○ 膨張管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項による。 ○ 建物内のエア抜き管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項による。(エア抜き弁以降の配管は除く。) ● 暗渠内(ピット内を含む)の空調用ドレン管は保温(○有●無)とする。 ● 冷媒管の保温外装は次による。 ○ 図示による ● 屋内露出箇所(合成樹脂カバー) ● 屋外露出箇所(溶融アルミニウム-亜鉛鉄板(指定色塗装))</p> <p>(1)遠心送風機 ① ケーシングは、硬質塩化ビニル板(JIS K 6745)又は繊維強化プラスチック(FRP:ガラス繊維強化プラスチック、FRTP:ガラス繊維強化熱可塑性プラスチック)等耐食性に優れた材料により製作され、風圧に対して十分な強度を有するように鋼板、形鋼、硬質塩化ビニル製又は繊維強化プラスチック製アングルにて外部から補強したものとする。また、ケーシング下部には必要に応じ水抜きを設ける。 ② 羽根は、硬質塩化ビニル板(JIS K 6745)又は繊維強化プラスチック(FRP:ガラス繊維強化プラスチック、FRTP:ガラス繊維強化熱可塑性プラスチック)等耐食性に優れた材料により成型製作され、高速運転に耐えるものとする。 ③ 羽根車のハブ部品及び主板部分は必要に応じ、金属材料で補強し、金属材料は耐食材料で被覆する。 ④ 軸はJIS G 4051(機械構造用炭素鋼材)によるS30C以上又は特殊鋼製とし、接が部分は耐食材料で被覆する。軸受けはラジアル及びスラスト型とし、荷重に耐えられるものとし、長時間の連続運転に耐えるものとする。</p> <p>(2)軸流送風機 前記遠心送風機に準じて製作するものとする。</p>	ダクトの長さ	棒鋼吊り金物		支持金物		平鋼寸	棒鋼	最大間隔	形寸法	300以下	30x3	呼び径9 (1本吊り)	4,000	30x30x3	300を越え500以下	40x3	呼び径9 (2本吊り)	4,000	40x40x3	補強材	最大間隔	なし	2,400	あり	2,000	<p>● 換気設備</p> <p>● ダクト 〔第3編1.14.1~5〕 〔第3編1.1.1〕</p> <p>● ダンパー 〔第3編1.15.6~14〕 〔第3編1.1.1〕</p> <p>○ シールする排気ダクトの系統</p> <p>○ チャンパー 〔第3編1.14.6〕 〔第3編1.1.1〕</p> <p>● 保温 〔第2編3.1.4〕 〔第2編3.1.4〕</p> <p>○ 排煙設備</p> <p>○ ダクト 〔第3編1.14.1〕 〔第3編1.1.1〕</p> <p>○ 排煙口の形式</p> <p>○ 排煙口開放及び復帰方式</p> <p>○ 排煙風量測定</p> <p>○ システム構成その他</p> <p>○ 電気計装用配線 〔第4編1.5.1〕 〔第4編1.1.1〕</p> <p>● 自動洗浄装置及びその組み込み小便器</p> <p>● 自動水栓の電源種別 〔第5編1.1.7〕 〔第5編1.1.1〕</p> <p>● 衛生器具ユニット 〔第5編1.1.3〕 〔第5編1.1.1〕</p> <p>● 給水設備</p> <p>● 量水器 〔第2編2.2.16〕 〔第2編2.1.1〕</p> <p>● 量水器樹 〔第5編1.8.4〕 〔第5編1.1.1〕</p> <p>● 弁類 〔第2編2.2.1~6〕 〔第2編2.2.1〕</p> <p>● 水栓柱 〔第2編2.2.23〕 〔第2編2.1.1〕</p> <p>● 管の地中埋設深さ 〔第2編2.7.2〕</p> <p>● 建築物導入部</p> <p>○ 引込納付金等</p> <p>● その他</p>	<p>● 低圧ダクト (● コーナーボルト工法(長辺の長さが1,500mm以下の部分) ● アングルフランジ工法)</p> <p>● スパイラルダクト (● 低圧 ○)</p> <p>○ 高圧1ダクト(範囲は図示による。)</p> <p>○ 厨房系統の排気用ダクトは、標準仕様書第3編 1.14.1~5のダクトの板厚の項より1番手厚いものとする。(範囲は図示による。)</p> <p>空調設備の当該項目による。</p> <p>○ 厨房系統 ○ 浴室(シャワー室、脱衣所を含む) ○</p> <p>空調設備の当該項目による。</p> <p>● 全熱交換ユニット用の外気取入れダクトの保温の仕様及び範囲は図示による。 ● 全熱交換ユニット用の排気用ダクトの保温の仕様及び範囲は図示による。 ● 厨房の隠れ部ダクトの保温の仕様及び範囲は図示による。 ● 湯沸室の隠れ部ダクトの保温の仕様及び範囲は図示による。</p> <p>○ 亜鉛鉄板 ○ 普通鋼板(厚1.6mm)</p> <p>○ パネル形 (○ 天井取付 ○ 壁取付) ○ スリット形 (○ 天井取付 ○ 壁取付) ○ ダンパー形 (○ 天井内取付 ○)</p> <p>○ 電気式(遠隔操作) ○ 要 ○ 不要) 排煙口から手動解放装置への配線は、標準仕様書第4編 1.5.1表4.1.1による耐熱・耐火ケーブルとする。</p> <p>建築設備定期検査業務基準書 2023年版(一財)日本建築設備・昇降機センター)の排煙風量の検査方法に準じる。</p> <p>別図による。</p> <p>屋外・屋内露出の電線は、図面に特記がなければ金属管配線とする。天井内隠れ部の配線は、一面面に特記がなければケーブル配線とする。</p> <p>● 個別感知フラッシュ方式 (● A C電源 ○ 自己発電)</p> <p>● A C電源 ○ 自己発電</p> <p>別図による。</p> <p>配管材料は (○ 下記による。 ● 図示による。)</p> <p>(1)一般配管 ○ (2)地中配管 ○ (3)水道直結配管 ○ 引き込みは水道事業者の指定により、量水器以降の地中埋設配管は(○)とし、他の部分は(1)による。</p> <p>○ 親メー (○ 現地表示式(直統式) ○ 遠隔表示式(○電文式 ○パルス式) (○貨品 ○)) ● 子メー (● 現地表示式(直統式) ○ 遠隔表示式(○電文式 ○パルス式) (○買取り ○))</p> <p>○ 水道事業者指定品 (○ 貨品 ○ 買取り) ● 標準図MC形</p> <p>● 図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。 ○ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。 ● 水道直結部分の耐圧は、10Kとする。</p> <p>○</p> <p>埋設深さ(管の上端深さ)は原則として、 車両通行部分は(● 600mm ○ mm) その他の部分は(● 300mm ○ mm)以上とする。</p> <p>○ 建築物導入部の変位吸収方法は、標準図(建築物導入部の変位吸収配管要領)による。 (○ (a) ○ (b) ○ (c) ● (d) ● (e)) ○ 別図による。</p> <p>○ 要 (○ 本工事 () ○ 別途) ○ 不要</p> <p>● 水道事業者管理者に給水装置申請を行うこと。(検査手数料含む。) ○ 上水、雑用水の吐水口全系統確認を行うこと。(脱接続防止のため)</p>	<p>● 排水設備</p> <p>● 配管材料及び記号 〔第2編2.1.2〕 〔第2編2.1.1〕</p> <p>● 台所流し等排水管</p> <p>● 満水試験継手</p> <p>○ ガソリントラップ</p> <p>○ Uトラップ</p> <p>○ 流しトラップ</p> <p>○ 放流納付金等</p> <p>● 屋外土中配管</p> <p>● マンホール副管</p> <p>○ その他</p> <p>● 給湯設備</p> <p>○ 保温 〔第2編3.1.5〕 〔第2編3.1.4〕</p> <p>○ 配管材料 〔第2編2.1.2〕 〔第2編2.1.1〕</p> <p>● 屋内消火栓種別 〔第5編1.5.2〕 〔第5編1.2.1〕</p> <p>● 屋内消火栓閉弁 〔第5編1.5.2〕 〔第5編1.2.1〕</p> <p>● 地中埋設配管の接合</p>	<p>配管材料及び記号は(○ 下記による。 ● 図示による。)</p> <p>(1)屋内 雑排水管(合流) ○ 雑排水管(給湯室系統) ○ 汚水管 ○ 通気管 ○ ホソアツ管 ○ 実験排水管 ○</p> <p>○ SGP-PB(JNWA K 132) +ポリ粉体鋼管継手(JPF DF 001) ○ 塩ビ管(JSWAS K-1) — P — P — ※ 鋼鉄管は — P — P —</p> <p>(2)屋外 第一樹まで ○ 樹間 ○</p> <p>※ 実験排水とは、下水道法、水質汚濁防止法という特定施設からの実験洗浄排水をいう。</p> <p>洗面器に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。台所流し等の床に露出部分の配管は、塩ビ管(RF-VP)とする。大便器、小便器、洗面器及び掃除流しとの接続管は、塩ビ管(RF-VP)とする。</p> <p>図示の位置に取り付ける。</p> <p>○ 鋼鉄製 ○ ステンレス鋼板製 ○</p> <p>○ 鋼鉄製 (JPF DF 001) ○</p> <p>本体 ○ 鋼鉄製 (JOW-202) ○ ステンレス製 ○ パケット ○ 黄銅製 ○ ステンレス (SUS304) 製 ○ ストレーナ ○ 黄銅製ニッケルクロムめっき仕上げ ○</p> <p>○ 要 (○ 本工事 () ○ 別途) ○ 不要</p> <p>屋外土中埋設に使用する下水道用硬質塩化ビニル管の接合は、ゴム輪接合とし、施工方法は、JSWAS K-1(下水道用硬質塩化ビニル管)の参考資料による。なお、マンホール副管及び呼び径150以下の配管については、接着接合としてもよい。</p> <p>また、管をコンクリート造のます等に接続する場合には、マンホール継手を使用し、樹脂製接着剤又はモルタルを充填する。なお、硬質塩化ビニル管に接続する場合は、塩ビ管用接着剤により接合する。</p> <p>副管は、流入管きよと流出管きよとの段差が0.6m以上の場合に設けることとし、その仕様は以下による。</p> <p>(a) 中間マンホール</p>  <table border="1"> <tr> <th>番号</th> <th>名 称</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>副管用継手</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>カラー</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>短管</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>マンホール接続管</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>90度曲管</td> </tr> </table> <p>(単位:mm)</p> <table border="1"> <tr> <th>本管径</th> <th>B</th> <th>T</th> <th>副管径</th> </tr> <tr> <td>150φ</td> <td>250</td> <td>300</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>200φ</td> <td>300</td> <td>350</td> <td>150</td> </tr> </table> <p>注: h寸法によっては、②③を除いて寸法調整を行ってもよい。</p> <p>(b) 会合マンホール用</p>  <table border="1"> <tr> <th>番号</th> <th>名 称</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>副管用継手</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>カラー</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>短管</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>マンホール接続管</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>90度曲管</td> </tr> </table> <p>(単位:mm)</p> <table border="1"> <tr> <th>本管径</th> <th>B</th> <th>T</th> <th>副管径</th> </tr> <tr> <td>150φ</td> <td>250</td> <td>300</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>200φ</td> <td>300</td> <td>350</td> <td>150</td> </tr> </table> <p>注: h寸法によっては、(a)中間マンホールの②③を用いて寸法調整してもよい。</p> <p>排水設備等計画確認申請書の提出を行うこと。</p> <p>配管材料は(○ 下記による。 ● 図示による。)</p> <p>○</p> <p>○ 図示による。(特記なき場合の耐圧は、5Kとする。) ○ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。</p> <p>湯沸器の給排水管(二重管)の隠れ箇所は保温を行う。なお、保温の種別は標準仕様書第2編 3.1.5表2.3.5のh・A・Rとする。</p> <p>配管材料は(○ 下記による。 ● 図示による。)</p> <p>(1)屋内消火栓 一般配管 ○ 配管用炭素鋼管(SGP(白)) 地中配管 ○ 消火配管用高性能ポリエチレン管(認定品) (2)連結送水管 一般配管 ○ 地中配管 ○</p> <p>● 易操作性1号消火栓 ○ 2号消火栓 ○ 広範囲型2号消火栓</p> <p>● 10K</p> <p>外面被覆管の呼び径100A以下はねじ接合とする。</p>	番号	名 称	①	副管用継手	②	カラー	③	短管	④	マンホール接続管	⑤	90度曲管	本管径	B	T	副管径	150φ	250	300	100	200φ	300	350	150	番号	名 称	①	副管用継手	②	カラー	③	短管	④	マンホール接続管	⑤	90度曲管	本管径	B	T	副管径	150φ	250	300	100	200φ	300	350	150	<p>● 建築物導入部</p> <p>建築物導入部の変位吸収方法は、標準図(建築物導入部の変位吸収配管要領)による。 (○ (a) ○ (b) ○ (c) ● (d) ○ (e)) ※ 消火用ポリエチレン管は埋設部分におさめること。 (所管消防庁がピット内等の使用を認める場合は除く。)</p> <p>● 保温 〔第2編3.1.5〕 〔第2編3.1.4〕</p> <p>○ 不活性ガス消火設備 〔第5編1.5.6〕 〔第5編1.2.3〕</p> <p>○ 泡消火設備 〔第5編1.5.8〕</p> <p>● 配管材料 〔第6編2.1.1〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>● メーター 〔第6編2.1.7〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>● ガス漏れ警報器 〔第6編2.1.3〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>○ 一般事項 〔第11編1.1.1~3〕</p> <p>○ 特殊ガス等設備工事(医療ガス設備工事)</p> <p>○ 機材 〔第11編2.1.1~3〕</p> <p>○ 施工 〔第11編2.2.1~2.3.1〕</p> <p>○ 一般事項 〔第2編1.1.1~2〕</p> <p>○ 機材 〔第2編2.1.1~2.4.3〕</p> <p>○ 施工 〔第2編3.1.1~3.2.3〕</p> <p>● 建築物導入部 建築物導入部の変位吸収方法は、標準図(建築物導入部の変位吸収配管要領)による。 (○ (a) ○ (b) ○ (c) ● (d) ○ (e)) ※ 消火用ポリエチレン管は埋設部分におさめること。 (所管消防庁がピット内等の使用を認める場合は除く。)</p> <p>● 保温 〔第2編3.1.5〕 〔第2編3.1.4〕</p> <p>○ 不活性ガス消火設備 〔第5編1.5.6〕 〔第5編1.2.3〕</p> <p>○ 泡消火設備 〔第5編1.5.8〕</p> <p>● 配管材料 〔第6編2.1.1〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>● メーター 〔第6編2.1.7〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>● ガス漏れ警報器 〔第6編2.1.3〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>○ 一般事項 〔第11編1.1.1~3〕</p> <p>○ 特殊ガス等設備工事(医療ガス設備工事)</p> <p>○ 機材 〔第11編2.1.1~3〕</p> <p>○ 施工 〔第11編2.2.1~2.3.1〕</p> <p>○ 一般事項 〔第2編1.1.1~2〕</p> <p>○ 機材 〔第2編2.1.1~2.4.3〕</p> <p>○ 施工 〔第2編3.1.1~3.2.3〕</p> <p>● 建築物導入部 建築物導入部の変位吸収方法は、標準図(建築物導入部の変位吸収配管要領)による。 (○ (a) ○ (b) ○ (c) ● (d) ○ (e)) ※ 消火用ポリエチレン管は埋設部分におさめること。 (所管消防庁がピット内等の使用を認める場合は除く。)</p> <p>● 保温 〔第2編3.1.5〕 〔第2編3.1.4〕</p> <p>○ 不活性ガス消火設備 〔第5編1.5.6〕 〔第5編1.2.3〕</p> <p>○ 泡消火設備 〔第5編1.5.8〕</p> <p>● 配管材料 〔第6編2.1.1〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>● メーター 〔第6編2.1.7〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>● ガス漏れ警報器 〔第6編2.1.3〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>○ 一般事項 〔第11編1.1.1~3〕</p> <p>○ 特殊ガス等設備工事(医療ガス設備工事)</p> <p>○ 機材 〔第11編2.1.1~3〕</p> <p>○ 施工 〔第11編2.2.1~2.3.1〕</p> <p>○ 一般事項 〔第2編1.1.1~2〕</p> <p>○ 機材 〔第2編2.1.1~2.4.3〕</p> <p>○ 施工 〔第2編3.1.1~3.2.3〕</p> <p>● 建築物導入部 建築物導入部の変位吸収方法は、標準図(建築物導入部の変位吸収配管要領)による。 (○ (a) ○ (b) ○ (c) ● (d) ○ (e)) ※ 消火用ポリエチレン管は埋設部分におさめること。 (所管消防庁がピット内等の使用を認める場合は除く。)</p> <p>● 保温 〔第2編3.1.5〕 〔第2編3.1.4〕</p> <p>○ 不活性ガス消火設備 〔第5編1.5.6〕 〔第5編1.2.3〕</p> <p>○ 泡消火設備 〔第5編1.5.8〕</p> <p>● 配管材料 〔第6編2.1.1〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>● メーター 〔第6編2.1.7〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>● ガス漏れ警報器 〔第6編2.1.3〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>○ 一般事項 〔第11編1.1.1~3〕</p> <p>○ 特殊ガス等設備工事(医療ガス設備工事)</p> <p>○ 機材 〔第11編2.1.1~3〕</p> <p>○ 施工 〔第11編2.2.1~2.3.1〕</p> <p>○ 一般事項 〔第2編1.1.1~2〕</p> <p>○ 機材 〔第2編2.1.1~2.4.3〕</p> <p>○ 施工 〔第2編3.1.1~3.2.3〕</p> <p>● 建築物導入部 建築物導入部の変位吸収方法は、標準図(建築物導入部の変位吸収配管要領)による。 (○ (a) ○ (b) ○ (c) ● (d) ○ (e)) ※ 消火用ポリエチレン管は埋設部分におさめること。 (所管消防庁がピット内等の使用を認める場合は除く。)</p> <p>● 保温 〔第2編3.1.5〕 〔第2編3.1.4〕</p> <p>○ 不活性ガス消火設備 〔第5編1.5.6〕 〔第5編1.2.3〕</p> <p>○ 泡消火設備 〔第5編1.5.8〕</p> <p>● 配管材料 〔第6編2.1.1〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>● メーター 〔第6編2.1.7〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>● ガス漏れ警報器 〔第6編2.1.3〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>○ 一般事項 〔第11編1.1.1~3〕</p> <p>○ 特殊ガス等設備工事(医療ガス設備工事)</p> <p>○ 機材 〔第11編2.1.1~3〕</p> <p>○ 施工 〔第11編2.2.1~2.3.1〕</p> <p>○ 一般事項 〔第2編1.1.1~2〕</p> <p>○ 機材 〔第2編2.1.1~2.4.3〕</p> <p>○ 施工 〔第2編3.1.1~3.2.3〕</p> <p>● 建築物導入部 建築物導入部の変位吸収方法は、標準図(建築物導入部の変位吸収配管要領)による。 (○ (a) ○ (b) ○ (c) ● (d) ○ (e)) ※ 消火用ポリエチレン管は埋設部分におさめること。 (所管消防庁がピット内等の使用を認める場合は除く。)</p> <p>● 保温 〔第2編3.1.5〕 〔第2編3.1.4〕</p> <p>○ 不活性ガス消火設備 〔第5編1.5.6〕 〔第5編1.2.3〕</p> <p>○ 泡消火設備 〔第5編1.5.8〕</p> <p>● 配管材料 〔第6編2.1.1〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>● メーター 〔第6編2.1.7〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>● ガス漏れ警報器 〔第6編2.1.3〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>○ 一般事項 〔第11編1.1.1~3〕</p> <p>○ 特殊ガス等設備工事(医療ガス設備工事)</p> <p>○ 機材 〔第11編2.1.1~3〕</p> <p>○ 施工 〔第11編2.2.1~2.3.1〕</p> <p>○ 一般事項 〔第2編1.1.1~2〕</p> <p>○ 機材 〔第2編2.1.1~2.4.3〕</p> <p>○ 施工 〔第2編3.1.1~3.2.3〕</p> <p>● 建築物導入部 建築物導入部の変位吸収方法は、標準図(建築物導入部の変位吸収配管要領)による。 (○ (a) ○ (b) ○ (c) ● (d) ○ (e)) ※ 消火用ポリエチレン管は埋設部分におさめること。 (所管消防庁がピット内等の使用を認める場合は除く。)</p> <p>● 保温 〔第2編3.1.5〕 〔第2編3.1.4〕</p> <p>○ 不活性ガス消火設備 〔第5編1.5.6〕 〔第5編1.2.3〕</p> <p>○ 泡消火設備 〔第5編1.5.8〕</p> <p>● 配管材料 〔第6編2.1.1〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>● メーター 〔第6編2.1.7〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>● ガス漏れ警報器 〔第6編2.1.3〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>○ 一般事項 〔第11編1.1.1~3〕</p> <p>○ 特殊ガス等設備工事(医療ガス設備工事)</p> <p>○ 機材 〔第11編2.1.1~3〕</p> <p>○ 施工 〔第11編2.2.1~2.3.1〕</p> <p>○ 一般事項 〔第2編1.1.1~2〕</p> <p>○ 機材 〔第2編2.1.1~2.4.3〕</p> <p>○ 施工 〔第2編3.1.1~3.2.3〕</p> <p>● 建築物導入部 建築物導入部の変位吸収方法は、標準図(建築物導入部の変位吸収配管要領)による。 (○ (a) ○ (b) ○ (c) ● (d) ○ (e)) ※ 消火用ポリエチレン管は埋設部分におさめること。 (所管消防庁がピット内等の使用を認める場合は除く。)</p> <p>● 保温 〔第2編3.1.5〕 〔第2編3.1.4〕</p> <p>○ 不活性ガス消火設備 〔第5編1.5.6〕 〔第5編1.2.3〕</p> <p>○ 泡消火設備 〔第5編1.5.8〕</p> <p>● 配管材料 〔第6編2.1.1〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>● メーター 〔第6編2.1.7〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>● ガス漏れ警報器 〔第6編2.1.3〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>○ 一般事項 〔第11編1.1.1~3〕</p> <p>○ 特殊ガス等設備工事(医療ガス設備工事)</p> <p>○ 機材 〔第11編2.1.1~3〕</p> <p>○ 施工 〔第11編2.2.1~2.3.1〕</p> <p>○ 一般事項 〔第2編1.1.1~2〕</p> <p>○ 機材 〔第2編2.1.1~2.4.3〕</p> <p>○ 施工 〔第2編3.1.1~3.2.3〕</p> <p>● 建築物導入部 建築物導入部の変位吸収方法は、標準図(建築物導入部の変位吸収配管要領)による。 (○ (a) ○ (b) ○ (c) ● (d) ○ (e)) ※ 消火用ポリエチレン管は埋設部分におさめること。 (所管消防庁がピット内等の使用を認める場合は除く。)</p> <p>● 保温 〔第2編3.1.5〕 〔第2編3.1.4〕</p> <p>○ 不活性ガス消火設備 〔第5編1.5.6〕 〔第5編1.2.3〕</p> <p>○ 泡消火設備 〔第5編1.5.8〕</p> <p>● 配管材料 〔第6編2.1.1〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>● メーター 〔第6編2.1.7〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>● ガス漏れ警報器 〔第6編2.1.3〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>○ 一般事項 〔第11編1.1.1~3〕</p> <p>○ 特殊ガス等設備工事(医療ガス設備工事)</p> <p>○ 機材 〔第11編2.1.1~3〕</p> <p>○ 施工 〔第11編2.2.1~2.3.1〕</p> <p>○ 一般事項 〔第2編1.1.1~2〕</p> <p>○ 機材 〔第2編2.1.1~2.4.3〕</p> <p>○ 施工 〔第2編3.1.1~3.2.3〕</p> <p>● 建築物導入部 建築物導入部の変位吸収方法は、標準図(建築物導入部の変位吸収配管要領)による。 (○ (a) ○ (b) ○ (c) ● (d) ○ (e)) ※ 消火用ポリエチレン管は埋設部分におさめること。 (所管消防庁がピット内等の使用を認める場合は除く。)</p> <p>● 保温 〔第2編3.1.5〕 〔第2編3.1.4〕</p> <p>○ 不活性ガス消火設備 〔第5編1.5.6〕 〔第5編1.2.3〕</p> <p>○ 泡消火設備 〔第5編1.5.8〕</p> <p>● 配管材料 〔第6編2.1.1〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>● メーター 〔第6編2.1.7〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>● ガス漏れ警報器 〔第6編2.1.3〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>○ 一般事項 〔第11編1.1.1~3〕</p> <p>○ 特殊ガス等設備工事(医療ガス設備工事)</p> <p>○ 機材 〔第11編2.1.1~3〕</p> <p>○ 施工 〔第11編2.2.1~2.3.1〕</p> <p>○ 一般事項 〔第2編1.1.1~2〕</p> <p>○ 機材 〔第2編2.1.1~2.4.3〕</p> <p>○ 施工 〔第2編3.1.1~3.2.3〕</p> <p>● 建築物導入部 建築物導入部の変位吸収方法は、標準図(建築物導入部の変位吸収配管要領)による。 (○ (a) ○ (b) ○ (c) ● (d) ○ (e)) ※ 消火用ポリエチレン管は埋設部分におさめること。 (所管消防庁がピット内等の使用を認める場合は除く。)</p> <p>● 保温 〔第2編3.1.5〕 〔第2編3.1.4〕</p> <p>○ 不活性ガス消火設備 〔第5編1.5.6〕 〔第5編1.2.3〕</p> <p>○ 泡消火設備 〔第5編1.5.8〕</p> <p>● 配管材料 〔第6編2.1.1〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>● メーター 〔第6編2.1.7〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>● ガス漏れ警報器 〔第6編2.1.3〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>○ 一般事項 〔第11編1.1.1~3〕</p> <p>○ 特殊ガス等設備工事(医療ガス設備工事)</p> <p>○ 機材 〔第11編2.1.1~3〕</p> <p>○ 施工 〔第11編2.2.1~2.3.1〕</p> <p>○ 一般事項 〔第2編1.1.1~2〕</p> <p>○ 機材 〔第2編2.1.1~2.4.3〕</p> <p>○ 施工 〔第2編3.1.1~3.2.3〕</p> <p>● 建築物導入部 建築物導入部の変位吸収方法は、標準図(建築物導入部の変位吸収配管要領)による。 (○ (a) ○ (b) ○ (c) ● (d) ○ (e)) ※ 消火用ポリエチレン管は埋設部分におさめること。 (所管消防庁がピット内等の使用を認める場合は除く。)</p> <p>● 保温 〔第2編3.1.5〕 〔第2編3.1.4〕</p> <p>○ 不活性ガス消火設備 〔第5編1.5.6〕 〔第5編1.2.3〕</p> <p>○ 泡消火設備 〔第5編1.5.8〕</p> <p>● 配管材料 〔第6編2.1.1〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>● メーター 〔第6編2.1.7〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>● ガス漏れ警報器 〔第6編2.1.3〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>○ 一般事項 〔第11編1.1.1~3〕</p> <p>○ 特殊ガス等設備工事(医療ガス設備工事)</p> <p>○ 機材 〔第11編2.1.1~3〕</p> <p>○ 施工 〔第11編2.2.1~2.3.1〕</p> <p>○ 一般事項 〔第2編1.1.1~2〕</p> <p>○ 機材 〔第2編2.1.1~2.4.3〕</p> <p>○ 施工 〔第2編3.1.1~3.2.3〕</p> <p>● 建築物導入部 建築物導入部の変位吸収方法は、標準図(建築物導入部の変位吸収配管要領)による。 (○ (a) ○ (b) ○ (c) ● (d) ○ (e)) ※ 消火用ポリエチレン管は埋設部分におさめること。 (所管消防庁がピット内等の使用を認める場合は除く。)</p> <p>● 保温 〔第2編3.1.5〕 〔第2編3.1.4〕</p> <p>○ 不活性ガス消火設備 〔第5編1.5.6〕 〔第5編1.2.3〕</p> <p>○ 泡消火設備 〔第5編1.5.8〕</p> <p>● 配管材料 〔第6編2.1.1〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>● メーター 〔第6編2.1.7〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>● ガス漏れ警報器 〔第6編2.1.3〕 〔第6編2.1.1〕</p> <p>○ 一般事項 〔第11編1.1.1~3〕</p> <p>○ 特殊ガス等設備工事(医療ガス設備工事)</p> <p>○ 機材 〔第11編2.1.1~3〕</p> <p>○ 施工 〔第11編2.2.1~2.3.1〕</p> <p>○ 一般事項 〔第2編1.1.1~2〕</p> <p>○ 機材 〔第2編2.1.1~2.4.3〕</p> <p>○ 施工 〔第2編3.1.1~3.2.3〕</p>
ダクトの長さ	棒鋼吊り金物		支持金物																																																																												
	平鋼寸	棒鋼	最大間隔	形寸法																																																																											
300以下	30x3	呼び径9 (1本吊り)	4,000	30x30x3																																																																											
300を越え500以下	40x3	呼び径9 (2本吊り)	4,000	40x40x3																																																																											
補強材	最大間隔																																																																														
なし	2,400																																																																														
あり	2,000																																																																														
番号	名 称																																																																														
①	副管用継手																																																																														
②	カラー																																																																														
③	短管																																																																														
④	マンホール接続管																																																																														
⑤	90度曲管																																																																														
本管径	B	T	副管径																																																																												
150φ	250	300	100																																																																												
200φ	300	350	150																																																																												
番号	名 称																																																																														
①	副管用継手																																																																														
②	カラー																																																																														
③	短管																																																																														
④	マンホール接続管																																																																														
⑤	90度曲管																																																																														
本管径	B	T	副管径																																																																												
150φ	250	300	100																																																																												
200φ	300	350	150																																																																												

工事区分表

- 印の付いたものを適用する。
- が重複する項目は、それぞれの区分が必要とする工事を自ら行う。
- 区分建築を本工事とする。

区 分		建	電	機	土	備	備	考
項 目	名 称	築	気	械	木	品		
コンクリート穴あけ	梁、壁木製型枠入	●						墨出し、補修除く
"	壁スリーブ入れ	●	●	●				ポイド等
"	床スラブ木製型枠入	●						墨出し、補修除く
"	床スラブリブ入れ	●	●	●				ポイド等
同上開口部補強	鉄筋切断及び補強筋入れ	●						
配管ダクト部の防水		●						
貫通部補修								
A-LCパネルの穴あけ、補修	ダクト等の貫通部	●						
P-C版の穴あけ	スリーブ入れ							
同上補修								
インサート	P-C版							
インサート	コンクリート床	●	●	●				
天井点検口	点検口取付及び、開口部補強	●						ボード切込、墨出し共
軽量鉄骨下地開口部墨出し	電気設備関係開口部		●					照明器具等
"	機械設備関係開口部			●				空調吹出口
軽量鉄骨下地開口部補強	天井及び壁、ボード切開	●						照明器具、空調吹出口 給排気、ガラー等
開口補強を必要としない ボード等の切開		●	●	●				ボード切込、墨出し共
特殊仕上材の天井、壁、 床に取付ける器具等の 穴あけ加工		●						石、金属パネル等
盤等重量物の下地補強	露出形器具取付用	●						
床点検口	点検口取付及び、開口部補強	●						墨出し共
防火区画貫通部補修		●	●	●				モルタル充てん等
機器・配管取付後の 壁、床等の補修		●	●	●				配管、コンパドックス等 既設撤去後不要箇所 のアラ埋め含む
キッチン流し台、 本体、水切		●						水切り板、同穴あけ共
同上用配管接続	給排水用			●				
流し台、 本体、水切	ステンレス製、 塩ビ製（ライニング共）	●						水切り板、同穴あけ共
同上用配管接続	給排水用			●				
流し台	陶器製			●				
洗面器等取付化粧板		●						配管用ライニング
ルーフトレン		●						
壁樋	防露工事共	●						第1樹までの配管
雨水排水管	第1樹から排水幹線までの配管	●						※ 第1樹を含む
"	幹線の配管	●						
生活排水、実験排水管	建物及び第1樹までの配管	●		●				第1樹までの配管
"	第1樹から排水幹線までの配管	●						※ 第1樹を含む
"	幹線の配管	●						
大型機械基礎		●						
同上基礎土鉄骨架台				●				
機器用アンカーボルト	ボイラ等機械設備関係機器			●				墨出し、型枠入れ共
"	自家発電機等電気設備関係機器	●						墨出し、型枠入れ共
一般機器類の基礎	仕上げ共	●						
屋外自立盤の基礎	仕上げ共	●						
屋外貯油槽	地下式							
共同溝	歩床コンクリート							
建物、共同溝接続トレンチ								
同上接続部止水板								
各種槽類	コンクリート製							
"	SUS、FRP、鋼製			●				
"	樹脂製							
"	屋外大型のもの基礎	●						
"	掘土設置のもの基礎	●						
換気扇取付	ダクトのあるもの			●				天井層等
"	壁、サッシ等への取付（材共）			●				フード取付共
同上用スイッチ				●				
同上用電源配線				●				
同上用枠、取付板等	木製、アルミ製、鉄製			●				
全熱交換器				●				
同上用スイッチ				●				
外壁取付ガラー	給排気用	●		●				
内壁取付ガラー		●						
ガラーへの給排気 ダクト接続				●				
煙感知器連動防火戸		●						
同上用レリーズ	配管配線、ボックス共			●				
同上用煙感知器	リレー及びリレーまでの配管配線共			●				
排煙防火ダンパ	リレー取付まで①			●				
煙感知器連動シャッター	リレー取付まで②	●						
煙感知器連動防煙垂れ壁	リレー取付まで③							
上記①～③用煙感知器	リレーまでの配管配線共	●						

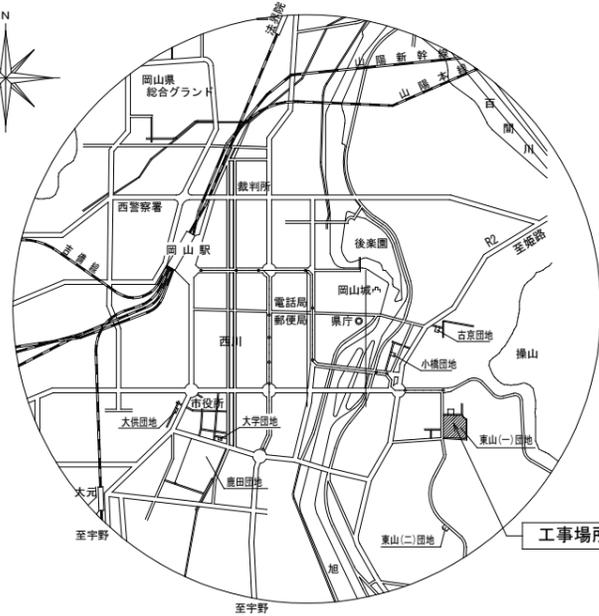
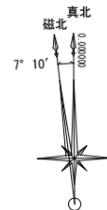
区 分		建	電	機	土	備	備	考
項 目	名 称	築	気	械	木	品		
道路側溝用排水	L型・U型と管敷設	●						
制御盤	制御盤以降の配管、配線共			●				
同上用電源配線	1次側接続まで			●				接地共
屋内消火栓	消火ポンプ、制御盤			●				
屋内消火栓起動リレー				●				
同上表示灯及び起動装置				●				
自動火災報知器				●				
連絡送水口	座板共							
独立煙突								
同上煙道	鋼板製							
同上雷保護設備								
配管配線用ビット				●				
盤、配管、ダクト、 配線用の二重床開口	フリーアクセスフロア等			●				
コンクリートシャフト								
点検口				●				
天井フック								
機械室、電気室の 防音遮音処理				●				
特殊サイズ鏡				●				
化粧用洗面器、鏡						●		
雷保護設備								
保守管理用タラップ、 はしご				●				トレンチ、床下部、 屋上
室内テレビ用吊金物				●				
テレビアンテナ	取付共				●			
同上用基礎								
グリストラップ及び ガンサントラップ	コンクリート製 ステンレス鋼板製または樹脂製							
電動シャッターの配管配線	二次側、操作盤、押釦取付共							
同上用電源配線	一次側接続まで							
自動扉の配管配線	二次側			●				
同上用電源配線	一次側接続まで					●		
電気錠操作盤	読取装置共					●		
同上配管配線						●		
電気錠	配管配線、接続ボックスまで			●				※建具表参照
同上配管配線	操作盤～接続ボックスまで					●		
中央監視装置本体	関係機器、関係機器間配線を含む							
同上用電源配線	一次側接続まで							
同上用信号線	各メーターから装置まで							
ユニットバス本体	据付共							
同上用電源配線	一次側接続まで、S-Wの取付配線共							
同上用配管	接続まで							
冷蔵、冷凍、恒温恒湿、 シールド、防音、 無響室等の内装	現場製作							
同上用電源配線	一次側接続まで							
同上用照明・コンセント	電源配管配線、接続ボックス共							
同上用配管	接続まで							
冷蔵、冷凍、恒温恒湿、 シールド、防音、 無響室等の内装	プレハブ型							
同上用電源配線	一次側接続まで							
同上用照明・コンセント	電源配管配線、接続ボックス共							
同上用配管	接続まで							
芝生、種子吹付け								
法枠、モルタル吹付け								
コンクリート擁壁								
植栽								
電気温水器						●		
ガス温水器						●		
排水目皿						●		
消火器						●		
消火器ボックス						●		
カーテン・ブラインドボックス						●		
カーテン						●		
ブラインド						●		
暗幕ボックス						●		
暗幕						●		
実験台						●		

区 分		建	電	機	備	備	考	
項 目	名 称	築	気	械	木	品		
昇降機関連	昇降機設備本体						●	三方枠、同取付後の壁補修まで (トロ詰め)
	同上用機械室						●	天井フック、床スリッパコンクリート、防塵塗料、搬入用等開口、換気ガラリ共
	同上用監視盤						●	
	同上換気扇取付						●	
	機械室換気扇取付	サーモ、スイッチ共						
	各種信号用制御線	停電用、火災用等					●	
	三方枠周囲の壁仕上						●	
	各階出入口用開口	敷居取付持出し共					●	
	昇降路内中間ビーム設置						●	
	ビット内防水						●	
	動力、照明要電源、 接地引き込み						●	
	コンセント設置	ビット内、機械室内					●	
	インターホン配線	シャフト外、監視盤～制御盤 シャフト内、制御盤内接続共					●	
	非常放送用スピーカ							
	同上用配線	シャフト外、AMP～制御盤 シャフト内、制御盤内接続共						
監視カメラ								
同上用配線	シャフト外、監視制御装置～制御盤 シャフト内、制御盤内接続共							
点検用タラップ	ビット内							

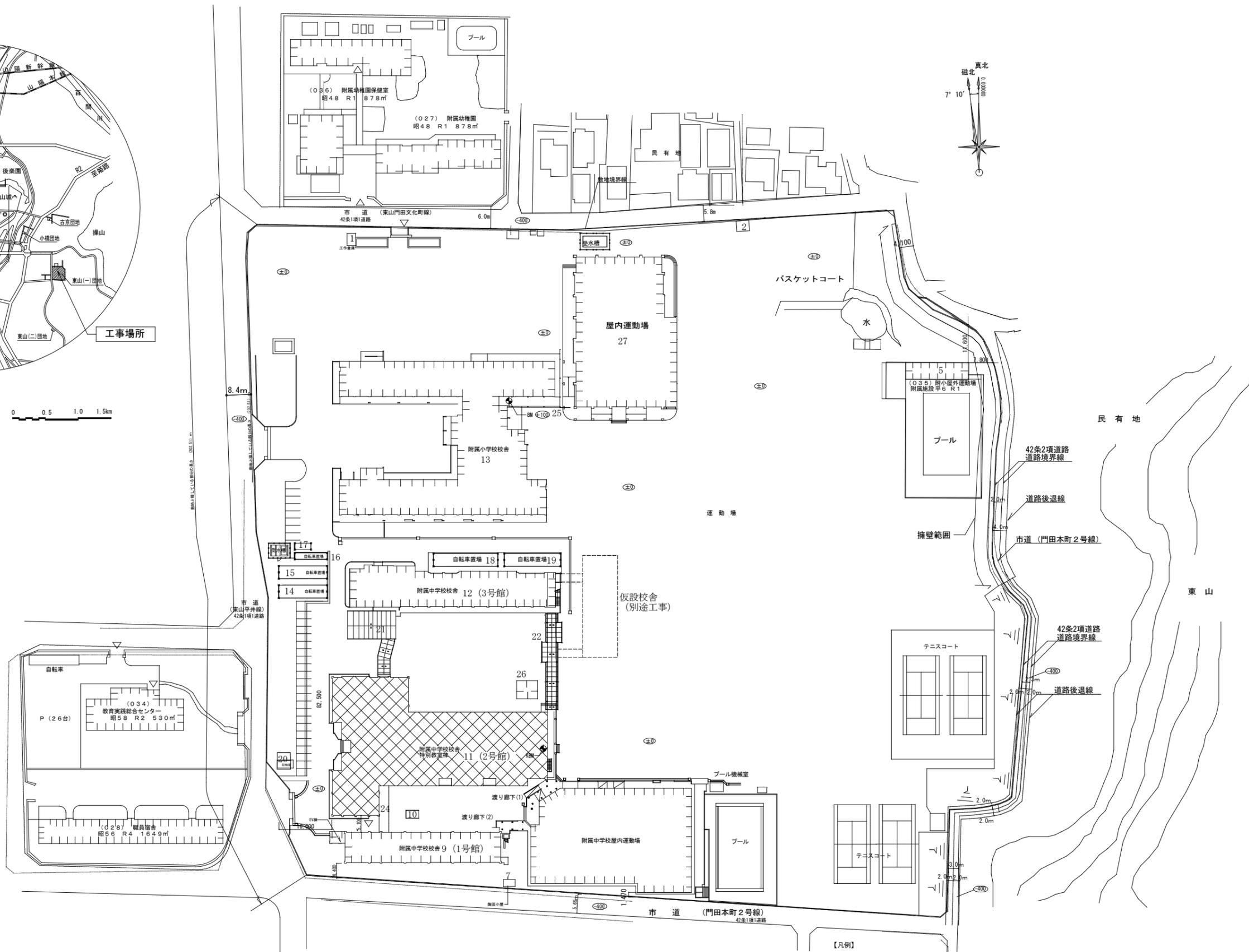
区 分		建	電	機	エ ス カ レ ー タ ー	備	考
項 目	名 称	築	気	械			
エスカレーター設備	搬入口、据え付け用穴明け、同復旧 フレーム受け用枠						
	吊込穴、フック、復旧工事						
	転落防止柵、網、仕切り板						
	三角ガード						
	天井目地、床、回り仕上げ						
	スプリンクラー等						
	防火シャッター						
	床部照明工事						
	下部機械室耐火構造及び防水工事						
	機械室受電盤までの動力線、電灯線、接地線の 配管配線						
	点検用電源の機械室までの引き込み配管配線						
	シャッター及びエスカレーター電気インターロック用 接点の供給及び配管配線工事（必要な場合）						
	監視盤との信号用配管配線工事						

区 分		建	電	機	ク レ ー ン	備	考
項 目	名 称	築	気	械			
クレーン設備	走行レール、ストッパー						
	クレーン点検台及びはしご						
	走行用給電装置						
	電気工事（電源盤以降2次側）						

区 分		建	電	機	土	備	備	考
項 目	名 称	築	気	械	木	品		
プロジェクター							●	
スクリーンボックス						●		
プロジェクタースクリーン							●	手動
サイン							●	
ブラインド撤去							●	
暗幕ボックス撤去							●	
暗幕撤去							●	
カーテンレール撤去							●	
カーテン撤去							●	
備品撤去							●	



敷地案内図 1/1000

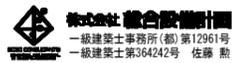
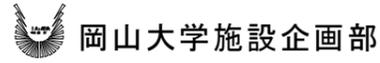


東山(一)団地配置図 1/600



特記
KBMは特別教室棟廊下東端床面-700を設計GLとする。

備考

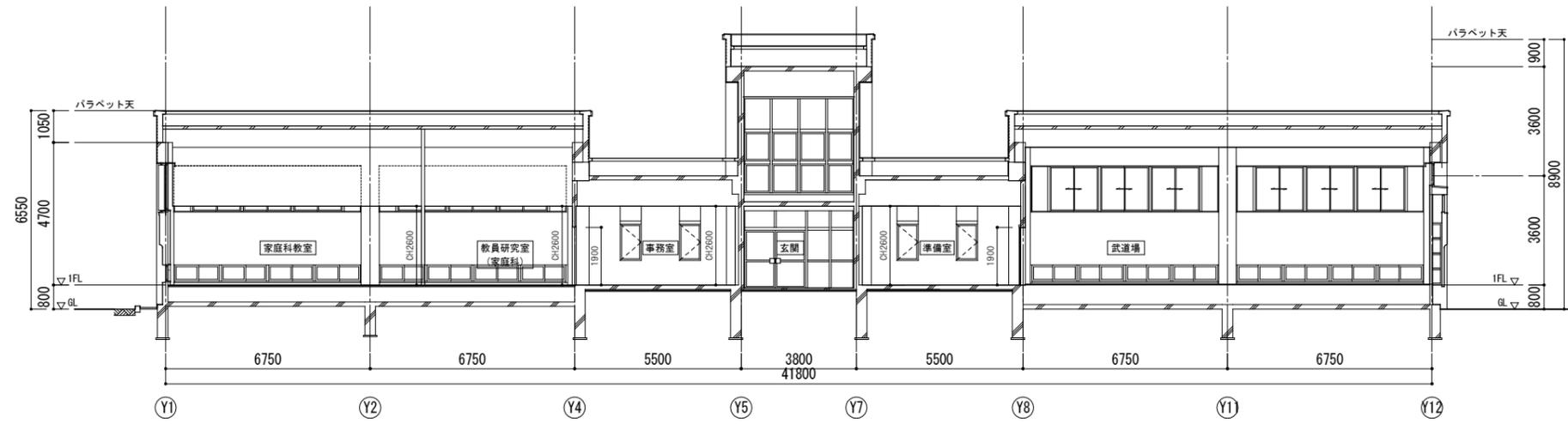
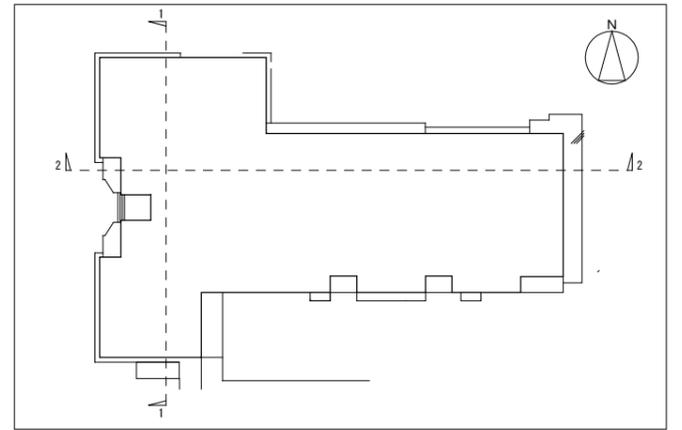


設計業務名
岡山大学(東山)附属中学校校舎改修設備設計業務

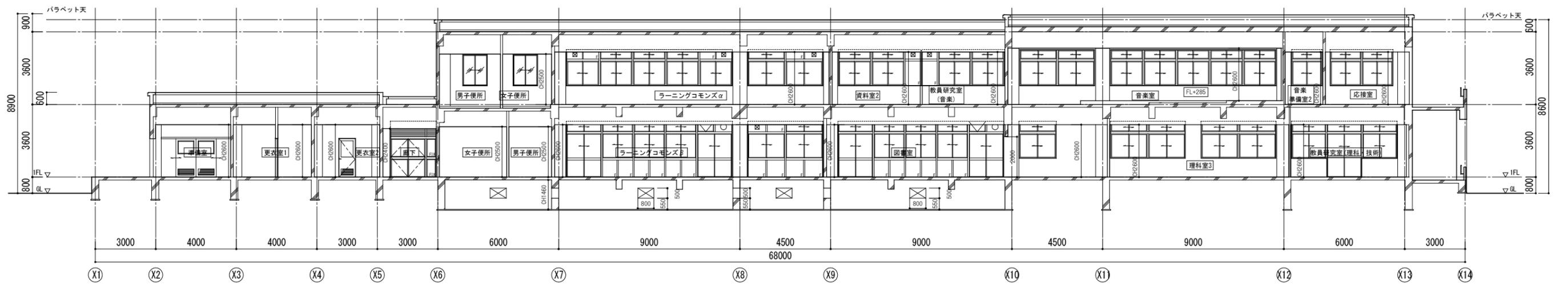
工事名称
岡山大学(東山(一))附属中学校校舎改修Ⅱ機械設備工事
図面名称
配置図・案内図

縮尺
A1:1/600
A3:1/1200
作成年月
令和7年11月

図面番号
M-002

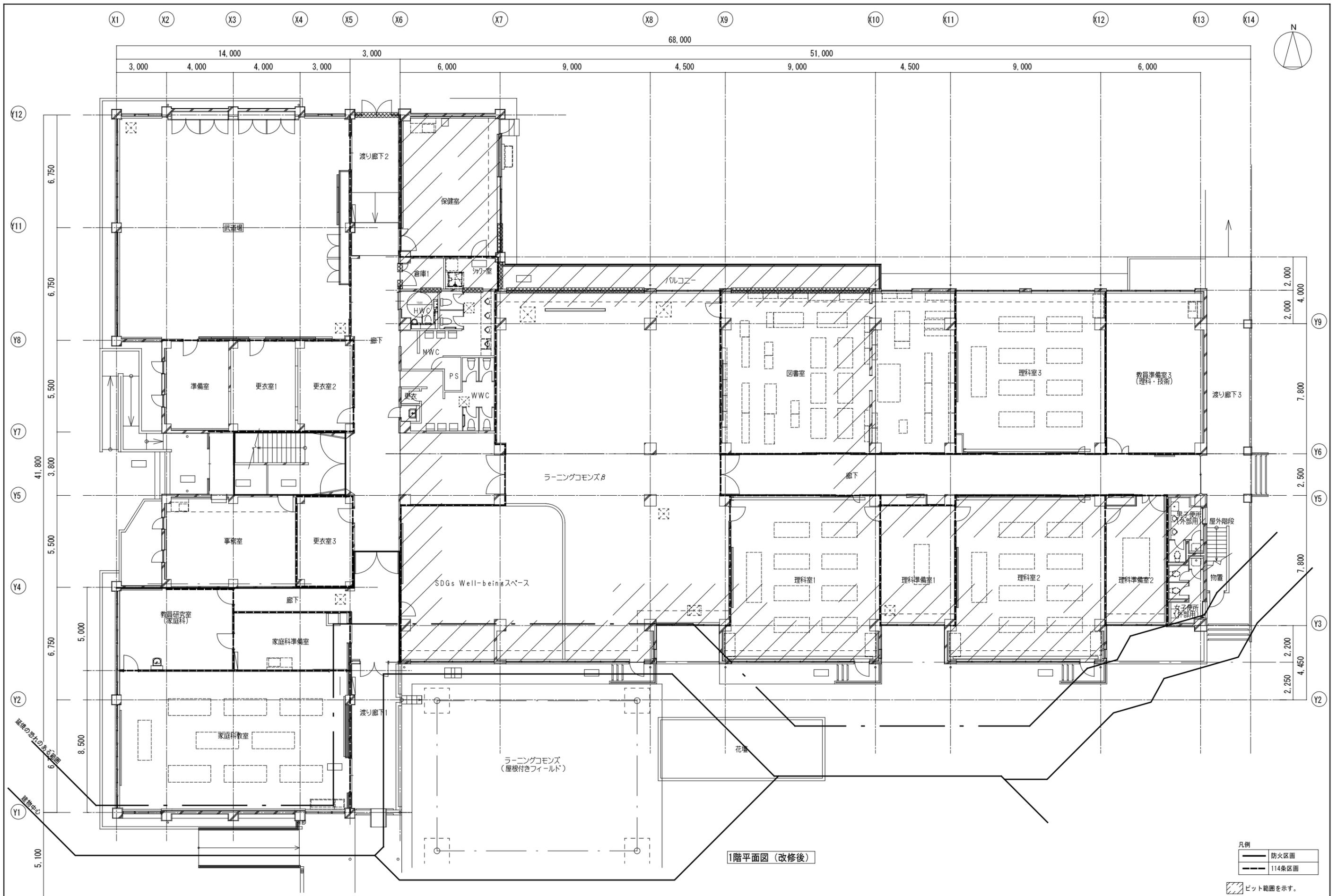


断面図-1 (改修後)



断面図-2 (改修後)

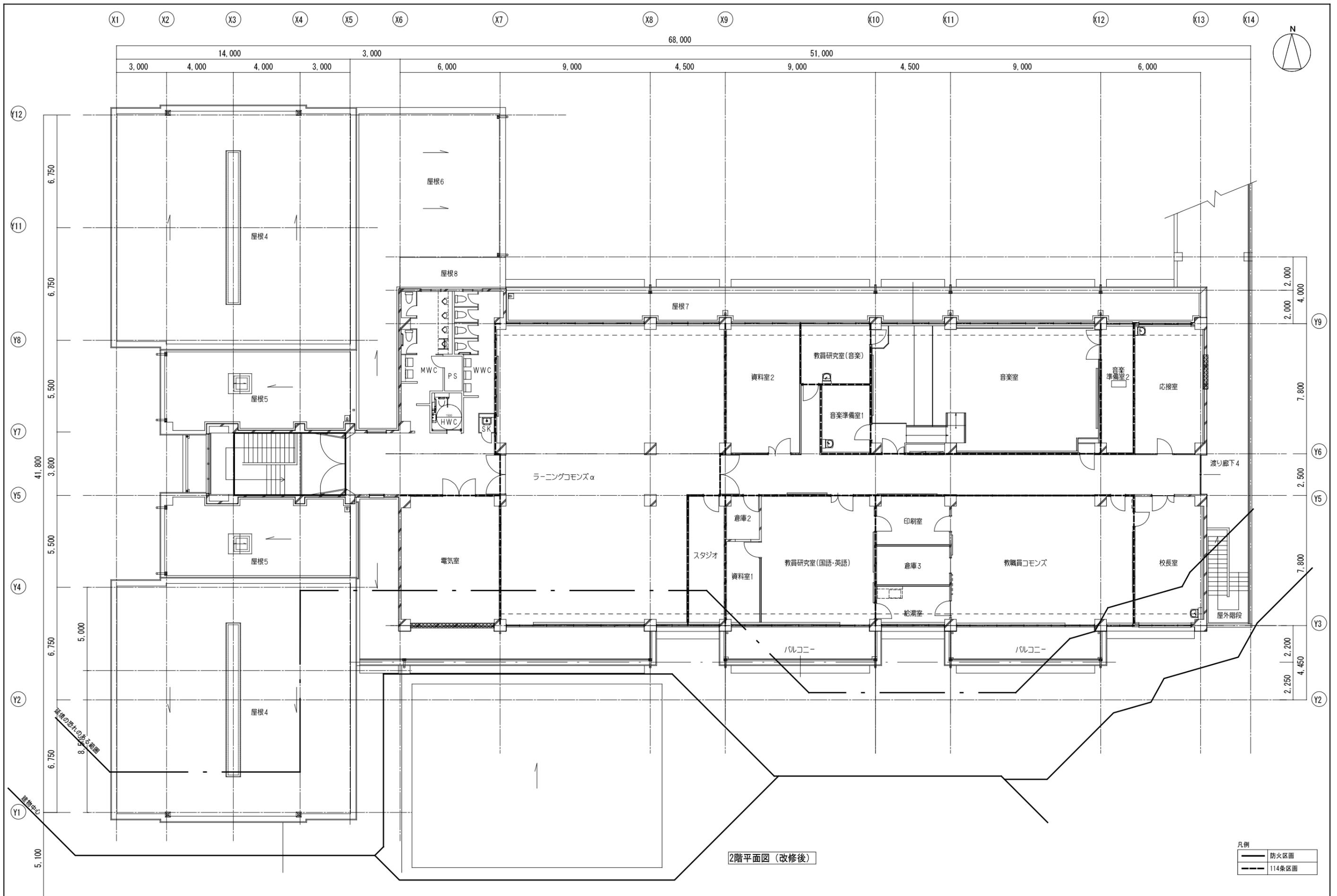
備考	岡山大学施設企画部	 株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第364242号 佐藤 勲	設計業務名	工事名称	縮尺	図面番号
			岡山大学 (東山) 附属中学校校舎改修設備設計業務	岡山大学 (東山 (一)) 附属中学校校舎改修Ⅱ機械設備工事	A1:1/100 A3:1/200	M-003
			図面名称	建物断面図	作成年月	令和7年11月



1階平面図 (改修後)

- 凡例
- 防火区画
 - - - 114条区画
 - ▨ ピット範囲を示す。

備考	岡山大学施設企画部	 株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第364242号 佐藤 勲	設計業務名	岡山大学 (東山) 附属中学校校舎改修設備設計業務	工事名称	岡山大学 (東山 (一)) 附属中学校校舎改修Ⅱ機械設備工事	縮尺	A1 : 1/100 A3 : 1/200	図面番号	M-004
			図面名称	防火区画図 (1)・床下ピット範囲図	作成年月	令和7年11月				



2階平面図 (改修後)

凡例

	防火区画
	114条区画

凡例（共通）

記号	名称	材質他
	玉形弁	
	バタフライ弁	
	仕切弁	50A以上はソフトシール弁とする。
	ボール弁	
	逆止弁	
	自動エア抜き装置	
	防振継手	ゴム
	フレキシブルジョイント	SUS
	ベントキャップ	SUS製、丸型防風板付(フラットタイプ)、防鳥網、水切付、指定色焼付塗装
	伸縮継手	(D) 複式 (S) 単式
	Y型ストレーナー	

凡例（空調換気設備）

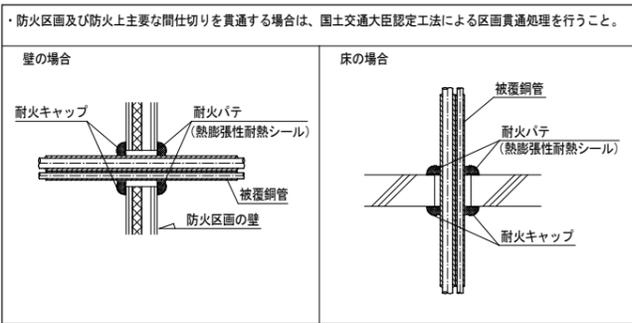
記号	名称	材質他	備考
	空調送気ダクト	亜鉛鉄板	保温厚さ25mm
	空調還気ダクト	亜鉛鉄板	
	外気又は換気送気ダクト	亜鉛鉄板	保温厚さ25mm
	排気ダクト	亜鉛鉄板	
	排気ダクト (火気使用系統)	亜鉛鉄板	保温厚50mm
	送風機		
	風量調整ダンパー	ダクトの材質と同様とする。	
	モーターダンパー	ダクトの材質と同様とする。	
	逆流防止ダンパー	ダクトの材質と同様とする。	
	防火ダンパー	ダクトの材質と同様とする。	
	吹出口 (天井付き)		
	吸込口 (天井付き)		
	冷媒管	冷媒用被覆銅管	保温厚は液管10mm、ガス管20mmとする。
	ドレン管	結露防止層付硬質塩化ビニル管	区画貫通部は前後1mを耐火二層管とする。
	冷媒配管区画貫通処理	大臣認定品	
	機械式トラップ		
	ウェザーカバー	SUS製、防鳥網、低圧構造、指定色焼付塗装	
	ドアガラリ又はアンダーカット		別途建築工事
	天井下がり範囲		

注記) 1. 凡例に無きものは特記仕様書、標準図および図示とする。
 2. 硬質ポリ塩化ビニル管（塩ビ管）の接合については、躯体等の貫通で両端が固定されている場合は、管の伸縮を吸収できる伸縮ソケット（伸縮継手）を取り付けること。
 3. 冷媒配管の保温外装は屋内露出部を樹脂製保温化粧カバー、屋外露出部を溶融アルミニウム-亜鉛鋼板ラッキングとし、外部露出は指定色塗装（外壁と同系色）とすること。
 4. 屋内露出の雑排水管、通気管は保温なしとし、配管を指定色塗装とする。

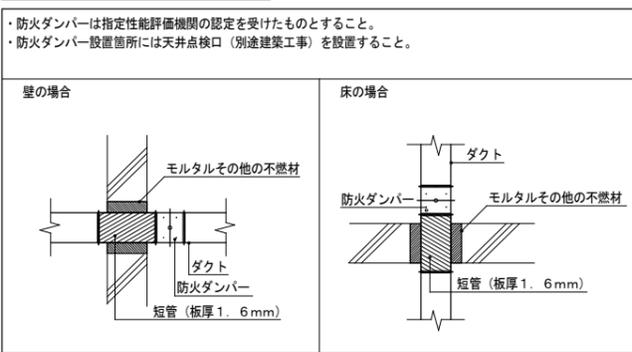
凡例（給排水衛生設備）

記号	名称	材質他	備考
	上水給水管	ビット・屋内一般 土中配管	一般配管用ステンレス鋼管 (SUS) JIS G 3448 水道配水用ポリエチレン管 PWA EF 接合
	雑排水管	ビット・屋内一般 土中配管	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (RF-VP) JIS K 9798 100A未満 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) JIS K 6741 100A以上 リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 (RS-VU) JIS K 9797
	汚水管	ビット・屋内一般 土中配管	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (RF-VP) JIS K 9798 100A未満 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) JIS K 6741 100A以上 リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 (RS-VU) JIS K 9797
	通気管	土中配管	排水用耐火二層管 JIS K 6741 前後1m(鋼管部以外)
	屋外排水管	100A未満 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) JIS K 6741 100A以上 リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 (RS-VU) JIS K 9797	
	屋内及び屋外消火栓	土中以外 土中	配管用炭素鋼管 (SGP (白)) JIS G 3452 消火設備配管用高性能ポリエチレン管 認定品
	都市ガスパイプ		一般ガス導管事業者の供給規定による
	給湯管 (送り)		一般配管用ステンレス鋼管 (SUS) JIS G 3448
	給水栓		
	給湯栓		
	混合栓		
	洗浄弁		
	シャワー (混合)		
	床排水トラップ	T3-A, T3-B, T5-A, T5-B	
	間接排水金物		
	床上掃除口	COA, COB	
	床下掃除口		
	目皿	D	
	満水試験継手		
	量水器	100A以上はベンチュリー型、80A以下は翼車型	遠隔指示式 (パルス式)
	定水位弁		
	ボールタップ		
	トラップ柵	コンクリート製	別途建築工事
	インバート柵	コンクリート製	別途建築工事
	ため柵	コンクリート製	別途建築工事
	トラップ柵	プラスチック製	別途建築工事
	インバート柵	プラスチック製	別途建築工事
	ため柵	プラスチック製	別途建築工事
	屋内消火栓箱		
	テスト弁		
	散水栓 (埋設)		
	地中埋設標	コンクリート製	
	地中埋設標	鉄製	
	ガスメーター		

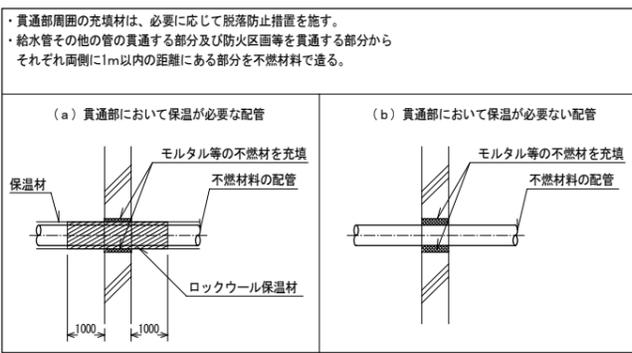
冷媒管防火区画貫通部処理要領図 (参考図)



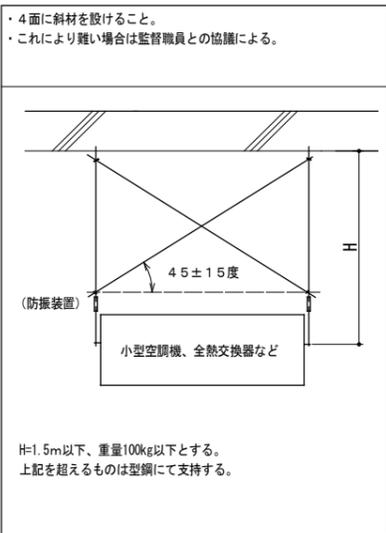
防火ダンパー設置要領図 (参考図)



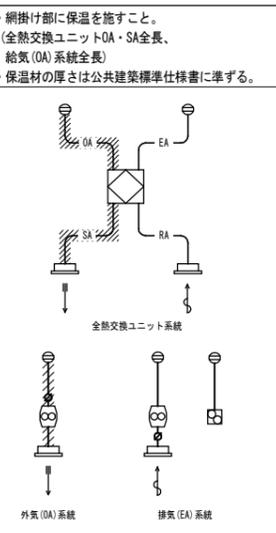
配管防火区画貫通部処理要領図 (参考図)

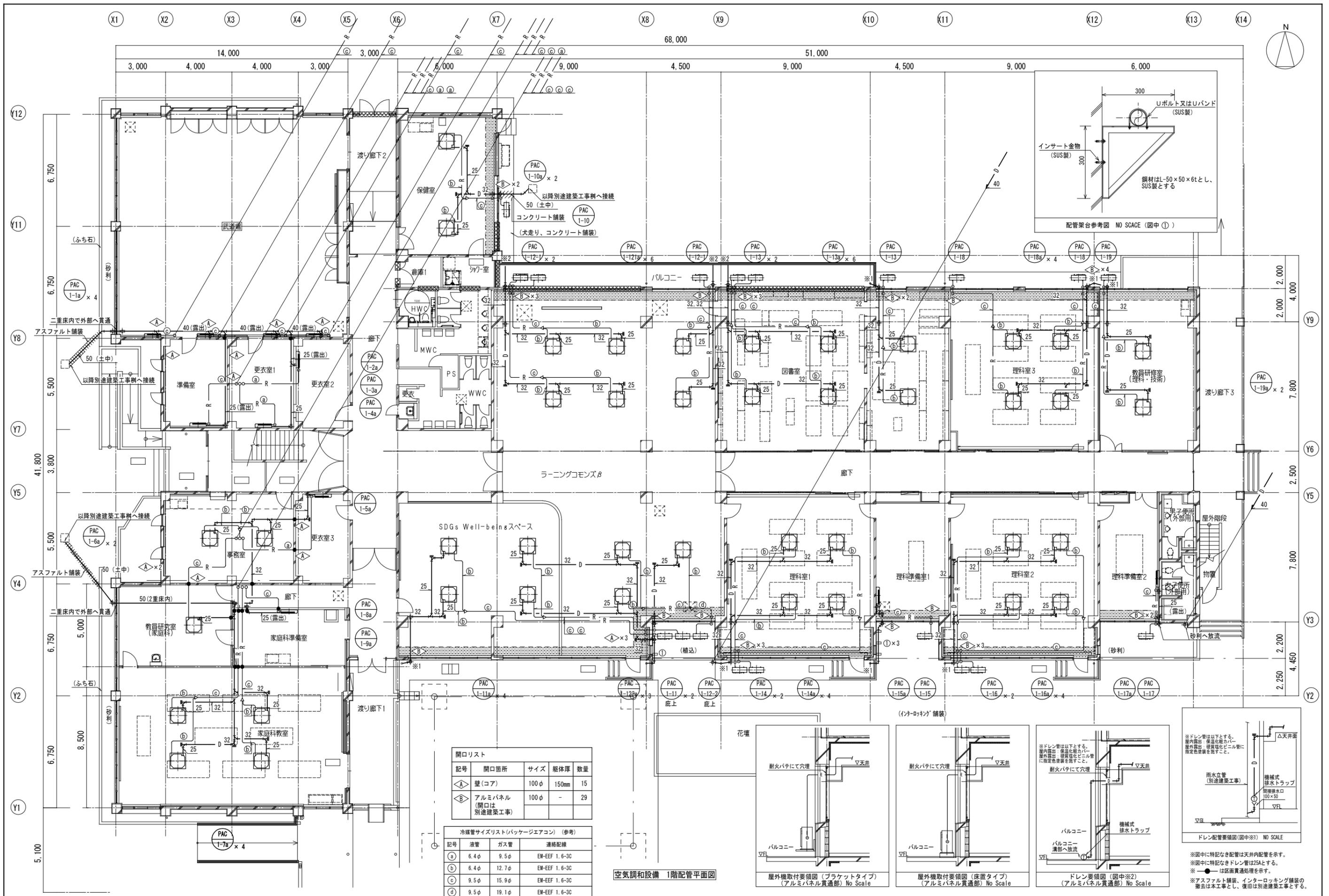


振止め断面 (参考図)



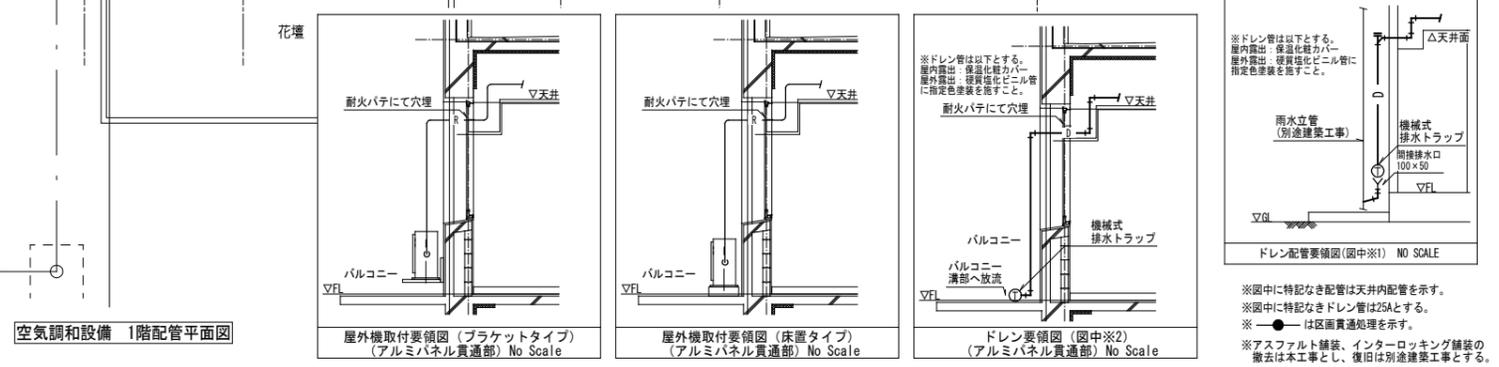
換気ダクト保温要領図



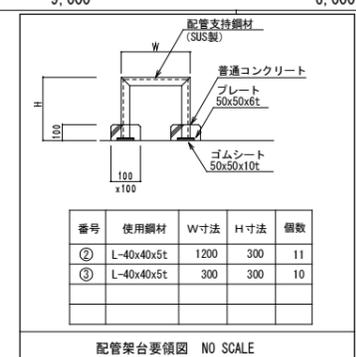
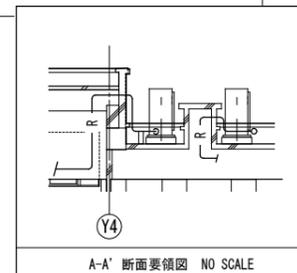
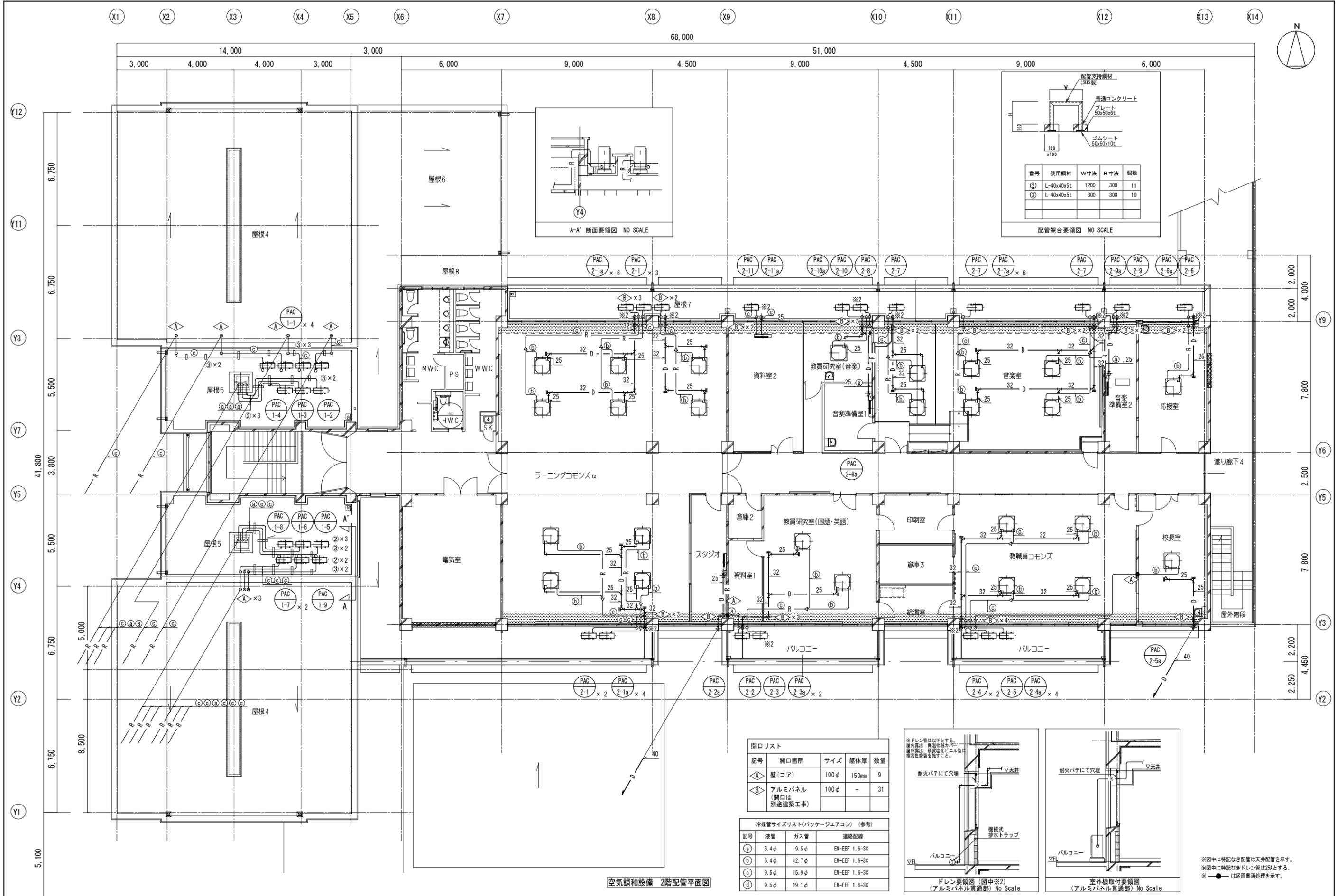


開口リスト			
記号	開口箇所	サイズ	躯体厚 数量
△	壁(コア)	100φ	150mm 15
◇	アルミパネル(開口は別途建築工事)	100φ	- 29

冷媒管サイズリスト(パッケージエアコン) (参考)			
記号	液管	ガス管	連絡配線
①	6.4φ	9.5φ	EM-EFF 1.6-3C
②	6.4φ	12.7φ	EM-EFF 1.6-3C
③	9.5φ	15.9φ	EM-EFF 1.6-3C
④	9.5φ	19.1φ	EM-EFF 1.6-3C



空調調和設備 1階配管平面図

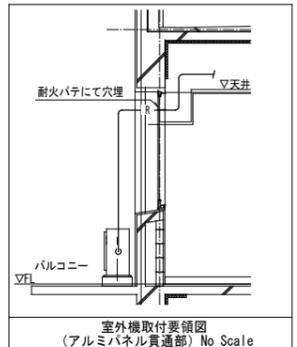
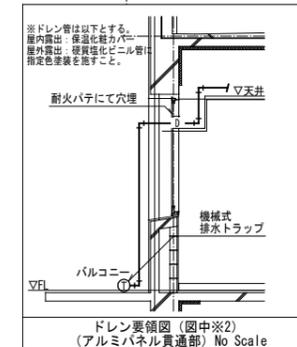


開口リスト

記号	開口箇所	サイズ	躯体厚	数量
△	壁(コア)	100φ	150mm	9
◇	アルミパネル(開口は別途建築工事)	100φ	-	31

冷媒管サイズリスト(パッケージエアコン) (参考)

記号	液管	ガス管	連絡配線
a	6.4φ	9.5φ	EM-EFF 1.6-3C
b	6.4φ	12.7φ	EM-EFF 1.6-3C
c	9.5φ	15.9φ	EM-EFF 1.6-3C
d	9.5φ	19.1φ	EM-EFF 1.6-3C



※図中に特記なき配管は天井配管を示す。
 ※図中に特記なきドレン管は25Aとする。
 ※●は区画貫通処理を示す。

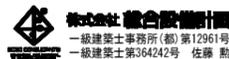
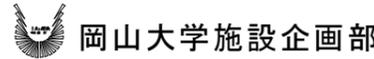
換気機器表(1)

機器番号	名称	型式	材質			サイズ φ・#	風量 m3/h	静圧 Pa	熱交換効率		電気特性			制御方式		火気使用室	24時間換気	CO2センサー	付属品・特殊仕様	防振	付属スイッチ・リモコン	台数	設置位置	設置場所(系統)	備考
			樹脂	銅板	ステンレス				冷房	暖房	φ	V	kW	発停方式	工事区分										
FS - 1-6	送風機	消音形ストレートシロッコファン	●			#2	1,270	200	-	-	1	100	0.40	B	電気				標準付属品一式	●	3	IN	1階 家庭科教室(火気換気給気用)	FE-1-6と連動	
FS - 1-8	送風機	消音形ストレートシロッコファン	●			#1 1/2	1,500	200	-	-	1	100	0.40	B	電気				標準付属品一式	●	1	IN	1階 理科室1(局所排気給気用)	FE-1-8と連動	
FS - 1-9	送風機	消音形ストレートシロッコファン	●			#1 1/2	1,500	200	-	-	1	100	0.40	B	電気				標準付属品一式	●	1	IN	1階 理科室2(局所排気給気用)	FE-1-9と連動	
FS - 1-10	送風機	消音形ストレートシロッコファン	●			#1 1/2	1,450	150	-	-	1	100	0.40	B	電気				標準付属品一式	●	1	IN	1階 理科室3(局所排気給気用)	FE-1-10と連動	
FS - 2-8	排風機	有圧扇	●			600φ	6,800	100	-	-	3	200	0.35	E	電気				標準付属品一式、電動シャッター、保護ガード、インバーター、ウェザーカバー(給気用)	●	1	IN	2階 電気室	FE-2-8と連動、スイッチ取付は別途電気工事	
FE - 1-1	排風機	換気扇	●			400φ	800	100	-	-	1	100	0.14	U	電気				標準付属品一式、電動シャッター、保護ガード、強弱スイッチ、ウェザーカバー	●	2	IN	1階 武道場	強ノッチ運転、スイッチ取付は別途電気工事	
FE - 1-2	排風機	消音形ストレートシロッコファン	●			200φ	350	150	-	-	1	100	0.04	B	電気				標準付属品一式	●	1	IN	1階 準備室	強ノッチ運転	
FE - 1-3	排風機	消音形ストレートシロッコファン	●			200φ	300	150	-	-	1	100	0.04	B	電気				標準付属品一式	●	1	IN	1階 更衣室1	強ノッチ運転	
FE - 1-4	排風機	消音形ストレートシロッコファン	●			200φ	250	150	-	-	1	100	0.04	B	電気				標準付属品一式	●	1	IN	1階 更衣室2	強ノッチ運転	
FE - 1-5	排風機	消音形ストレートシロッコファン	●			200φ	300	150	-	-	1	100	0.04	B	電気				標準付属品一式	●	1	IN	1階 更衣室3	強ノッチ運転	
FE - 1-6	排風機	消音形ストレートシロッコファン	●			#2	1,270	200	-	-	1	100	0.40	R	電気	●			標準付属品一式	●	3	IN	1階 家庭科教室(火気換気)	強ノッチ運転、FS-1-6と連動	
FE - 1-7	排風機	消音形ストレートシロッコファン	●			200φ	350	150	-	-	1	100	0.04	B	電気	●			標準付属品一式	●	1	IN	1階 家庭科準備室	強ノッチ運転	
FE - 1-8	排風機	消音形ストレートシロッコファン	●			#1 1/2	1,500	200	-	-	1	100	0.40	R	電気	●			標準付属品一式	●	1	IN	1階 理科室1(局所排気)	強ノッチ運転、FS-1-8と連動	
FE - 1-9	排風機	消音形ストレートシロッコファン	●			#1 1/2	1,500	200	-	-	1	100	0.40	R	電気	●			標準付属品一式	●	1	IN	1階 理科室2(局所排気)	強ノッチ運転、FS-1-9と連動	
FE - 1-10	排風機	消音形ストレートシロッコファン	●			#1 1/2	1,450	200	-	-	1	100	0.40	R	電気	●			標準付属品一式	●	1	IN	1階 理科室3(局所排気)	強ノッチ運転、FS-1-10と連動	
FE - 1-11	排風機	消音形ストレートシロッコファン	●			200φ	250	150	-	-	1	100	0.04	S	電気				標準付属品一式	●	1	IN	1階 MWC	強ノッチ運転	
FE - 1-12	排風機	消音形ストレートシロッコファン	●			200φ	300	150	-	-	1	100	0.04	S	電気				標準付属品一式	●	1	IN	1階 WWC	強ノッチ運転	
FE - 1-13	排風機	消音形ストレートシロッコファン	●			150φ	220	150	-	-	1	100	0.03	B	電気	●			標準付属品一式	●	1	IN	1階 保健室(火気換気)	強ノッチ運転	
FE - 1-14	排風機	換気扇	●			150φ	200	100	-	-	1	100	0.02	C	電気	●			標準付属品一式、電動シャッター、24時間換気スイッチ、ウェザーカバー	●	1	IN	1階 武道場	強ノッチ運転、スイッチ取付は別途電気工事	
FE - 1-15	排風機	消音形ストレートシロッコファン	●			200φ	100	150	-	-	1	100	0.04	S	電気				標準付属品一式	●	1	IN	1階 HCWC	強ノッチ運転	
FE - 1-16	排風機	消音形ストレートシロッコファン	●			200φ	100	150	-	-	1	100	0.04	S	電気				標準付属品一式	●	1	IN	1階 男子トイレ(屋外)	強ノッチ運転	
FE - 1-17	排風機	消音形ストレートシロッコファン	●			200φ	100	150	-	-	1	100	0.04	S	電気				標準付属品一式	●	1	IN	1階 女子トイレ(屋外)	強ノッチ運転	
FE - 2-1	排風機	消音形ストレートシロッコファン	●			150φ	100	150	-	-	1	100	0.03	B	電気				標準付属品一式	●	1	IN	2階 倉庫2	強ノッチ運転	
FE - 2-2	排風機	消音形ストレートシロッコファン	●			200φ	200	150	-	-	1	100	0.04	B	電気				標準付属品一式	●	1	IN	2階 印刷室	強ノッチ運転	
FE - 2-3	排風機	消音形ストレートシロッコファン	●			200φ	150	150	-	-	1	100	0.04	B	電気				標準付属品一式	●	1	IN	2階 倉庫3	強ノッチ運転	
FE - 2-4	排風機	消音形ストレートシロッコファン	●			200φ	200	150	-	-	1	100	0.04	B	電気				標準付属品一式	●	1	IN	2階 音楽準備室1	強ノッチ運転	
FE - 2-5	排風機	消音形ストレートシロッコファン	●			250φ	500	150	-	-	1	100	0.09	B	電気				標準付属品一式	●	1	IN	2階 資料室2	強ノッチ運転	
FE - 2-6	排風機	消音形ストレートシロッコファン	●			200φ	300	150	-	-	1	100	0.04	S	電気				標準付属品一式	●	1	IN	2階 MWC	強ノッチ運転	
FE - 2-7	排風機	消音形ストレートシロッコファン	●			200φ	250	150	-	-	1	100	0.04	S	電気				標準付属品一式	●	1	IN	2階 WWC	強ノッチ運転	
FE - 2-8	排風機	有圧扇	●			600φ	6,800	100	-	-	3	200	0.35	R	電気				標準付属品一式、電動シャッター、保護ガード、インバーター、ウェザーカバー	●	1	IN	2階 電気室	強ノッチ運転、FS-2-8と連動、スイッチ取付は別途電気工事	
FV - 1-1	換気扇	天井扇(低騒音型)	●			150φ	500	100	-	-	1	100	0.10	B	電気	●			標準付属品一式	●	1	IN	1階 理科準備室1	強ノッチ運転	
FV - 1-2	換気扇	天井扇(低騒音型)	●			150φ	250	100	-	-	1	100	0.02	B	電気	●			標準付属品一式	●	1	IN	1階 理科準備室2	強ノッチ運転	
FV - 1-3	換気扇	天井扇(低騒音型)	●			100φ	100	100	-	-	1	100	0.01	B	電気				標準付属品一式	●	1	IN	1階 シャワー室	強ノッチ運転	
FV - 2-1	換気扇	天井扇(低騒音型)	●			100φ	100	100	-	-	1	100	0.01	B	電気	●			標準付属品一式	●	1	IN	2階 スタジオ(放送室)	強ノッチ運転	
FV - 2-2	換気扇	天井扇(低騒音型)	●			100φ	150	100	-	-	1	100	0.02	B	電気				標準付属品一式	●	1	IN	2階 資料室1	強ノッチ運転	
FV - 2-3	換気扇	天井扇(低騒音型)	●			100φ	150	100	-	-	1	100	0.02	B	電気				標準付属品一式	●	1	IN	2階 給湯室	強ノッチ運転	
FV - 2-4	換気扇	天井扇(低騒音型)	●			150φ	250	100	-	-	1	100	0.02	B	電気				標準付属品一式	●	1	IN	2階 音楽準備室2	強ノッチ運転	
FV - 2-5	換気扇	天井扇(低騒音型)	●			100φ	100	100	-	-	1	100	0.01	S	電気				標準付属品一式	●	1	IN	2階 HCWC	強ノッチ運転	

【注記】

- 公共建築仕様とする。
- 機器類の風量、全熱交換効率は表示された数値以上とする。
- 消費電力、静圧は、原則として表示された数値以下とする。
- 電源周波数は 60 Hz とする。
- 起動方式は特記無き限り7.5kW以下直入起動とする。
- 電動機の保護方法は、室内は防滴防護型で屋外は全閉防まつ型とする。
- 防振方法
※ ストレートシロッコファン、全熱交換ユニット、天井扇はゴム防振とする。
- IN : 屋内設置 OUT : 屋外設置
- 付属スイッチ・リモコンの欄に数量の記載があるものは制御方式に即した機器を付属する。
(同室2台以上設置については1セットのみ付属とする)
- 換気電動機出力の試験方法は JIS B 8330 による。
- 全熱交換ユニットの全熱交換効率は JIS B 8628 に基づく。
- 全熱交換ユニットは自動換気切替機能付とする。
- 発停方式: ・B-手元スイッチ ・C-24時間換気スイッチ(強・弱) ・E-サーモ ・F-マイコンタイプリモコン(微弱風量運転対応)
・S-照明連動+遅延連続タイマー+自動・手動切り替えスイッチ R:連動 U:手元スイッチ(速度調整付)
- 天井扇はDCブラシレスモーターとする。
- 機器類の風量、静圧は強ノッチ以下にて能力を満たす機種とすること。

火気換気計算書



換気機器表 (2)

機器番号	名称	型式	材質			サイズ φ・#	風量 m3/h	静圧 Pa	熱交換効率		電気特性			制御方式		付属品・ 特殊仕様	防振	付 属 ス イ ッ チ ・ リ モ ン コ ン	台 数	設 置 位 置	設置場所 (系統)	備考		
			樹脂	銅板	ステンレス				冷房	暖房	φ	V	kW	発 停 方 式	工 事 区 分								火 気 使 用 室	24 時 間 換 気
HEU - 1-1	全熱交換ユニット	カセット形	●			150φ	250	100	62	67	1	100	0.177	F	機械	●	●	化粧パネル、他標準付属品一式	●	1	1	IN	1階 事務室	強ノッチ運転
HEU - 1-2	全熱交換ユニット	カセット形	●			150φ	200	100	61	67	1	100	0.153	F	機械	●		化粧パネル、他標準付属品一式	●	1	1	IN	1階 教員研究室 (家庭科)	強ノッチ運転
HEU - 1-3	全熱交換ユニット	カセット形	●			200φ	330	100	61	66	1	100	0.25	F	機械	●		化粧パネル、他標準付属品一式	●	1	3	IN	1階 家庭科教室	強ノッチ運転
HEU - 1-4	全熱交換ユニット	カセット形	●			200φ	300	100	60.5	66	1	100	0.25	F	機械	●		化粧パネル、他標準付属品一式	●	1	1	IN	1階 保健室	強ノッチ運転
HEU - 1-5	全熱交換ユニット	カセット形	●			200φ	280	100	60.5	67	1	100	0.232	F	機械	●		化粧パネル、他標準付属品一式	●	1	2	IN	1階 SDGs.Well-beingスペース	強ノッチ運転
HEU - 1-6	全熱交換ユニット	カセット形	●			150φ	280	100	62	67	1	100	0.177	F	機械	●	●	化粧パネル、他標準付属品一式	●	1	4	IN	1階 ラーニングcommonsβ	強ノッチ運転
HEU - 1-7	全熱交換ユニット	カセット形	●			200φ	390	100	61	66	1	100	0.25	F	機械	●	●	化粧パネル、他標準付属品一式	●	1	3	IN	1階 図書室	強ノッチ運転
HEU - 1-8	全熱交換ユニット	カセット形	●			200φ	330	100	61	66	1	100	0.25	F	機械	●		化粧パネル、他標準付属品一式	●	1	3	IN	1階 理科室1	強ノッチ運転
HEU - 1-9	全熱交換ユニット	カセット形	●			200φ	330	100	61	66	1	100	0.25	F	機械	●		化粧パネル、他標準付属品一式	●	1	3	IN	1階 理科室2	強ノッチ運転
HEU - 1-10	全熱交換ユニット	カセット形	●			200φ	330	100	61	66	1	100	0.25	F	機械	●		化粧パネル、他標準付属品一式	●	1	3	IN	1階 理科室3	強ノッチ運転
HEU - 1-11	全熱交換ユニット	カセット形	●			200φ	350	100	61	66	1	100	0.25	F	機械	●		化粧パネル、他標準付属品一式	●	1	1	IN	1階 教員研究室 (理科・技術)	強ノッチ運転
HEU - 2-1	全熱交換ユニット	カセット形	●			200φ	320	100	61	66	1	100	0.25	F	機械	●	●	化粧パネル、他標準付属品一式	●	1	4	IN	2階 ラーニングcommonsα	強ノッチ運転
HEU - 2-2	全熱交換ユニット	カセット形	●			200φ	300	100	60.5	66	1	100	0.25	F	機械	●		化粧パネル、他標準付属品一式	●	1	1	IN	2階 教員研究室 (国語・英語)	強ノッチ運転
HEU - 2-3	全熱交換ユニット	カセット形	●			200φ	400	100	61	66	1	100	0.25	F	機械	●	●	化粧パネル、他標準付属品一式	●	1	3	IN	2階 教職員commons	強ノッチ運転
HEU - 2-4	全熱交換ユニット	カセット形	●			150φ	200	100	61	67	1	100	0.153	F	機械	●		化粧パネル、他標準付属品一式	●	1	1	IN	2階 校長室	強ノッチ運転
HEU - 2-5	全熱交換ユニット	カセット形	●			150φ	200	100	61	67	1	100	0.153	F	機械	●		化粧パネル、他標準付属品一式	●	1	1	IN	2階 応接室	強ノッチ運転
HEU - 2-6	全熱交換ユニット	カセット形	●			200φ	390	100	61	66	1	100	0.250	F	機械	●		化粧パネル、他標準付属品一式	●	1	3	IN	2階 音楽室	強ノッチ運転
HEU - 2-7	全熱交換ユニット	カセット形	●			100φ	100	100	61	67	1	100	0.08	F	機械	●		化粧パネル、他標準付属品一式	●	1	1	IN	2階 教員研究室 (音楽)	強ノッチ運転
F - 1	ファン	エア搬送ファン	●			-	2,020	-	-	-	1	100	0.160	U	機械			他標準付属品一式		2	4	IN	1階 武道場	速度調整機能付

【注記】

- 公共建築仕様とする。
- 機器類の風量、全熱交換効率は表示された数値以上とする。
- 消費電力、静圧は、原則として表示された数値以下とする。
- 電源周波数は 60 Hz とする。
- 起動方式は特記無き限り 7.5kW以下直入起動とする。
- 電動機の保護方法は、室内は防滴防護型で屋外は全閉防まつ型とする。
- 防振方法
※ ストレートシロッコファン、全熱交換ユニット、天井扇はゴム防振とする。
- IN：屋内設置 OUT：屋外設置
- 付属スイッチ・リモコンの欄に数量の記載があるものは制御方式に即した機器を付属する。
(同室2台以上設置については1セットのみ付属とする)
- 換気電動機出力の試験方法は JIS B 8330 による。
- 全熱交換ユニットの全熱交換効率は JIS B 8628 に基づく。
- 全熱交換ユニットは自動換気切替機能付とする。
- 発停方式：・B-手元スイッチ ・C-24時間換気スイッチ (強・弱) ・E-サーモ ・F-マイコンタイプリモコン (微弱風量運転対応)
・S-照明連動+遅延連続タイマー+自動・手動切り替えスイッチ R: 連動 U: 手元スイッチ (速度調整付)
- 天井扇はDCブラシレスモーターとする。
- 機器類の風量、静圧は強ノッチ以下にて能力を満たす機種とすること。

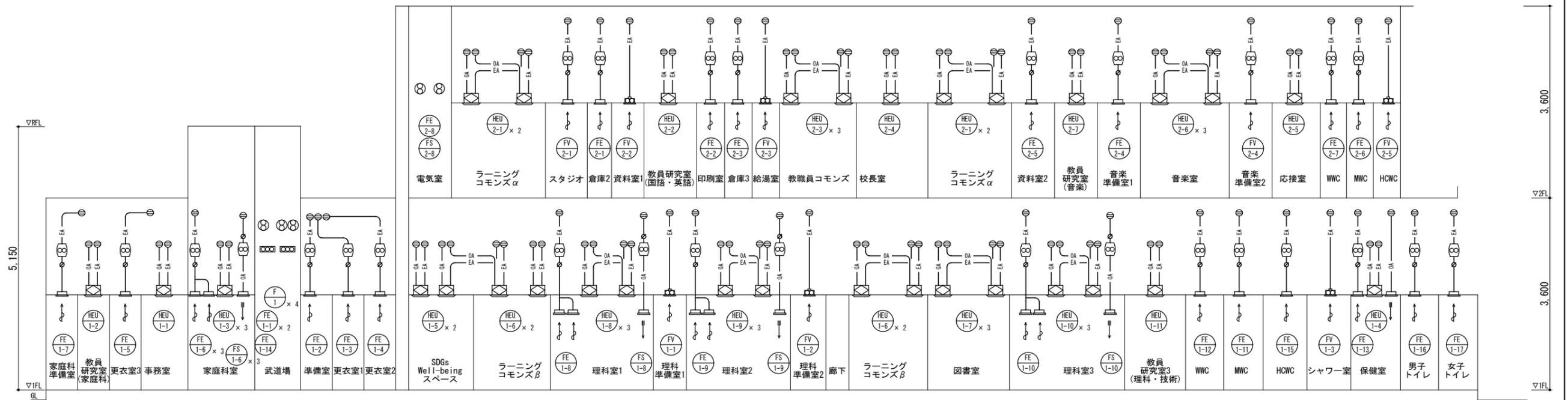
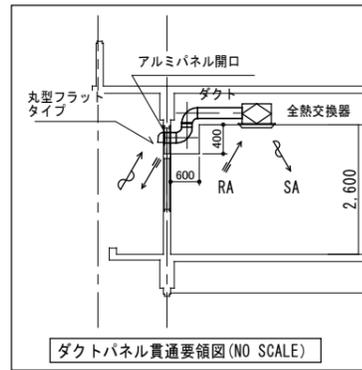
制気口リスト

階	室名	機器番号	吹出口							備考 (結露防止型は断熱材仕様とする)	機器番号	吸込口							備考													
			種別	形式	サイズ			風量 m3/h	個数			総風量 m3/h	ボックスサイズ				内貼 GW25t	種別		形式	サイズ			風量 m3/h	個数	総風量 m3/h	ボックスサイズ				内貼 GW25t	
W	x	D			W	x	D			x	H		W	x	D	W			x		D	x	H									
1	家庭科室(火気換気)	FS-1-6	OA	VHS	550	x	550	1,267	3	3,800	700	x	700	x	450	○	結露防止型	FE-1-6	KEA	HS	300	x	300	423	9	3,800	-	x	-	x	-	
1	理科室1(火気換気)	FS-1-8	OA	VHS	550	x	550	1,500	1	1,500	700	x	700	x	450	○	結露防止型	FE-1-8	KEA	HS	200	x	200	167	9	1,500	-	x	-	x	-	
1	理科室2(火気換気)	FS-1-9	OA	VHS	550	x	550	1,500	1	1,500	700	x	700	x	450	○	結露防止型	FE-1-9	KEA	HS	200	x	200	167	9	1,500	-	x	-	x	-	
1	理科室3(火気換気)	FS-1-10	OA	VHS	550	x	550	1,450	1	1,450	700	x	700	x	450	○	結露防止型	FE-1-10	KEA	HS	200	x	200	162	9	1,450	-	x	-	x	-	
1	準備室																	FE-1-2	EA	HS	300	x	300	350	1	350	450	x	450	x	400	
1	更衣室1																	FE-1-3	EA	HS	250	x	250	300	1	300	400	x	400	x	400	
1	更衣室2																	FE-1-4	EA	HS	250	x	250	250	1	250	400	x	400	x	400	
1	更衣室3																	FE-1-5	EA	HS	250	x	250	300	1	300	400	x	400	x	400	
1	家庭科準備室		PASS	VH	300	x	300	350	1	350	450	x	450	x	450	○	結露防止型	FE-1-7	KEA	HS	300	x	300	350	1	350	450	x	450	x	400	
1	MWC																	FE-1-10	EA	HS	150	x	150	63	4	250	300	x	300	x	300	
1	WWC																	FE-1-11	EA	HS	150	x	150	43	7	300	300	x	300	x	300	
1	HCCWC																	FE-1-15	EA	HS	150	x	150	100	1	100	300	x	300	x	300	
1	保健室(火気換気)		PASS	VH	250	x	250	220	1	220	400	x	400	x	450	○		FE-1-12	KEA	HS	200	x	200	220	1	220	-	x	-	x	-	
1	男子トイレ(屋外)																	FE-1-16	EA	HS	100	x	100	33	3	100	250	x	250	x	300	
1	女子トイレ(屋外)																	FE-1-17	EA	HS	100	x	100	25	4	100	250	x	250	x	300	
2	倉庫2																	FE-2-1	EA	HS	150	x	150	100	1	100	300	x	300	x	300	
2	印刷室																	FE-2-2	EA	HS	200	x	200	200	1	200	350	x	350	x	350	
2	倉庫3																	FE-2-3	EA	HS	200	x	200	150	1	150	350	x	350	x	350	
2	音楽準備室1																	FE-2-4	EA	HS	200	x	200	200	1	200	350	x	350	x	350	
2	資料室2																	FE-2-5	EA	HS	350	x	350	500	1	500	500	x	500	x	400	
2	MWC																	FE-2-6	EA	HS	150	x	150	75	4	300	300	x	300	x	300	
2	WWC																	FE-2-7	EA	HS	150	x	150	42	6	250	300	x	300	x	300	

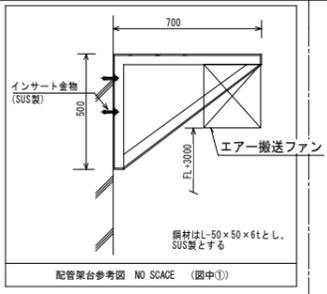
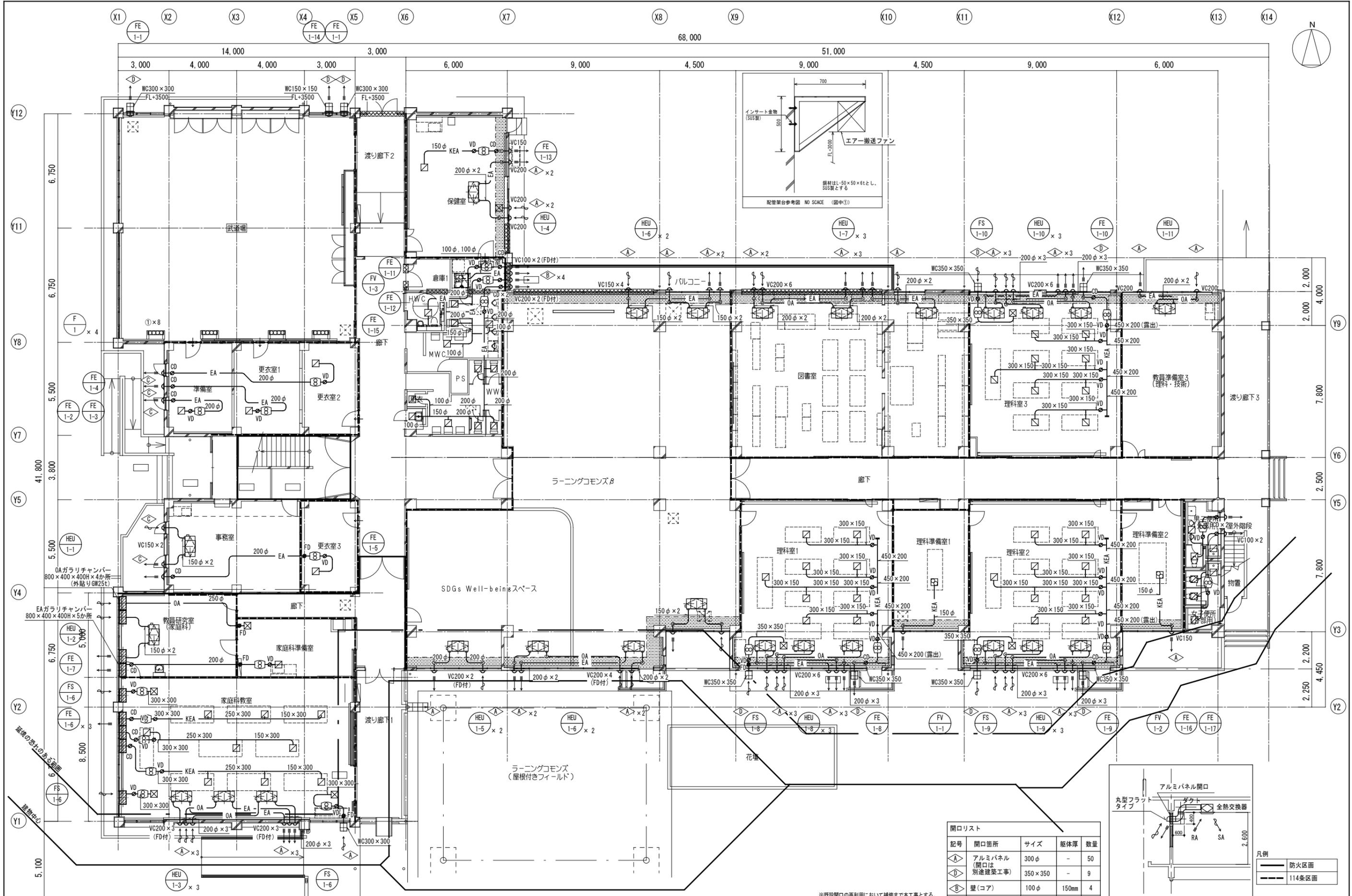
系統 SA: 空調給気吹出口 OA: 換気給気吹出口 RA: 空調還気吸込口 EA: 換気排気吸込口 KEA: 火気使用換気排気吸込口 PASS: パス

種類 VHS・VH: ユニバーサル型吹出口 HS・H: ユニバーサル吸込口

特記事項 ・制気口は指定色焼付塗装とする。

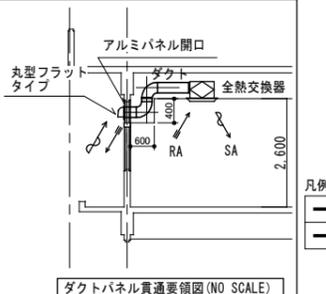


ダクト系統図



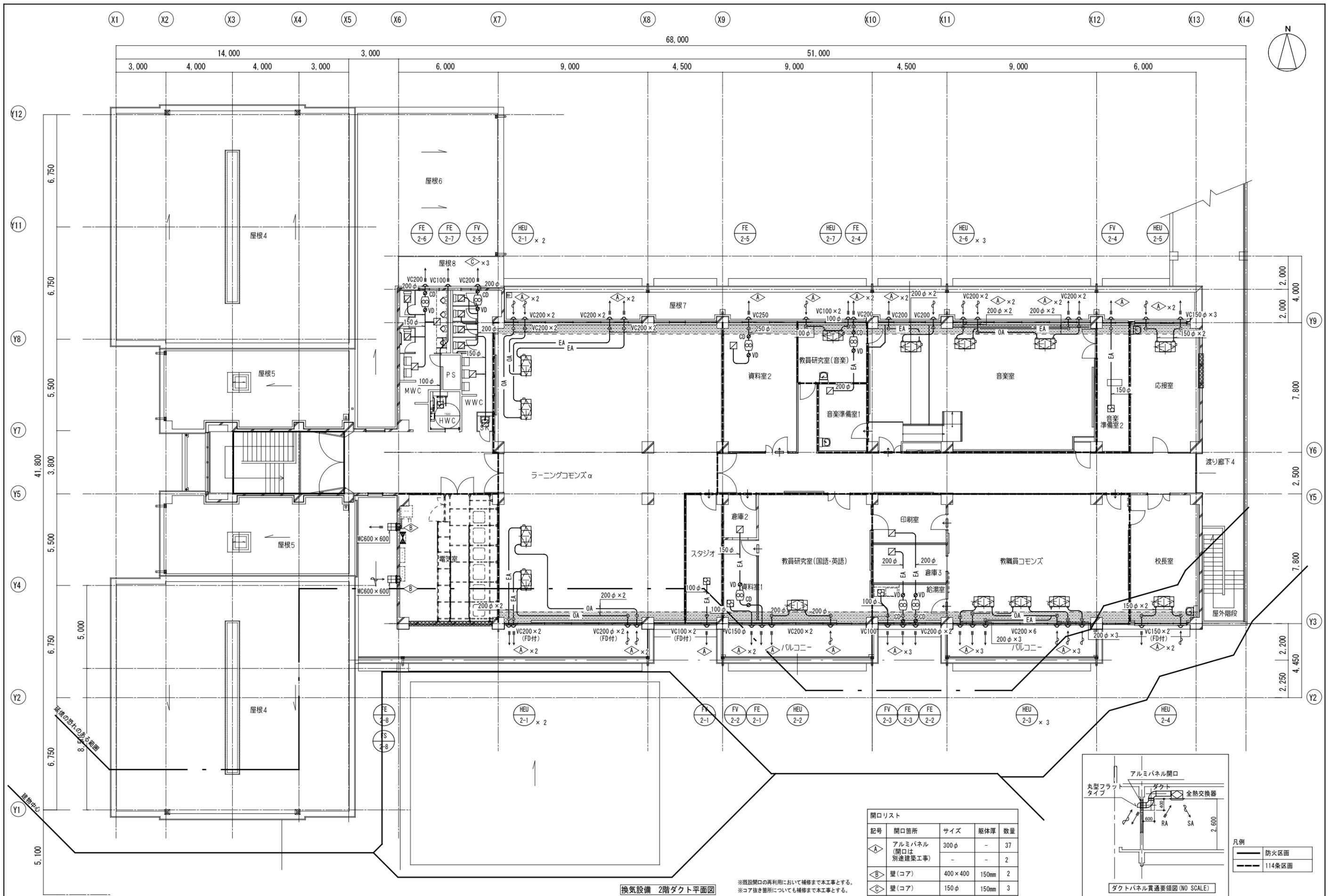
開口リスト

記号	開口箇所	サイズ	躯体厚	数量
△	アルミパネル (開口は別途建築工事)	300φ	-	50
◇	壁(コア)	350×350	-	9
○	壁(コア)	100φ	150mm	4
●	壁(コア)	200φ	150mm	5



換気設備 1階ダクト平面図

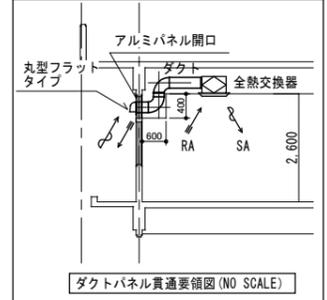
※既設開口の再利用において補修まで本工事とする。
 ※コア抜き箇所についても補修まで本工事とする。



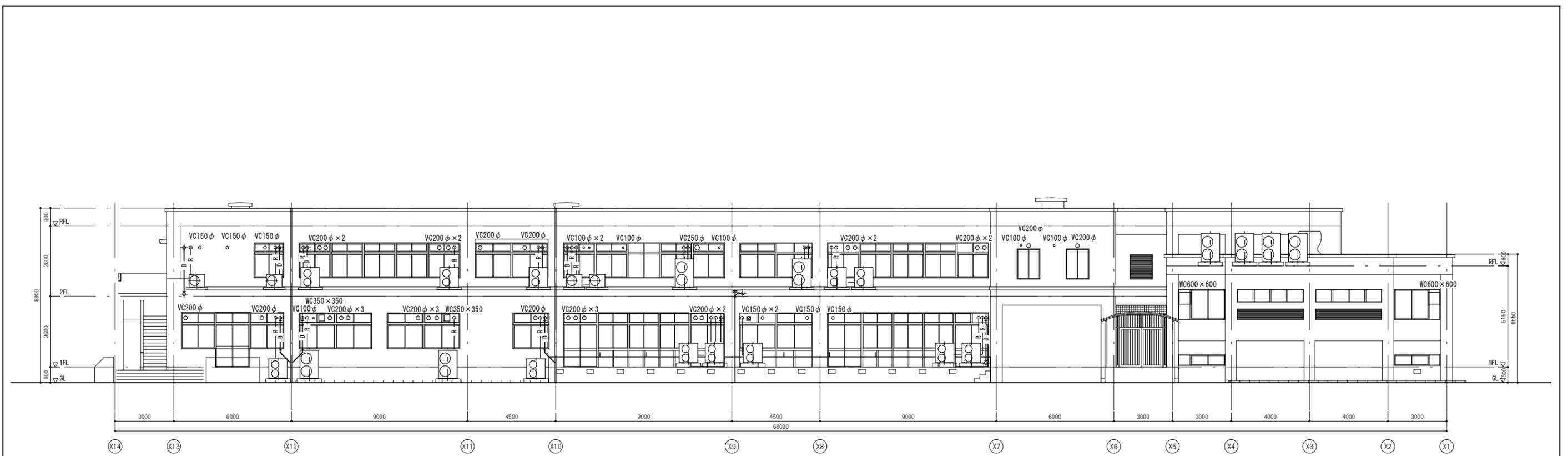
換気設備 2階ダクト平面図

※既設開口の再利用において補修まで本工事とする。
 ※コア抜き箇所についても補修まで本工事とする。

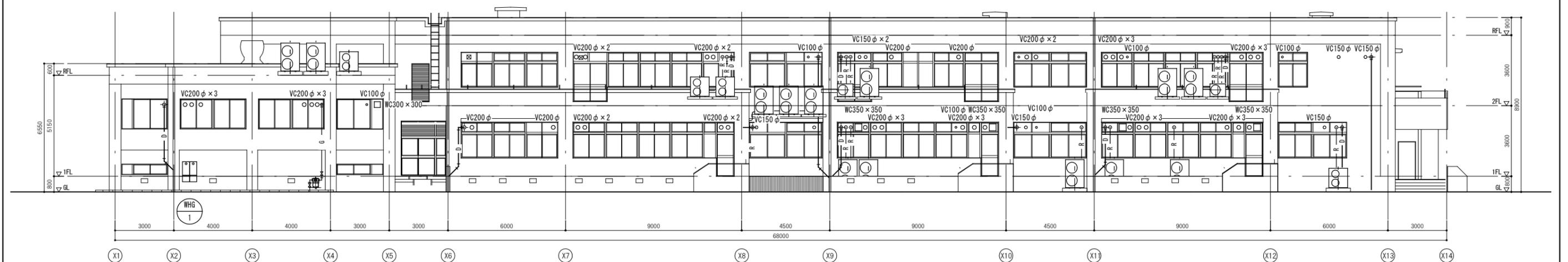
開口リスト				
記号	開口箇所	サイズ	躯体厚	数量
△	アルミパネル開口 (開口は別途建築工事)	300φ	-	37
◇	壁(コア)	400×400	150mm	2
○	壁(コア)	150φ	150mm	3



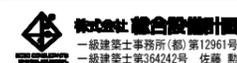
凡例	
—	防火区画
- - -	114条区画

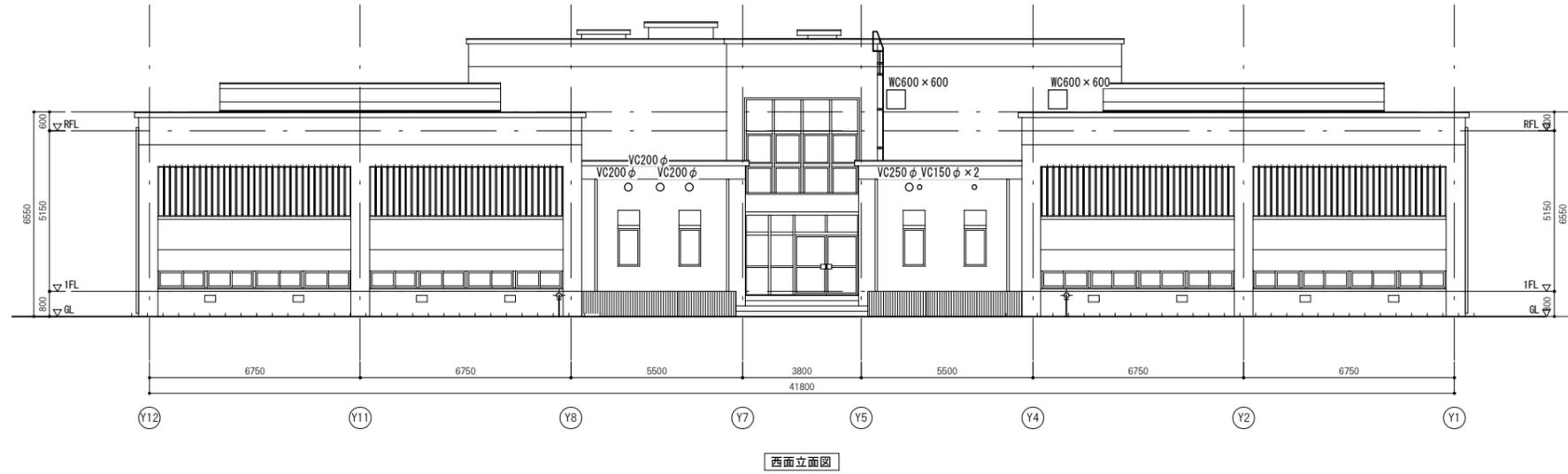


北面立面図

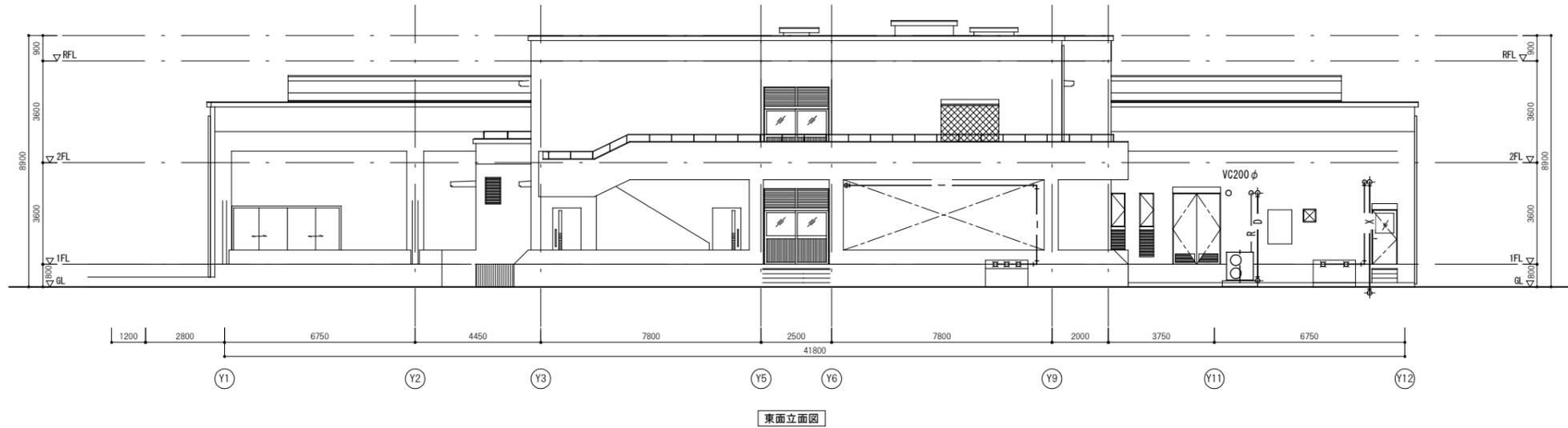


南面立面図

備考	 岡山大学施設企画部	 岡山大学工学部 総合設備計画 一級建築士事務所(都)第12961号 一級建築士第364242号 佐藤 勲	設計業務名	岡山大学(東山)附属中学校校舎改修設備設計業務	工事名称	岡山大学(東山(一))附属中学校校舎改修Ⅱ機械設備工事	縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	M-016
			図面名称	空調調和・換気設備 立面図(1) (改修)	作成年月	令和7年11月				

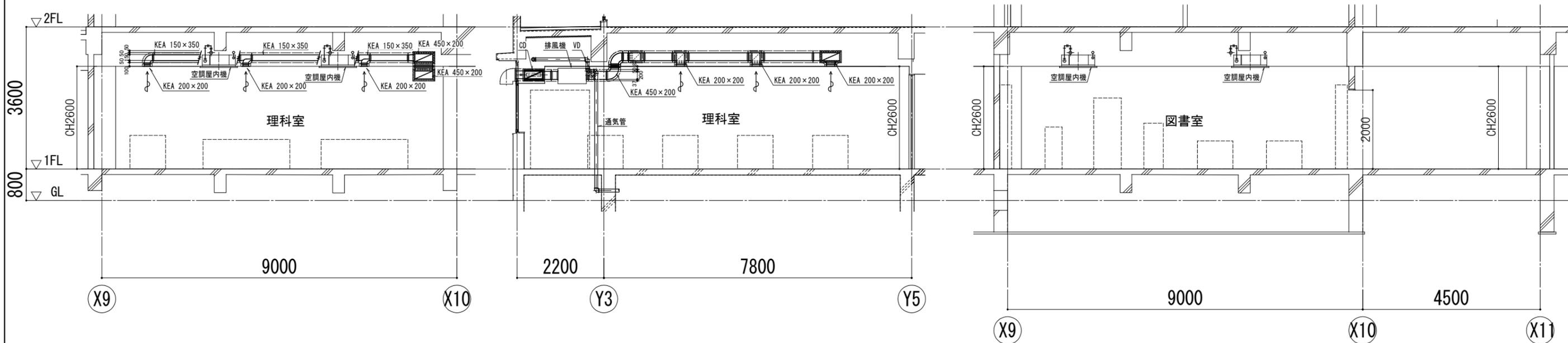
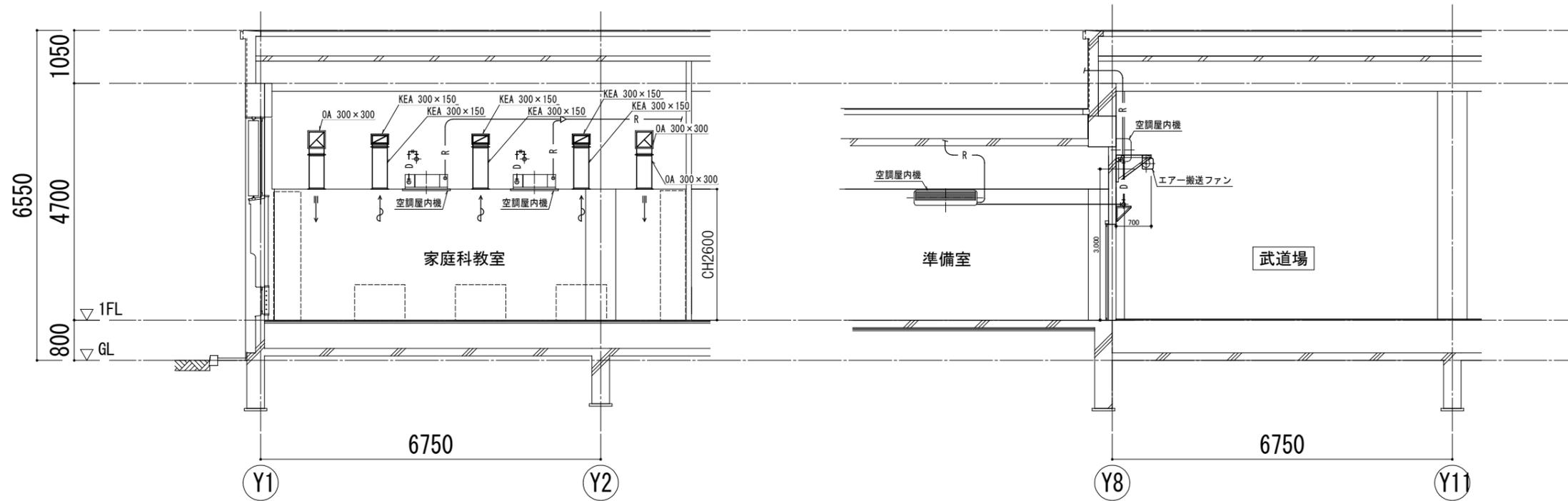


西面立面図

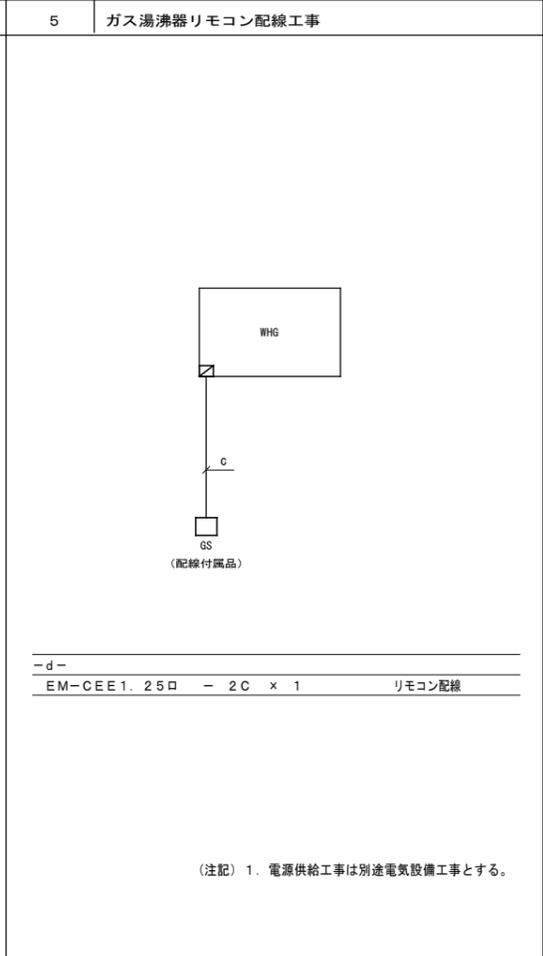
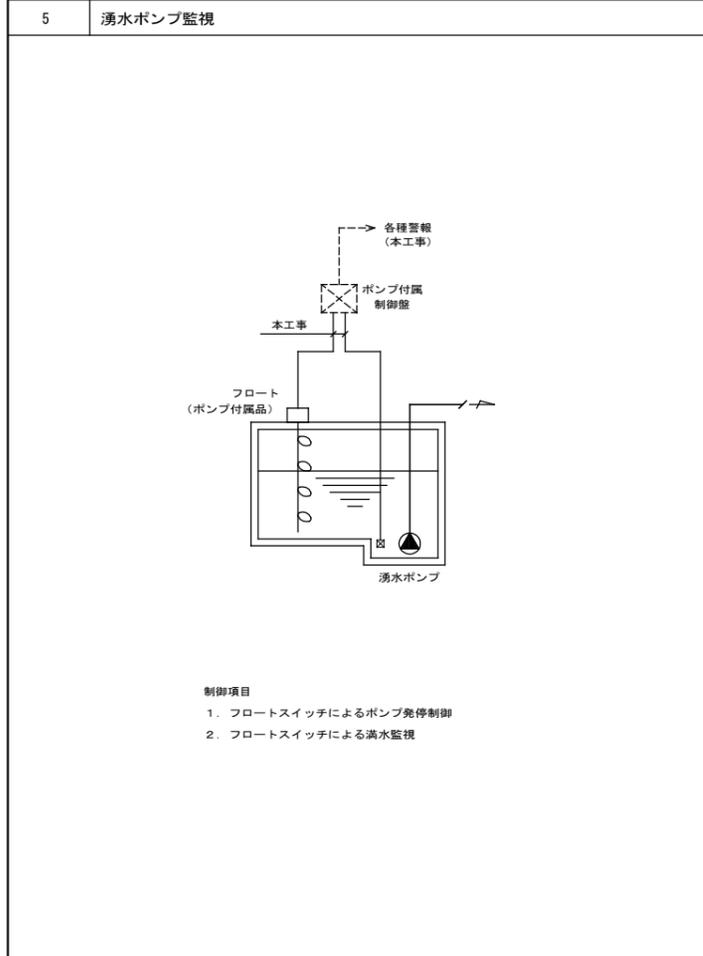
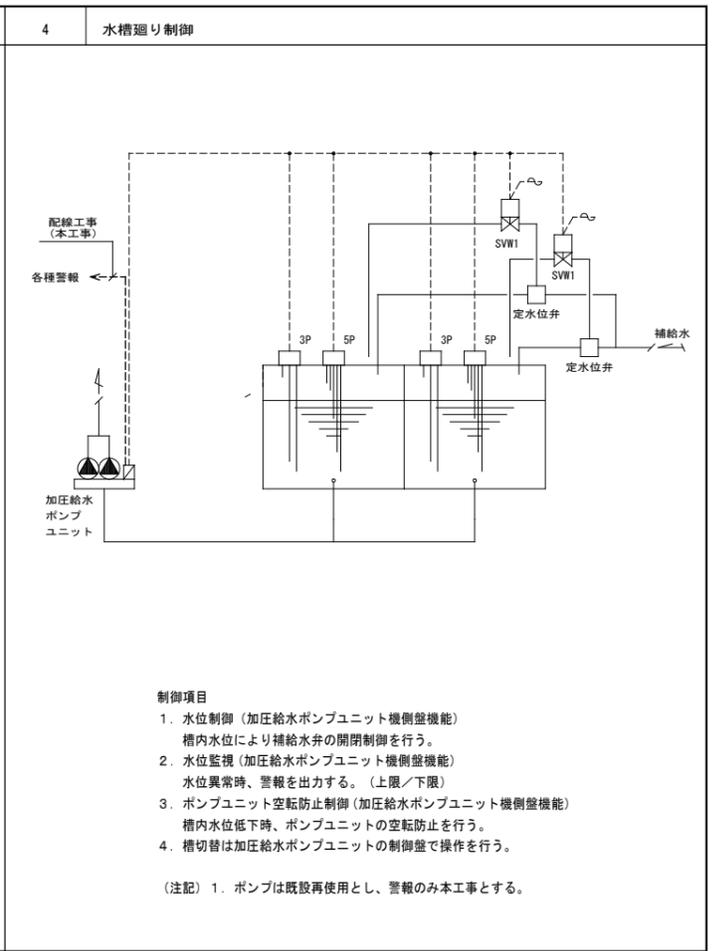
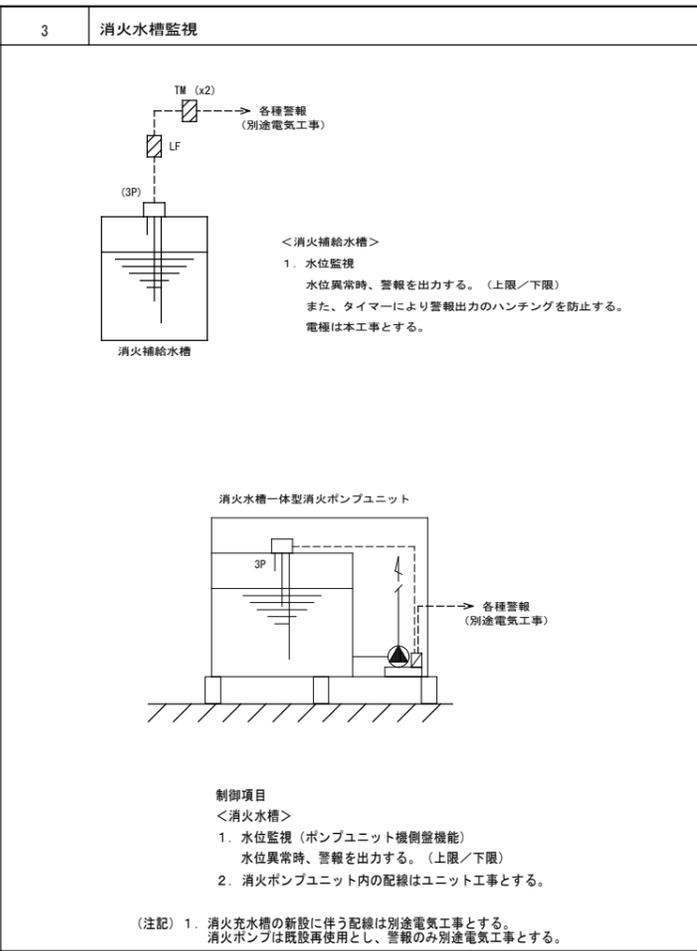
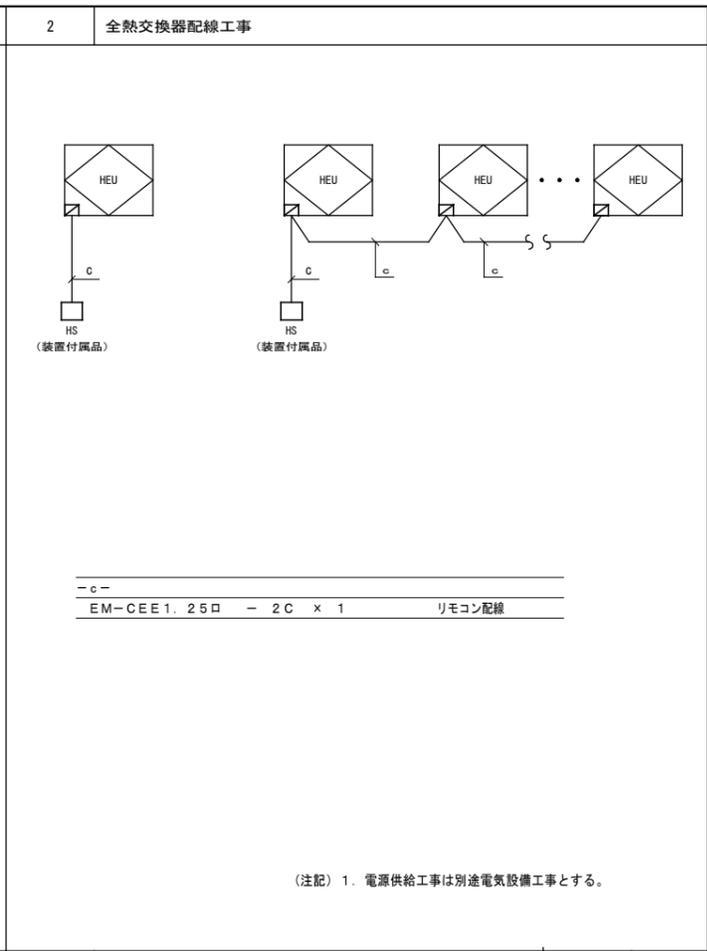
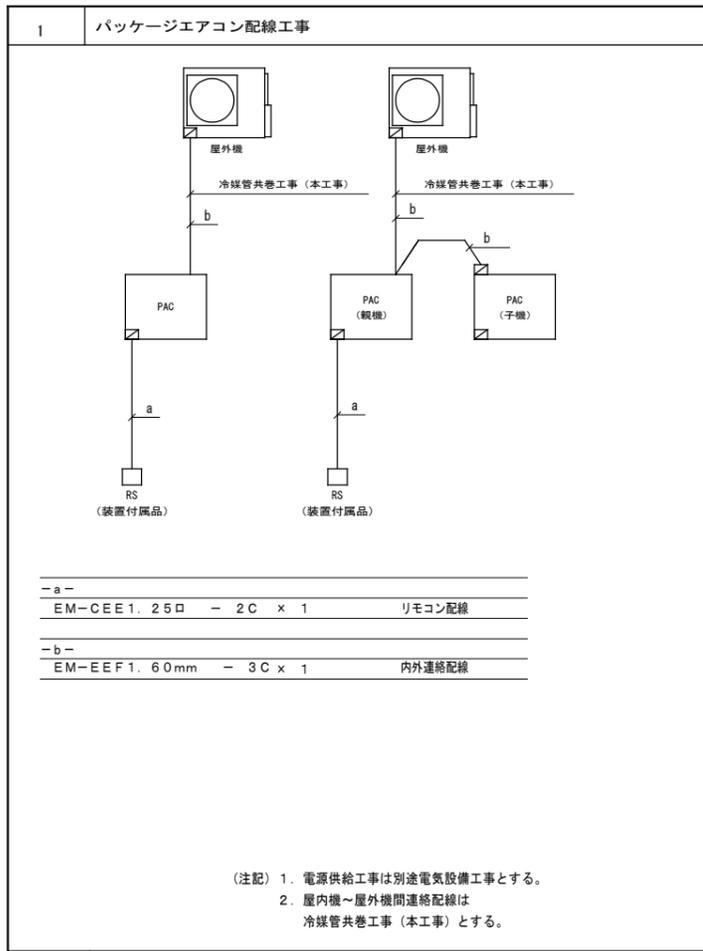


東面立面図

備考	岡山大学施設企画部	 株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都)第12961号 一級建築士第364242号 佐藤 勲	設計業務名	工事名称	縮尺	図面番号
			岡山大学(東山)附属中学校校舎改修設備設計業務	岡山大学(東山(一))附属中学校校舎改修Ⅱ機械設備工事	A1:1/100 A3:1/200	M-017
				図面名称	作成年月	
				空調調和・換気設備 立面図(2)(改修)	令和7年11月	



備考	岡山大学施設企画部	 株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都)第12961号 一級建築士第364242号 佐藤 勲	設計業務名 岡山大学(東山)附属中学校校舎改修設備設計業務	工事名称 岡山大学(東山(一))附属中学校校舎改修Ⅱ機械設備工事	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図面番号 M-018
				図面名称 空調調和・換気設備 断面詳細図(改修)	作成年月 令和7年11月	



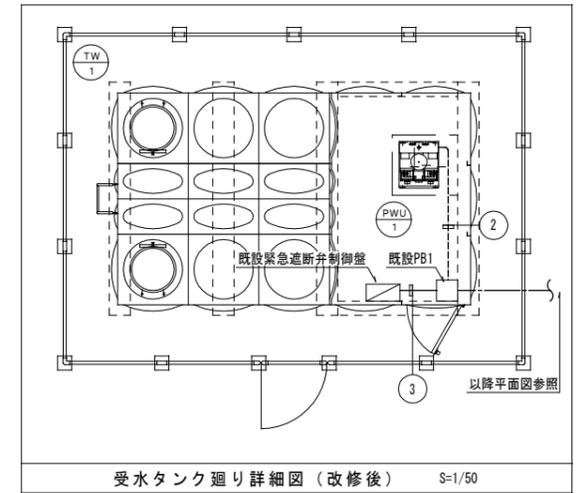
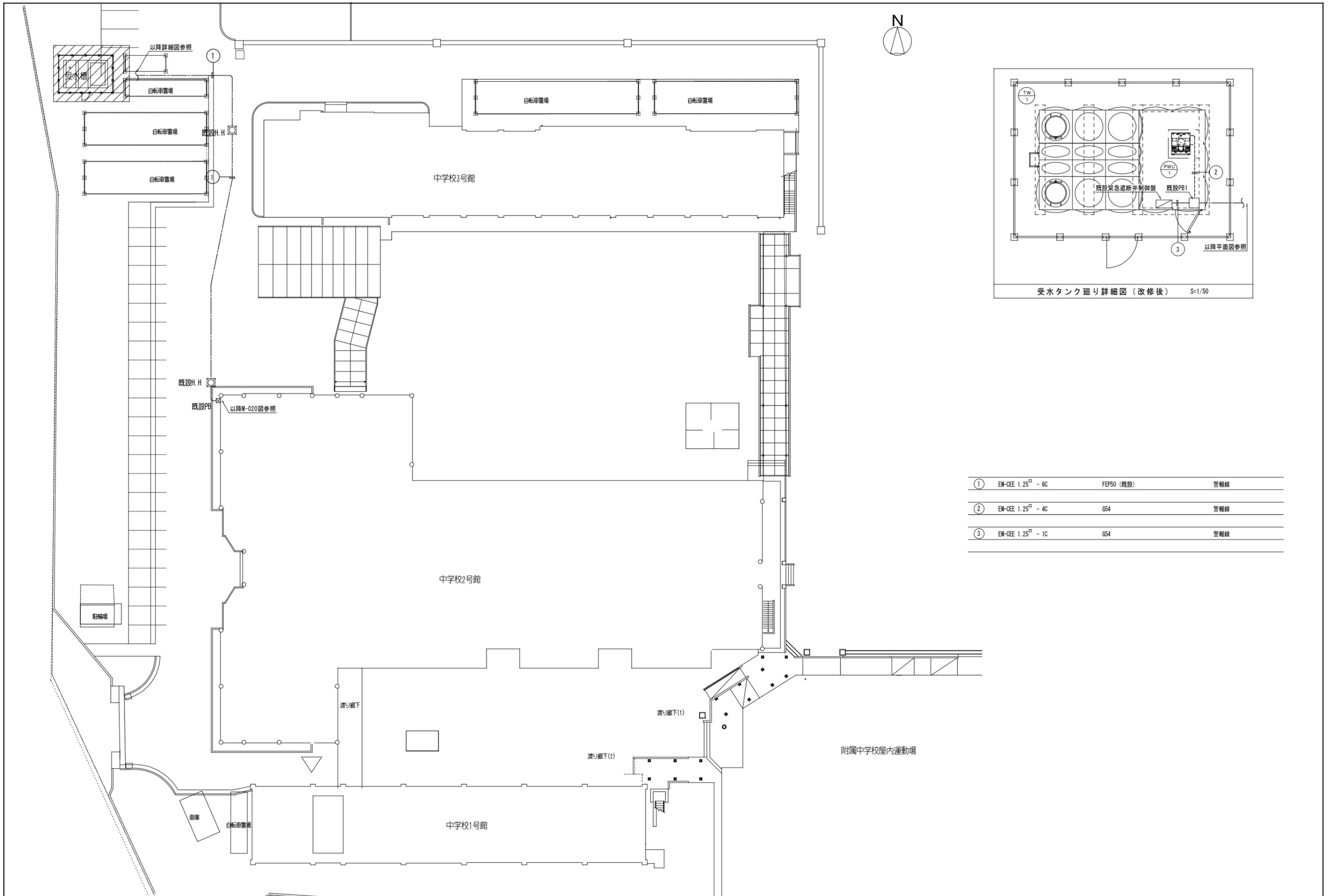
6 凡例、配線・配管サイズ表

記号	名称	配管		備考
		屋内	屋外	
○RS	ワイヤードリモコン (エアコン用)			FL+1.300 (標準)
○HS	ワイヤードリモコン (全熱交換ユニット用)			FL+1.300 (標準)
○GS	給湯器リモコン			FL+1.300 (標準)
EM-C EE 1. 25口 - 2C x 1		(PF 22)		隠蔽配管
EM-C EE 1. 25口 - 2C x 1		(E 25)	(G 22)	屋内露出配管
EM-C EE 1. 25口 - 2C x 1		既設配管内		屋外埋設配管
☑ (W/P)	ブルボックス (W/Pは防水仕様)			
☑	警報盤			
☑	ハンドホール			

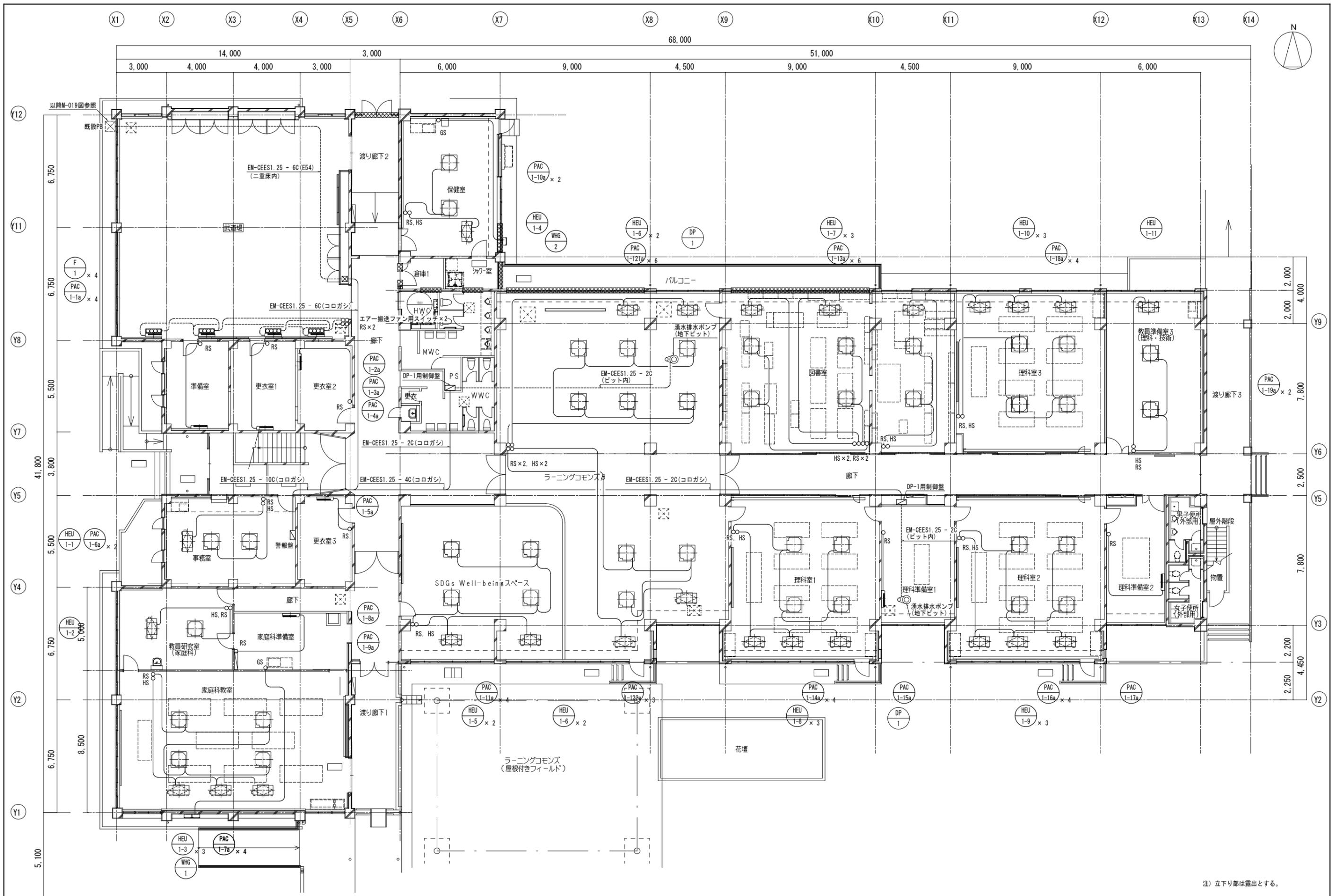
<特記>
・天井内はケーブルコガシとし、スイッチ類及び盤への立下りは配管を使用する。(屋内露出部はMMAとする。)
・警報盤の仕様は銅板製 (標準色塗装) とし、無電圧入力・表示ランプ・個別警報停止・プザー (切替) ・一括警報出力の機能付とする。(参考型番: BRN110 (パナソニック))

管理点一覧表

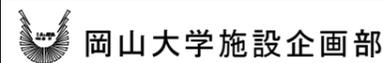
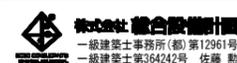
設備記号	管理対象	名称	自動制御盤	信号取合先	操作		監視		計測		参考		備考
					発停	切換	設定	状態	警報	温度	他	計量	
<受水槽>	受水槽	上限警報	警報盤	加圧給水PU制御盤					1			1	
		下限警報	警報盤	加圧給水PU制御盤					1			1	
		遮断弁閉	警報盤	遮断弁制御盤					1			1	
<加圧給水PU>	加圧給水ポンプ	状態・警報	警報盤	本体制御盤				1	1		2		
<湧水槽・湧水PU>	湧水槽	上限警報	警報盤	本体制御盤				1			1		
		湧水ポンプ	警報盤	本体制御盤				1			1		
<消火PU>	消火水槽	上限警報	---	本体制御盤					1		1	別途電気工事 (火報盤)	
		下限警報	---	本体制御盤					1		1	別途電気工事 (火報盤)	
		消火ポンプ	状態・警報	---	本体制御盤				1	1		2	別途電気工事 (火報盤)
<消火充水槽>	消火充水槽	上限・下限警報	---	本体制御盤				1			1	別途電気工事 (火報盤)	
<受変電設備>	一括警報		警報盤	受変電設備						1	1	配管・配線は別途電気工事	
<太陽光発電設備>	パワーコンディショナー	警報	警報盤	パワーコンディショナー						1	1	配管・配線は別途電気工事	

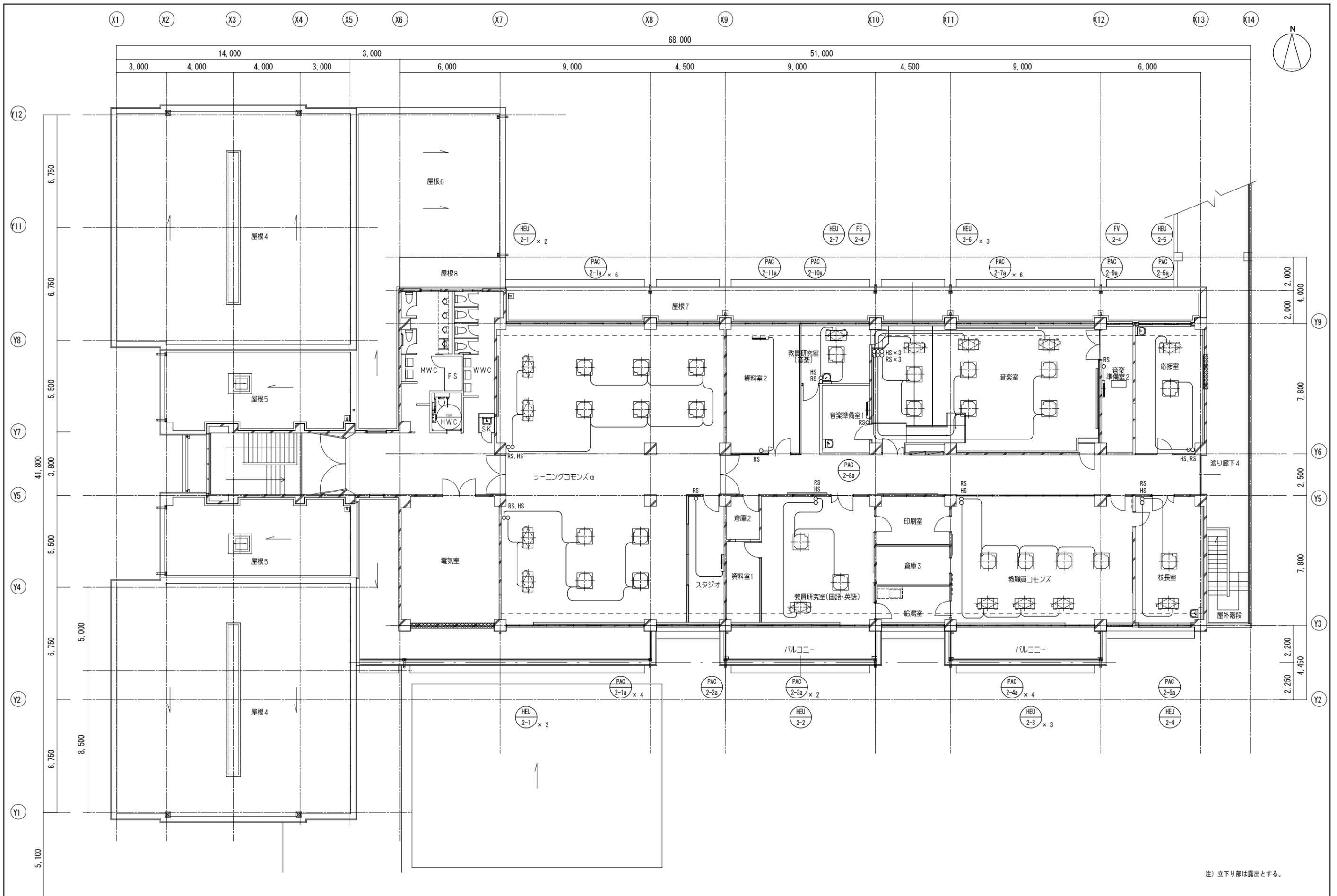


①	EM-CEE 1.25 [□] - 6C	FEP50 (既設)	警報線
②	EM-CEE 1.25 [□] - 4C	G54	警報線
③	EM-CEE 1.25 [□] - 1C	G54	警報線

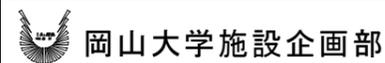
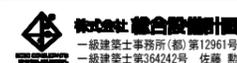


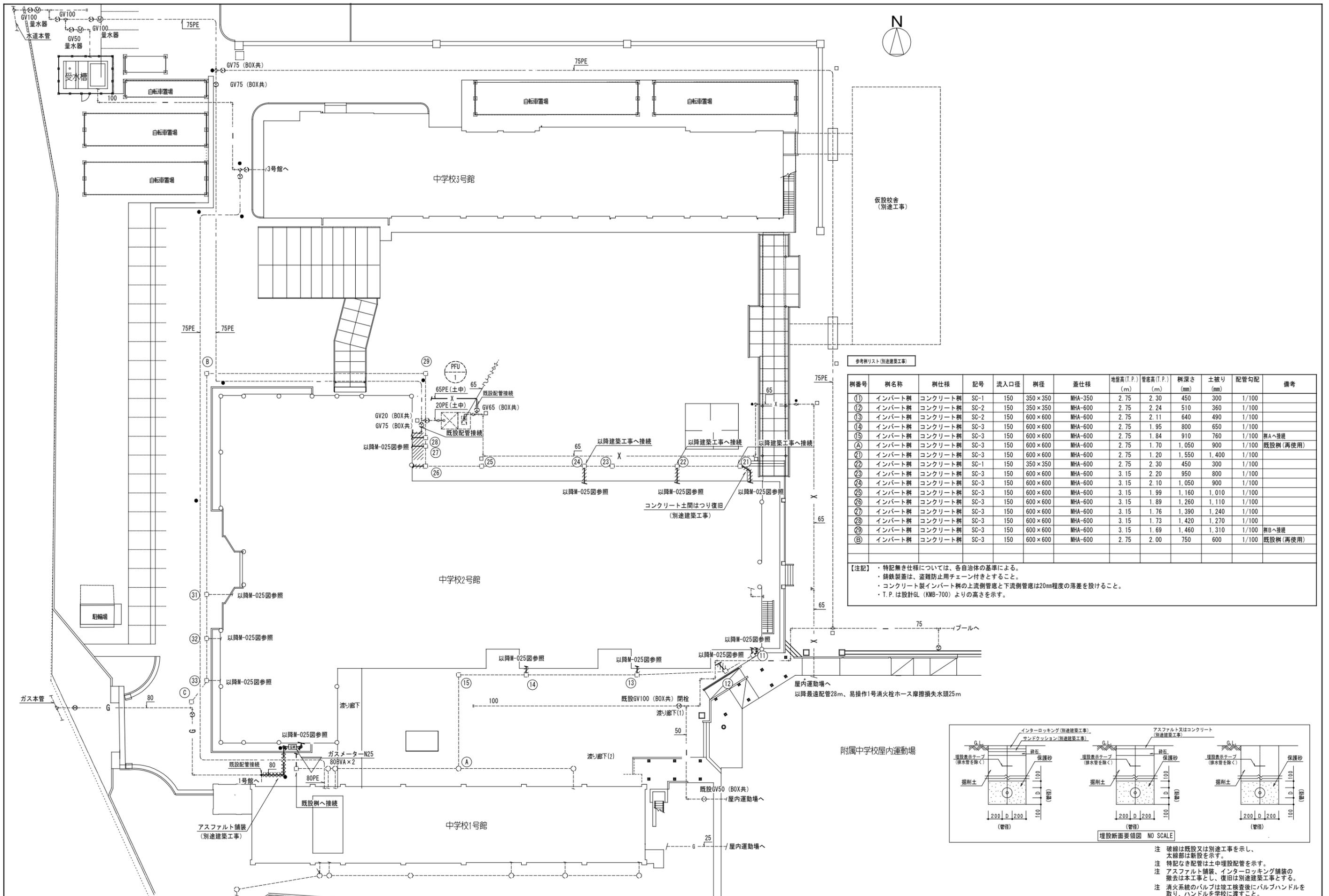
注) 立下り部は露出とする。

備考	 岡山大学施設企画部	 設計業務名 岡山大学(東山)附属中学校校舎改修設備設計業務	工事名称 岡山大学(東山(一))附属中学校校舎改修Ⅱ機械設備工事 図面名称 空気調和・換気・給排水衛生設備 リモコン配線1階平面図(改修)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 M-021
				作成年月 令和7年11月	



注) 立下り部は露出とする。

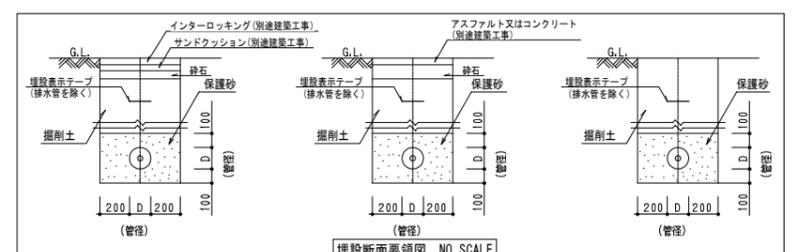
備考	 岡山大学施設企画部	 設計業務名 岡山大学(東山)附属中学校校舎改修設備設計業務 <small>一級建築士事務所(都)第12961号 一級建築士第364242号 佐藤 勲</small>	工事名称 岡山大学(東山(一))附属中学校校舎改修Ⅱ機械設備工事 図面名称 空気調和・換気・給排水衛生設備 リモコン配線2階平面図(改修)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 M-022
				作成年月 令和7年11月	



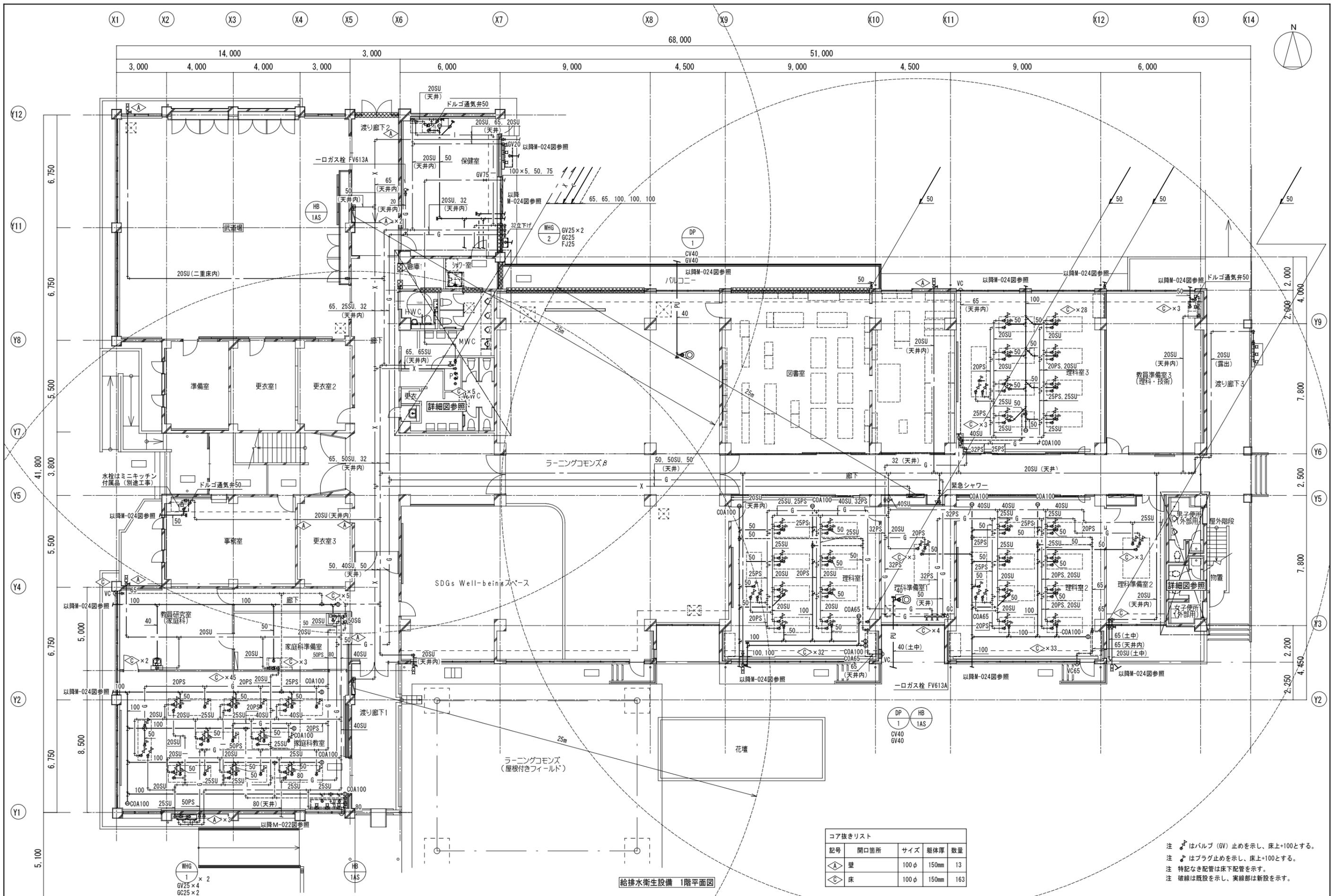
参考樹リスト(別途建築工事)

樹番号	樹名称	樹仕様	記号	流入口径	樹径	蓋仕様	地盤高(T.P.) (m)	管底高(T.P.) (m)	樹深さ (mm)	土被り (mm)	配管勾配	備考
①	インバート樹	コンクリート樹	SC-1	150	350×350	MHA-350	2.75	2.30	450	300	1/100	
②	インバート樹	コンクリート樹	SC-2	150	350×350	MHA-600	2.75	2.24	510	360	1/100	
③	インバート樹	コンクリート樹	SC-2	150	600×600	MHA-600	2.75	2.11	640	490	1/100	
④	インバート樹	コンクリート樹	SC-3	150	600×600	MHA-600	2.75	1.95	800	650	1/100	
⑤	インバート樹	コンクリート樹	SC-3	150	600×600	MHA-600	2.75	1.84	910	760	1/100	樹Aへ接続
⑥	インバート樹	コンクリート樹	SC-3	150	600×600	MHA-600	2.75	1.70	1,050	900	1/100	既設樹(再使用)
⑦	インバート樹	コンクリート樹	SC-3	150	600×600	MHA-600	2.75	1.20	1,550	1,400	1/100	
⑧	インバート樹	コンクリート樹	SC-1	150	350×350	MHA-600	2.75	2.30	450	300	1/100	
⑨	インバート樹	コンクリート樹	SC-3	150	600×600	MHA-600	3.15	2.20	950	800	1/100	
⑩	インバート樹	コンクリート樹	SC-3	150	600×600	MHA-600	3.15	2.10	1,050	900	1/100	
⑪	インバート樹	コンクリート樹	SC-3	150	600×600	MHA-600	3.15	1.99	1,160	1,010	1/100	
⑫	インバート樹	コンクリート樹	SC-3	150	600×600	MHA-600	3.15	1.89	1,260	1,110	1/100	
⑬	インバート樹	コンクリート樹	SC-3	150	600×600	MHA-600	3.15	1.76	1,390	1,240	1/100	
⑭	インバート樹	コンクリート樹	SC-3	150	600×600	MHA-600	3.15	1.73	1,420	1,270	1/100	
⑮	インバート樹	コンクリート樹	SC-3	150	600×600	MHA-600	3.15	1.69	1,460	1,310	1/100	樹Bへ接続
⑯	インバート樹	コンクリート樹	SC-3	150	600×600	MHA-600	2.75	2.00	750	600	1/100	既設樹(再使用)

【注記】
 ・特記なき仕様については、各自治体の基準による。
 ・鍍鉄製蓋は、盗難防止用チェーン付きとすること。
 ・コンクリート製インバート樹の上流側管底と下流側管底は20mm程度の落差を設けること。
 ・T.P. は設計GL (KMB-700) からの高さを示す。



注 破線は既設又は別途工事を示し、太線は新設を示す。
 注 特記なき配管は土中埋設配管を示す。
 注 アスファルト舗装、インターロッキング舗装の撤去は本工事とし、復旧は別途建築工事とする。
 注 消火系統のバルブは竣工検査後にバルブハンドルを取り、ハンドルを学校に渡すこと。

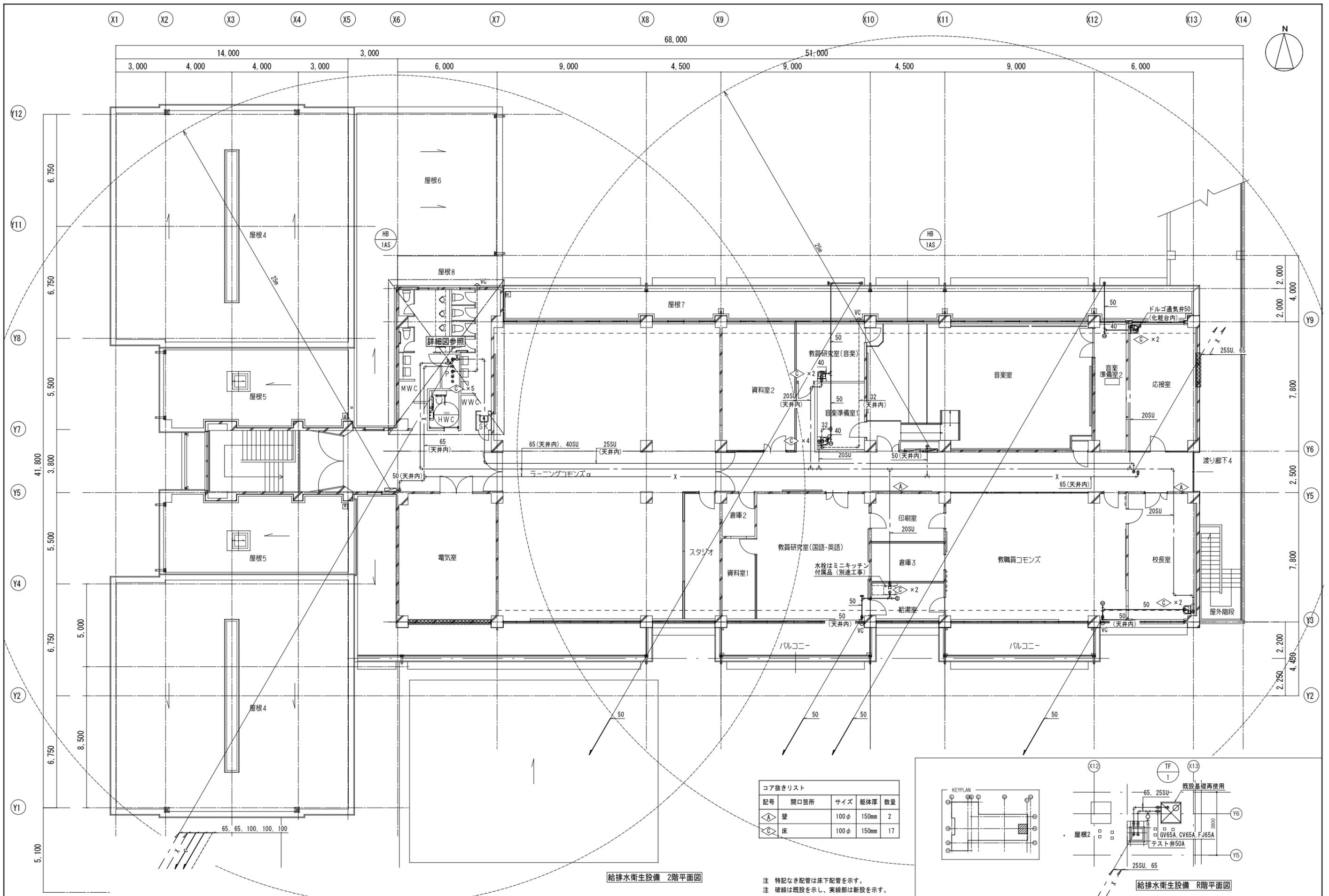


給排水衛生設備 1階平面図

コア抜きリスト

記号	開口箇所	サイズ	躯体厚	数量
△	壁	100φ	150mm	13
◇	床	100φ	150mm	163

注 ① はバルブ (GV) 止めを示し、床上+100とする。
 注 ② はプラグ止めを示し、床上+100とする。
 注 特記なき配管は床下配管を示す。
 注 破線は既設を示し、実線は新設を示す。

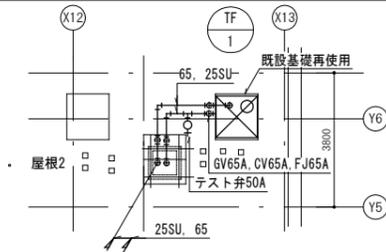
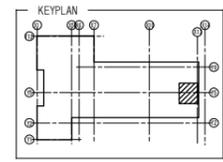


給排水衛生設備 2階平面図

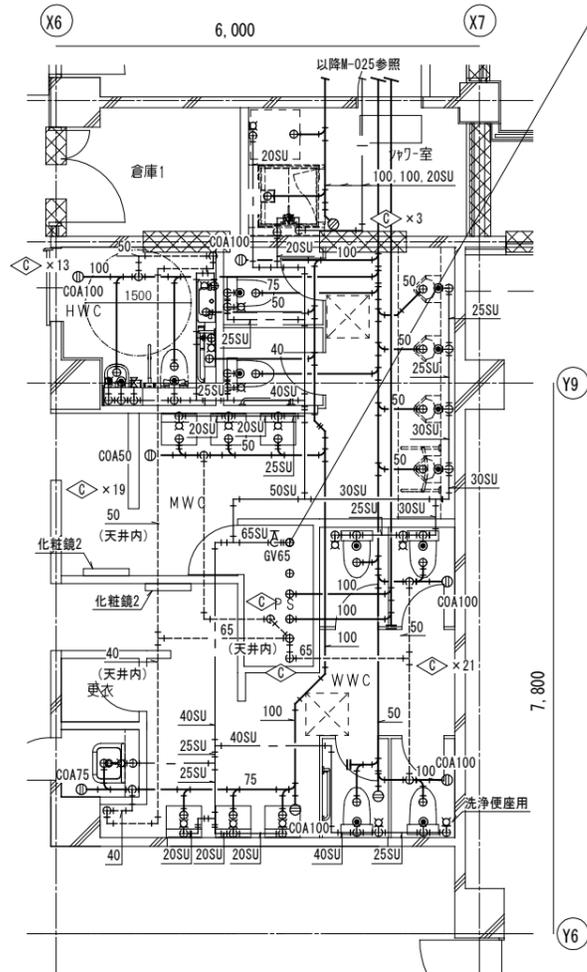
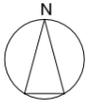
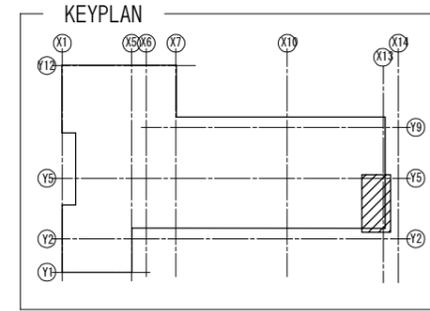
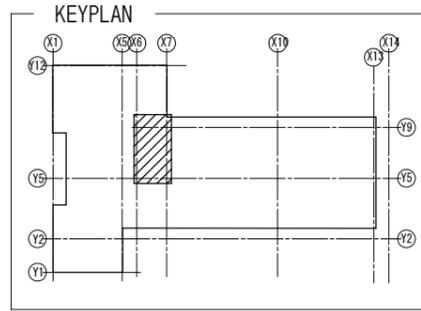
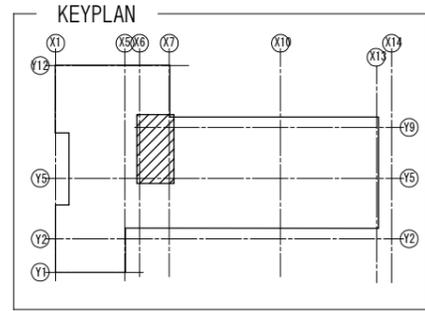
コア抜きリスト

記号	開口箇所	サイズ	躯体厚	数量
△	壁	100φ	150mm	2
◇	床	100φ	150mm	17

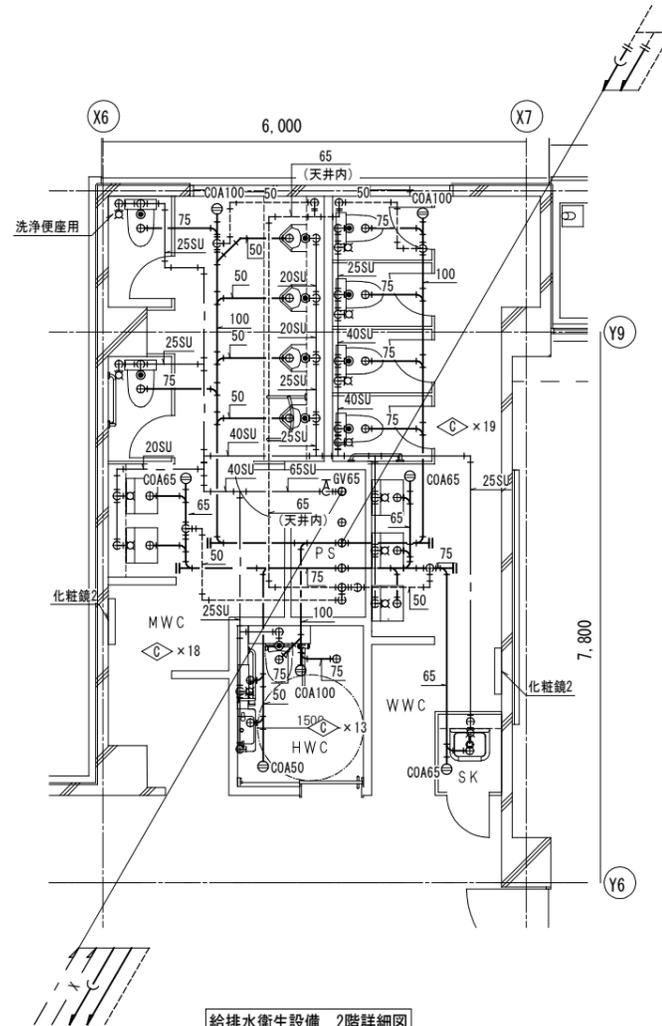
注 特記なき配管は床下配管を示す。
 注 破線は既設を示し、実線部は新設を示す。



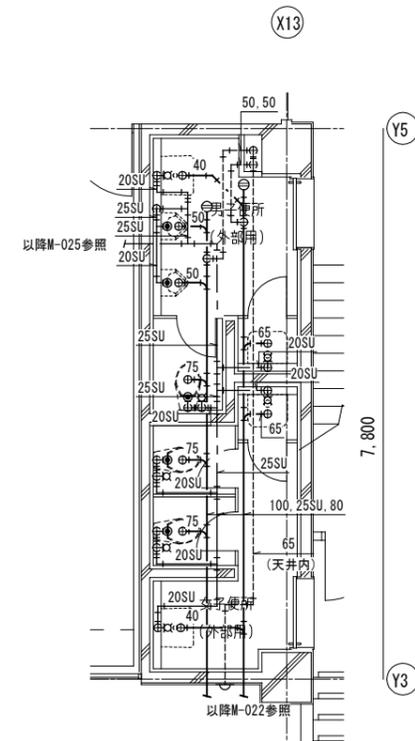
給排水衛生設備 R階平面図



給排水衛生設備 1階詳細図



給排水衛生設備 2階詳細図



給排水衛生設備 1階詳細図

コア抜きリスト				
記号	開口箇所	サイズ	躯体厚	数量
△	壁	100φ	150mm	-
◇	床	100φ	150mm	108

注 特記なき配管は床下配管を示す。

凡例

記号	名称	摘要	記号	名称	摘要
R	冷媒配管	冷媒配管用被覆断熱銅管	□	空調機	天井埋込カセット型
		JISH3300の1220の銅管にJISA9511によるPE-C-P2の保温筒を被覆したものとす。	□	空調機	天吊型
		屋外外装：SUS製ラッキング	□	空調機	壁掛型
D	ドレン管	硬質塩化ビニル管(WP) JIS K 6741	□	空調機	床置型
			□	空調機	窓枠取付型
			□	空調機	室外機

空調設備機器表(撤去)

記号	機器名称	機器仕様					電源	台数	備考
		形式	冷房負荷 (KW)	暖房負荷 (KW)	リモコン数	防振装置			
【附属中学校 2号館】									
ACP2101	室内ヒートポンプ式パッケージエアコン	室外機	10.0	11.2	1	○	1階	3-200	112形 ドレンアップメカ共
		室内機：天吊型							101事務室
ACP2102	室内ヒートポンプ式パッケージエアコン	室外機	12.5	14.0	1	○	1階	3-200	140形 ドレンアップメカ共
		室内機：天吊型							102理科教室(1)
ACP2103	室内ヒートポンプ式パッケージエアコン	室外機	5.0	5.6	1	○	1階	3-200	2 56形 室外機用ブラケット加架台共
		室内機：天吊型							105理科研究室 107国語準備室
ACP2104	室内ヒートポンプ式パッケージエアコン	室外機	10.0	11.2	1	○	1階	3-200	112形 ドレンアップメカ共
		室内機：天吊型							104理科教室(2)
ACP2105	室内ヒートポンプ式パッケージエアコン	室外機	10.0	11.2	1	○	1階	3-200	112形 ドレンアップメカ共
		室内機：天吊型							106理科教室(3)
ACP2106	室内ヒートポンプ式パッケージエアコン	室外機	14.0	16.0	1	○	1階	3-200	3 160形 ドレンアップメカ共
		室内機：天吊型							108図書室
ACP2107	ルームエアコン	室外機	2.5	2.5	1	○	1階	1-100	1
		室内機：壁掛型							109司書室
ACP2108	室内ヒートポンプ式パッケージエアコン	室外機	5.6	6.7	1	○	1階	1-200	2 木台共
		室内機：床置型							112調理教室
ACP2110	室内ヒートポンプ式パッケージエアコン	室外機	5.6	6.3	1	○	1階	1-200	1 63形 ドレンアップメカ共
		室内機：天吊型							113家庭科準備室
ACP2111	室内ヒートポンプ式パッケージエアコン	室外機	4.5	5.0	1	○	1階	1-200	1 50形 ドレンアップメカ共
		室内機：天吊型							114被服教室
ACP2113	室内ヒートポンプ式パッケージエアコン	室外機	4.5	5.0	1	○	1階	1-200	1 50形 ドレンアップメカ共
		室内機：天吊型							114被服教室
ACP2201	ルームエアコン	室外機	2.5	2.5	1	○	2階	1-100	2
		室内機：壁掛型							201スタジオ 202放送室
ACP2202	室内ヒートポンプ式パッケージエアコン	室外機	12.5	14.0	1	○	2階	3-200	2 140形
		室内機：天吊型							204教員室
ACP2203	室内ヒートポンプ式パッケージエアコン	室外機	3.6	4.8	1	○	2階	1-200	2 木台共 準備室は室外機用ブラケット架台共
		室内機：床置型							206応接室 208準備室
ACP2204	室内ヒートポンプ式パッケージエアコン	室外機	3.6	4.8	1	○	2階	1-200	1 木台共
		室内機：床置型							207校長室
ACP2205	室内ヒートポンプ式パッケージエアコン	室外機	28.0	30.0	1	○	2階	3-200	1 床置きダクト型 加湿機能付
		室内機：床置型							213空調機械室
ACP2206	室内ヒートポンプ式パッケージエアコン	室外機	28.0	30.0	1	○	2階	3-200	1 床置きダクト型 加湿機能付き
		室内機：床置型							213空調機械室
ACP2208	室内ヒートポンプ式パッケージエアコン	室外機	5.0	5.6	1	○	2階	1-200	1 56形
		室内機：天吊型							217英語研究室
ACP2209	室内ヒートポンプ式パッケージエアコン	室外機	5.6	6.3	1	○	2階	1-200	2 63形
		室内機：天吊型							220会議室
ACP2114	ルームエアコン	室外機	4.5	5.0	1	○	1階	1-100	1 50形
		室内機：天吊型							103準備室
ACP2210	ルームエアコン	室外機	3.6	4.0	1	○	2階	1-100	1 50形
		室内機：天吊型							218教生印刷室

付属品はリモコンスイッチ、化粧パネル、転倒防止金具とする。

冷媒配管サイズ表 (参考)

記号	冷媒ガス管	冷媒液管
①	9.5φ	6.4φ
②	12.7φ	6.4φ
③	15.9φ	9.5φ

凡例

記号	名称	摘要
300 VU	硬質塩化ビニル管	JIS K 6741 VU管
200 X100	矩形ダクト	JIS G 3302 (亜鉛鉄板) JIS K 6744 (塩化ビニルフィンプレート)
150φ	スパイラルダクト	JIS G 3302 (亜鉛鉄板)
VD	風量調整ダンパー	
FD	防火ダンパー	
FVD	風量調整兼用防火ダンパー	
MD	電動式ダンパー	
吹出口	吹出口	
吸込口	吸込口	
大のり継手	大のり継手	
消音チャンバー	消音チャンバー	ガラスウール25mm厚内貼
消音エルボ	消音エルボ	"
天がい	天がい	亜鉛鉄板製
換気用ダクトダクト	換気用ダクトダクト	
カウリ	カウリ	別途建築工事
全熱交換型換気扇	全熱交換型換気扇	天井埋込型
換気扇	換気扇	天井埋込型
換気扇	換気扇	窓枠取付型

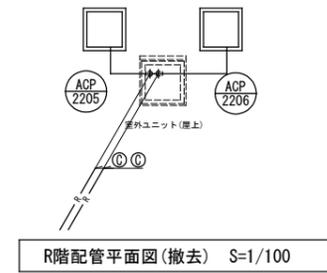
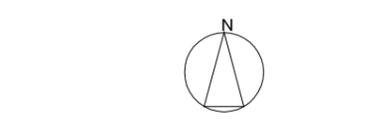
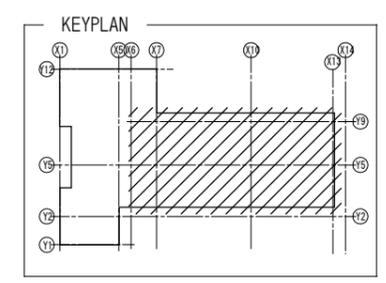
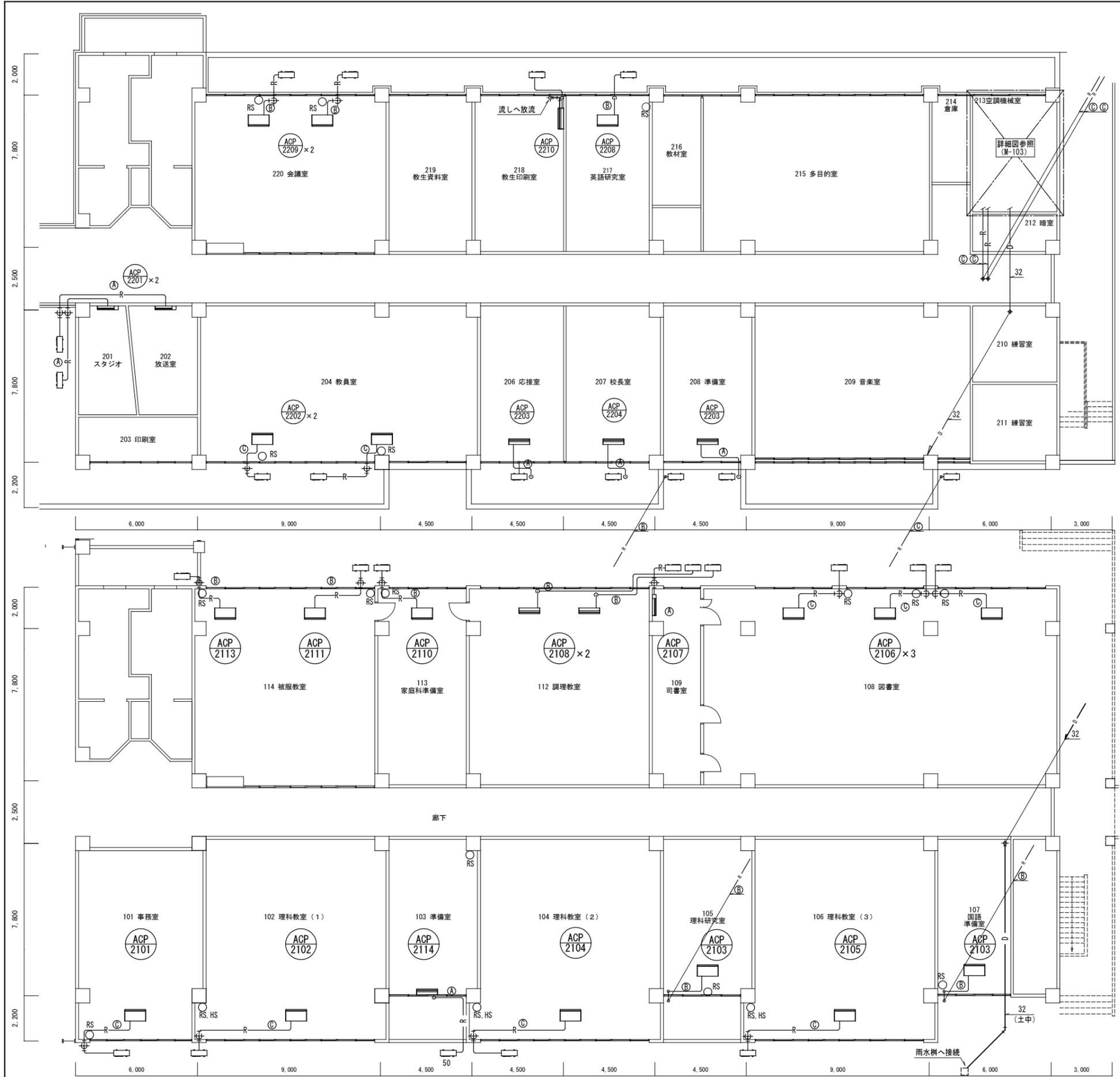
換気設備機器表(撤去)

機器記号	機器名称	系統	仕様	設置箇所			数量
				1F	2F	RF	
EF-1	消音ボックス付ダクトファン	102,104,106 理科教室	300φ x 1240mm x 7mm厚 1φ100V 60Hz	3			3
-2	レンジフード	113 準備室	700mm x 7mm厚 ベントキマツP150付 深型60cm幅 风量2段調節スイッチ付	1			1
-4	天井付換気扇	118 更衣室	170mm x 3mm厚 ベントキマツP150付	1			1
-5	"	120 シェア室	65mm x 2mm厚 " 100付	1			1
-6	"	121 更衣室	90mm x 3mm厚 " " "	1			1
-7	"	123 " "	850mm x 6mm厚 " " 150付	1			1
-9	消音ボックス付ダクトファン	201 スタジオ 202 放送室	200φ x 480mm x 7mm厚 " "	1			1
-10	天井取付ダクトファン	205 湯沸室	125mm x 3mm厚 " ベントキマツP150付	1			1
-11	硬質塩化ビニル製 片吸込シロッコファン	112 調理教室	SS#2 2000mm x 12mm厚 x 0.4kW 3φ200V 60Hz ファンは硬質塩化ビニル板(JIS K 6745)で製作とする			1	1

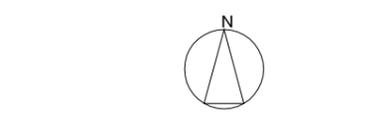
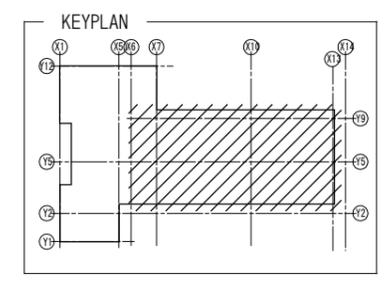
換気設備機器表(撤去)

記号	機器名称	機器仕様					電源	電容量	台数	備考
		形式	風量 (CMH)	機外静圧 (Pa)	ダクト (φ)	設置場所				
【附属中学校2号館】										
HEX-1	全熱交換ユニット	天井吊型	500	100	250	各所			4	
FE-1	換気扇(天井埋込型)	低騒音型	400	40	150	2F西男子トイレ、1F西女子トイレ	SUS製 深型7-ド、天吊金具	1-100	0.082	2
FE-2	換気扇(天井埋込型)	低騒音型	470	60	150	1F西男子トイレ、2F西女子トイレ	SUS製 深型7-ド、天吊金具	1-100	0.082	2
FE-3	換気扇(天井埋込型)	低騒音型	120	10	100	2F多目的トイレ	SUS製 深型7-ド、天吊金具	1-100	0.015	1
FE-4	換気扇(天井埋込型)	低騒音型	170	30	100	1F東トイレ	SUS製 深型7-ド、天吊金具	1-100	0.023	2
FE-5	換気扇(天井埋込型)	低騒音型	150	100	150	1F更衣室	SUS製 深型7-ド、天吊金具	1-100	0.023	1
FE-6	換気扇(天井埋込型)	低騒音型	120	100	200	1F多目的トイレ	SUS製 深型7-ド、天吊金具	1-100	0.015	1
F-1	壁掛け換気扇				200	各所	SUS製7-ド			10
F-2	壁掛け換気扇				250	各所	SUS製7-ド			2
F-3	壁掛け換気扇				300	各所	SUS製7-ド			3
F-4	壁掛け換気扇				350	2・3空調機械室	SUS製7-ド			1

注記 1) 特記なきは撤去とする。



2階配管平面図 (撤去) S=1/100

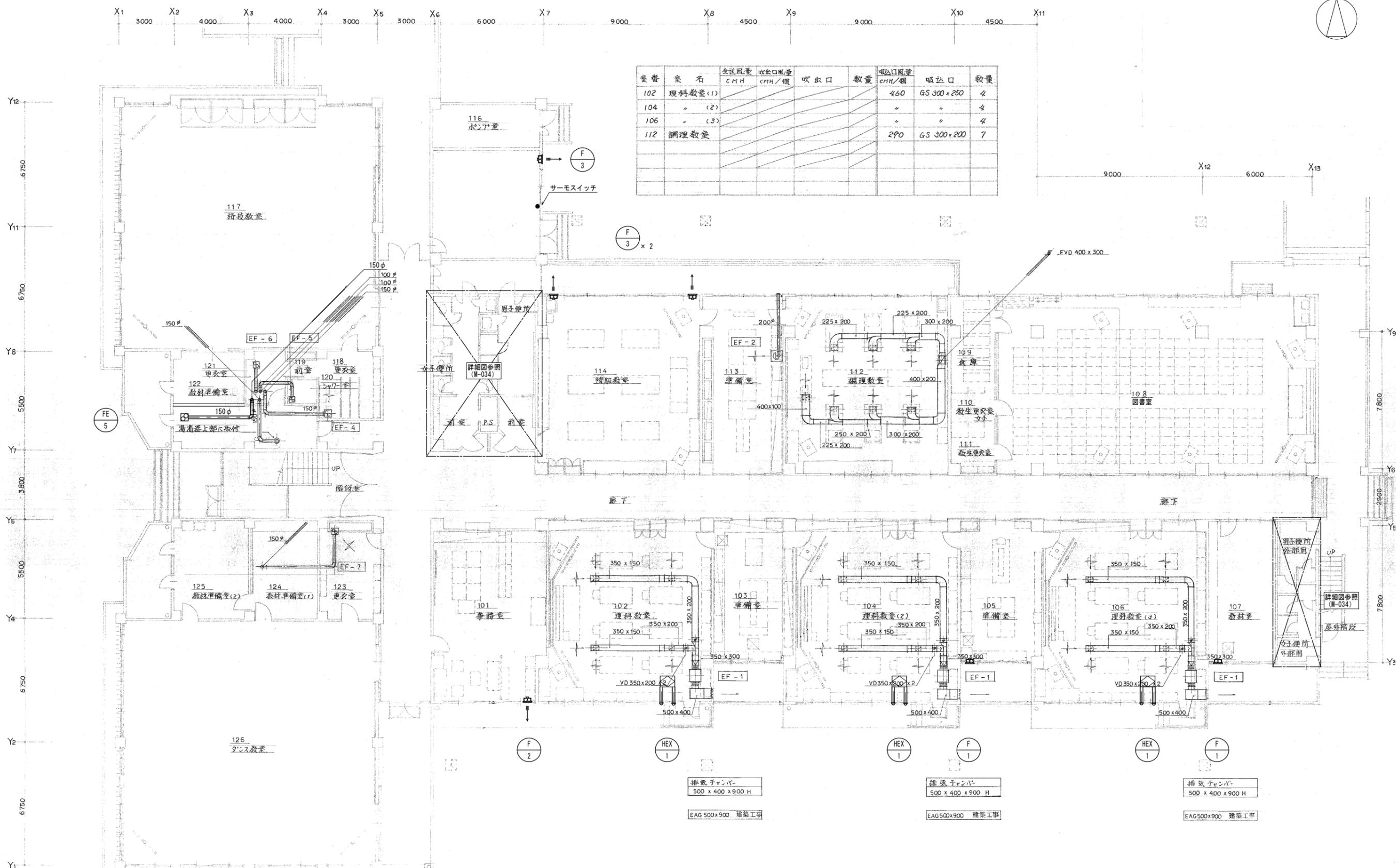


1階配管平面図 (撤去) S=1/100

注記 1) 特記なきは撤去とする。

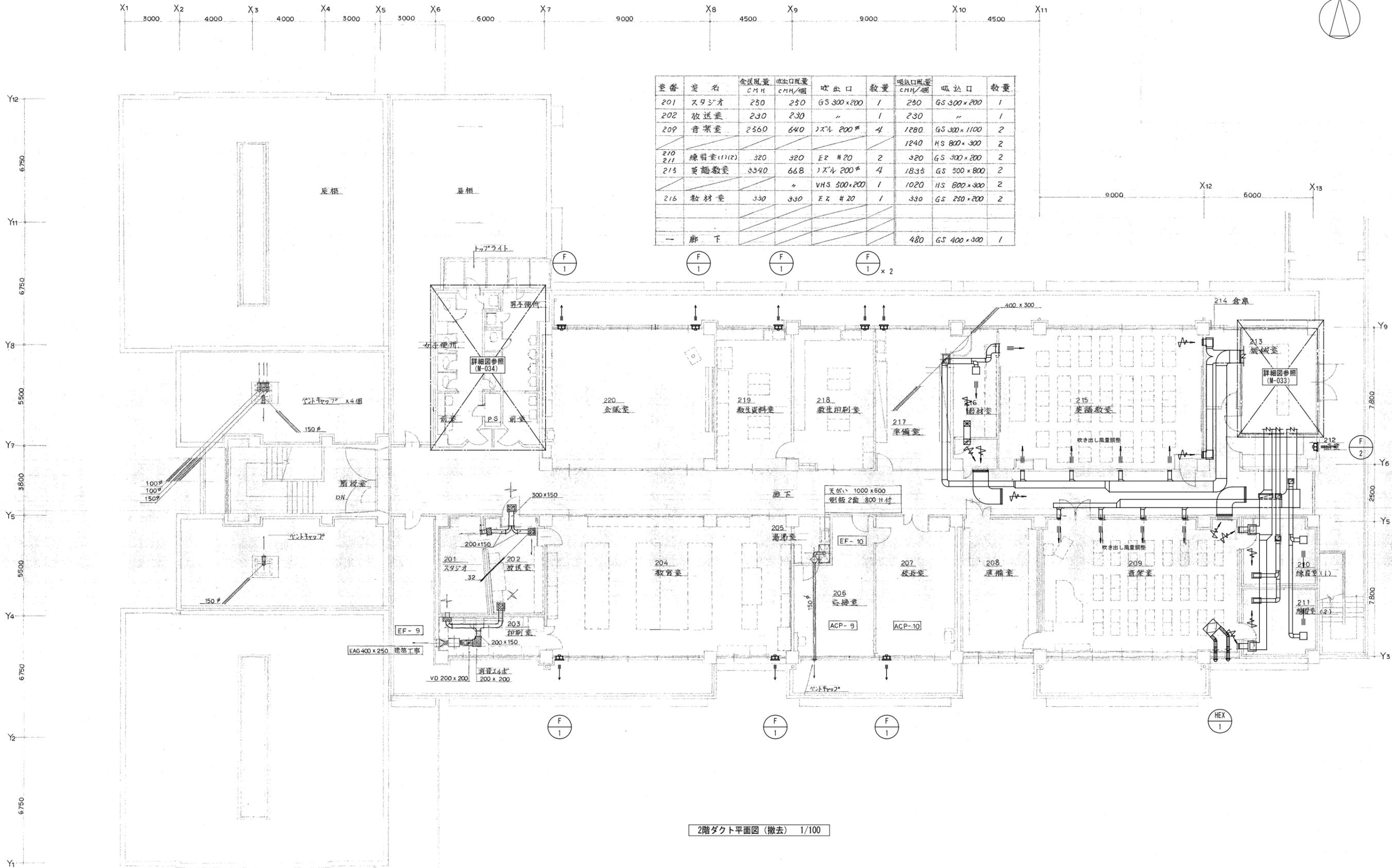
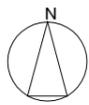


室番号	室名	全送風量		吹出口	数量	吸込口		数量
		CMH	CMH/個			CMH/個	数量	
102	理科教室(1)					460	GS 300 x 250	4
104	"(2)					"	"	4
106	"(3)					"	"	4
112	調理教室					290	GS 300 x 200	7



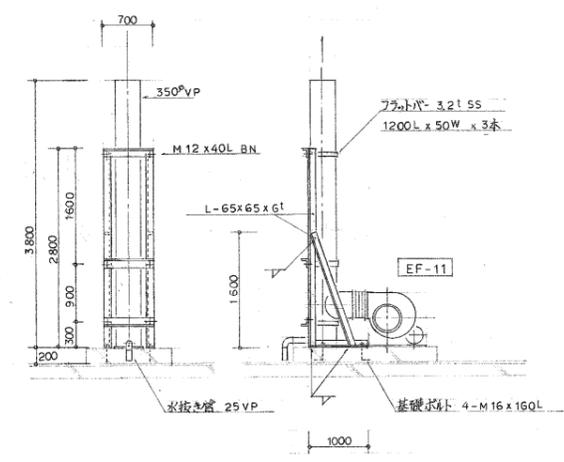
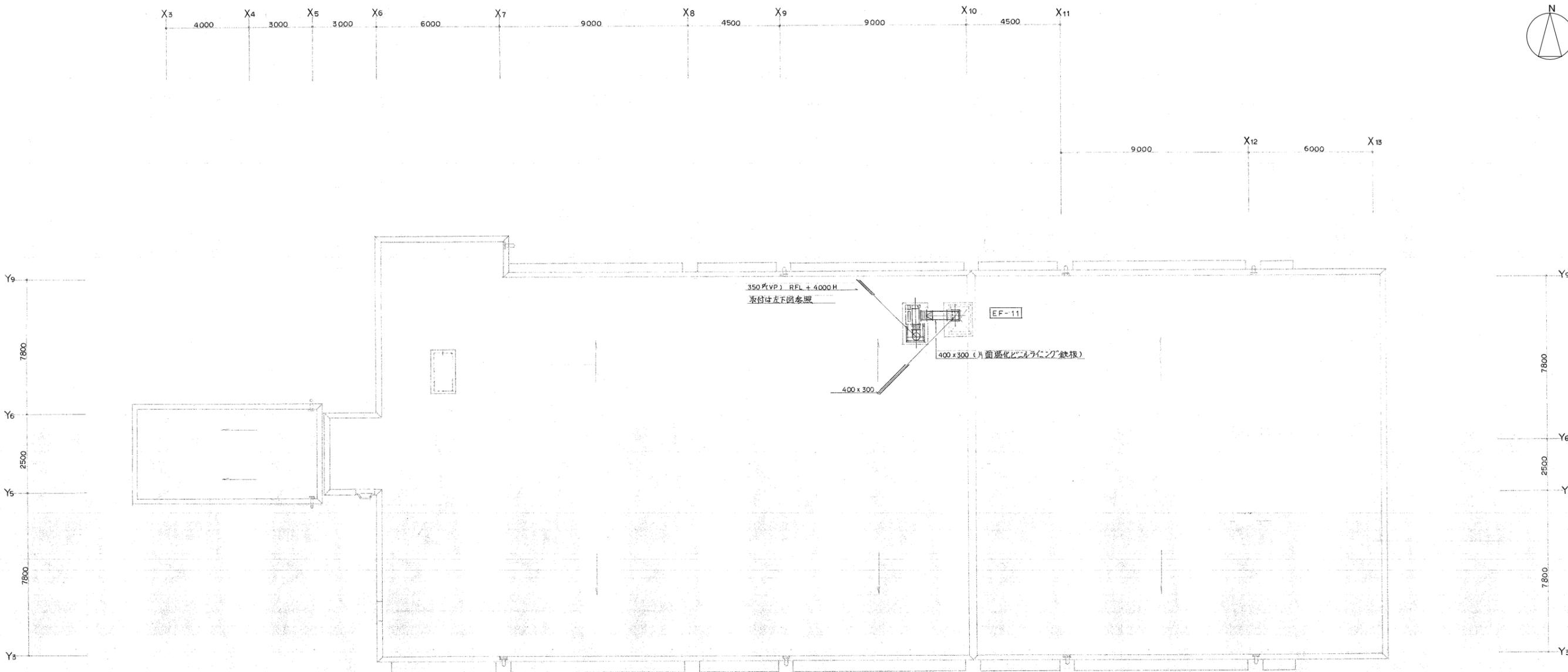
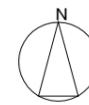
1階ダクト平面図 (撤去) 1/100

注記 1) 特記なきは撤去とする。



2階ダクト平面図(撤去) 1/100

注記 1) 特記なきは撤去とする。

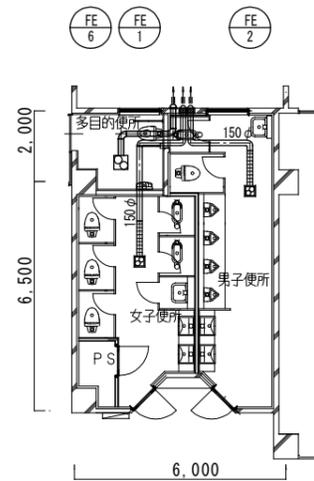
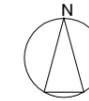
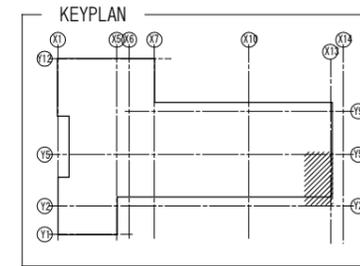
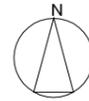
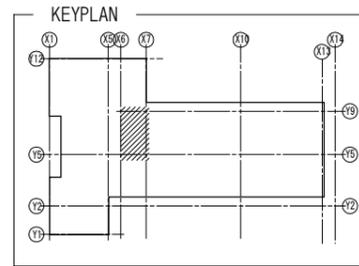
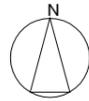
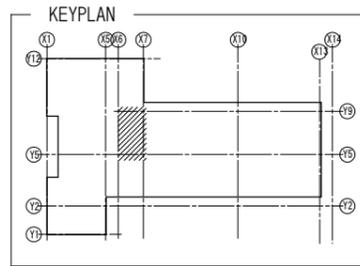


排気ダクト固定用架台取付図 1:50

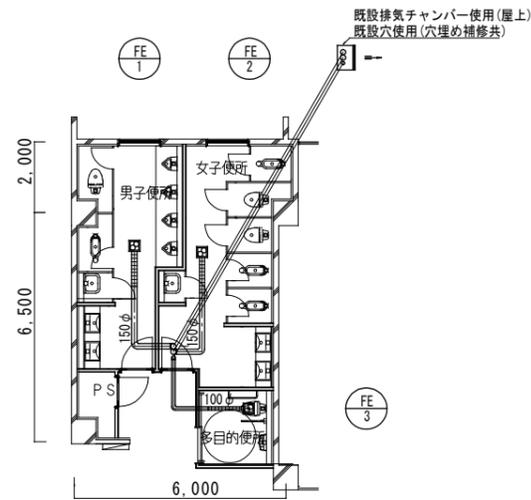
屋階ダクト平面図 (撤去) 1/100

注記 1) 特記なきは撤去とする。

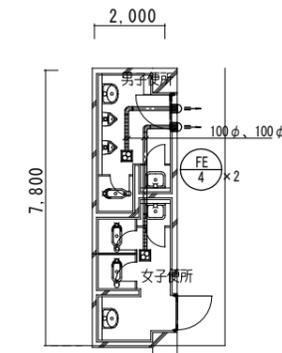
備考		 岡山大学施設企画部	 株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 (都) 第12961号 一級建築士第364242号 佐藤 勲	設計業務名	岡山大学 (東山) 附属中学校校舎改修設備設計業務	工事名称	岡山大学 (東山 (一)) 附属中学校校舎改修Ⅱ機械設備工事	縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号 M-032
					図面名称	空調・換気設備 屋階ダクト平面図 (撤去)	作成年月	令和7年11月		



1階西便所 ダクト平面図(撤去) S=1/50



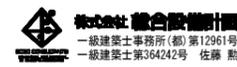
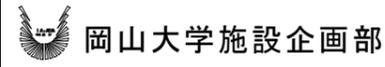
2階西便所 ダクト平面図(撤去) S=1/50



2号館1階東便所 換気設備平面図(改修) S=1/50

注記 1) 特記なきは撤去とする。

備考	
----	--

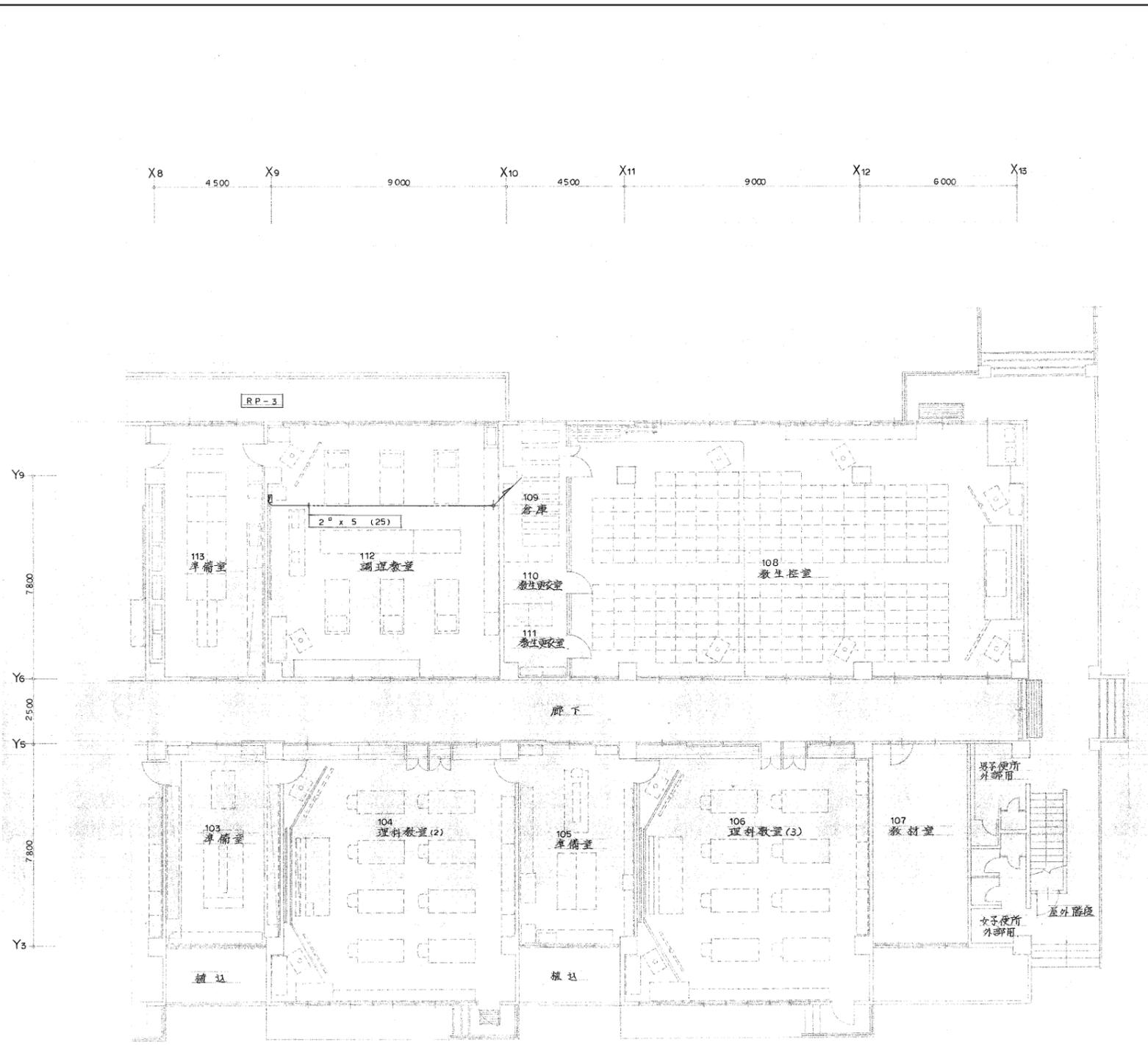


設計業務名
岡山大学(東山)附属中学校校舎改修設備設計業務

工事名称
岡山大学(東山(一))附属中学校校舎改修Ⅱ機械設備工事
図面名称
空調調和・換気設備 便所ダクト詳細図(撤去)

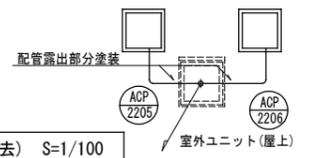
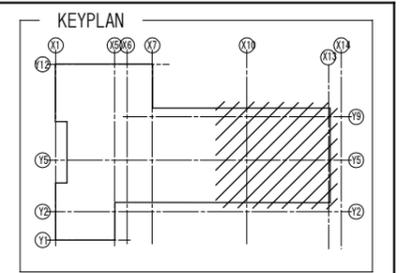
縮尺 A1:1/50
A3:1/100
作成年月
令和7年11月

図面番号
M-034



1階平面図 (撤去) S=1/100

記号	名称	摘要
----	露出配管配線	
----	床下露出配管配線	
----	天井内及びPS内配管配線	
ECP	自動制御盤	
RP	遠方操作盤	
⊙	電動ダンパー	
□	室内形湿度調節器	
□	室内形湿度調節器	
□	フルボックス	
□ OB	アクトレットボックス	102 x 44

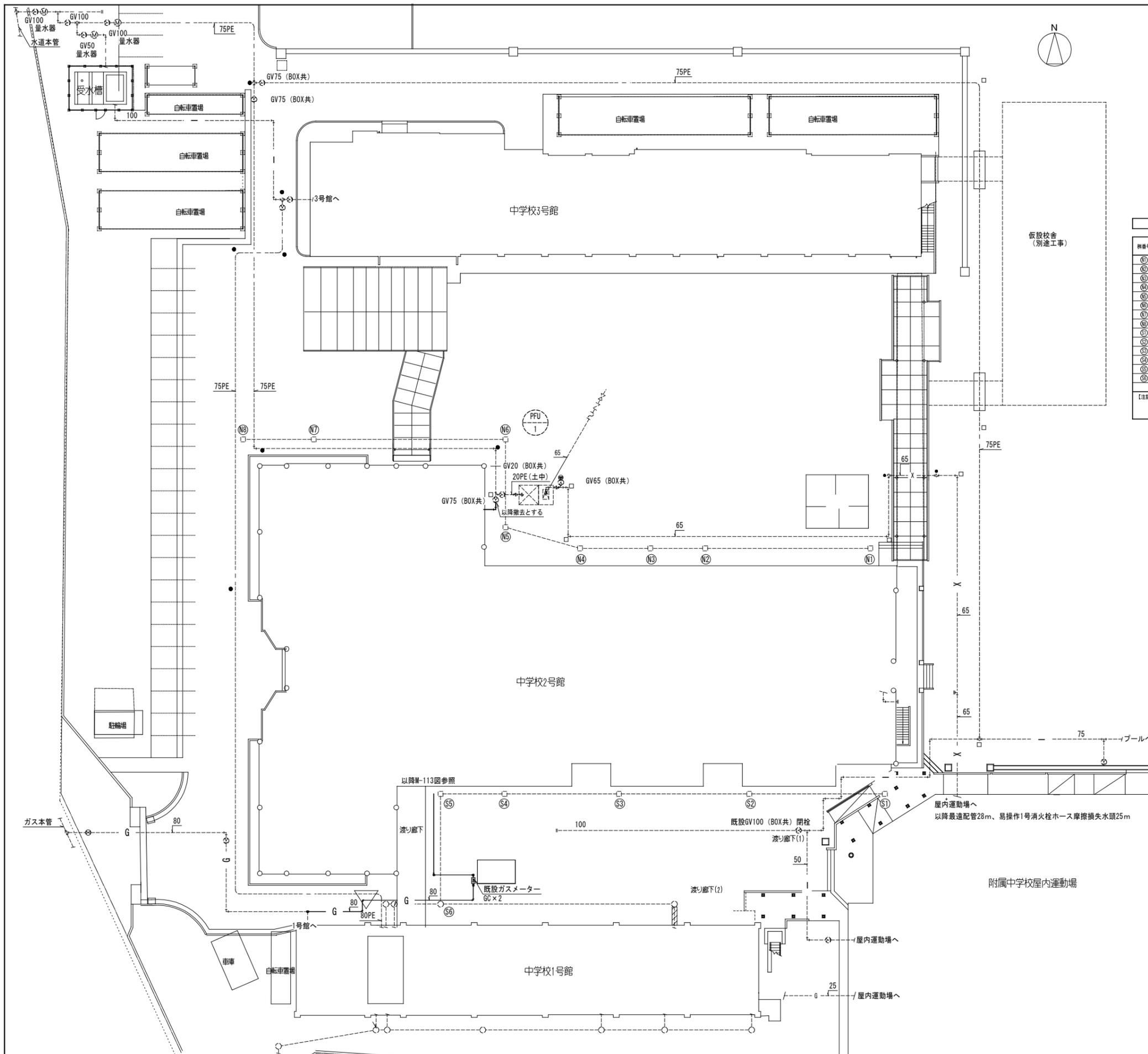


R階平面図 (撤去) S=1/100

2階平面図 (撤去) S=1/100

記号	配線	配管(露出部)
①	EM-CEES1. 25口-4C	メタルモール
②	EM-CEES1. 25口-2C	E25
	EM-CEE2口-2C	
③	EM-CEE2口-3C × 2	E25
	EM-CEES1. 25口-2C	メタルモール
④	EM-CEE2口-3C	
	EM-CEES2口-2C	

注記 1) 特記なきは撤去とする。



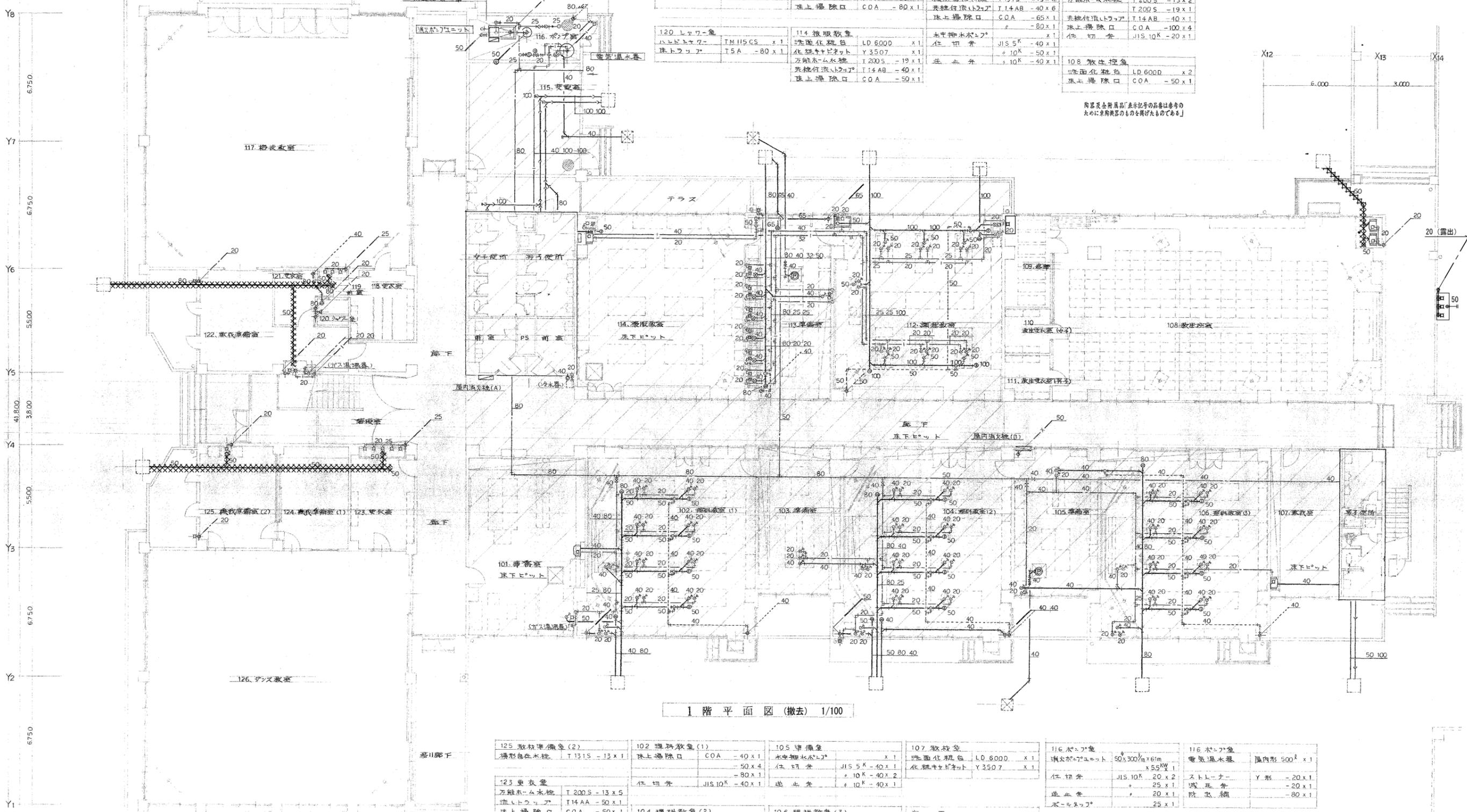
群番号	群名称	群仕様	記号	流入口径	群径	群仕様	地盤高(T.P.) (m)	管底高(T.P.) (m)	群深さ (mm)	土壁リ (mm)	配管勾配	備考
①	インバート	コンクリート	SC-1	150	400×400	マンホール-6	0.30	0.15	450	300	1/100	別途建築工事
②	インバート	コンクリート	SC-1	150	450×450	マンホール-6	0.32	0.28	600	450	1/100	別途建築工事
③	インバート	コンクリート	SC-2	150	450×450	マンホール-6	0.33	0.32	655	505	1/100	別途建築工事
④	インバート	コンクリート	SC-3	150	450×450	マンホール-6	0.335	0.36	700	550	1/100	別途建築工事
⑤	インバート	コンクリート	SC-3	150	450×450	マンホール-6	0.34	0.41	755	605	1/100	別途建築工事
⑥	インバート	コンクリート	SC-3	150	450×450	マンホール-6	0.49	0.21	705	555	1/100	別途建築工事、群Aへ接続
⑦	インバート	コンクリート	SC-3	150	450×450	マンホール-6	0.63	0.12	755	605	1/100	既設(再使用)
⑧	インバート	コンクリート	SC-3	200	800×800	マンホール-20	0.665	0.12	1410	1210	1/100	
⑨	インバート	コンクリート	SC-1	150	400×400	マンホール-6	0.425	0.02	450	300	1/100	別途建築工事
⑩	インバート	コンクリート	SC-2	150	450×450	マンホール-6	0.425	0.13	560	710	1/100	別途建築工事
⑪	インバート	コンクリート	SC-3	150	450×450	マンホール-6	0.425	0.27	700	550	1/100	別途建築工事
⑫	インバート	コンクリート	SC-3	150	600×600	マンホール-6	0.425	0.42	850	700	1/100	別途建築工事、群Bへ接続
⑬	インバート	プラスチック	9L	150	600×600	マンホール-6	0.425	0.45	880	730	1/100	既設(再使用)
⑭	インバート	プラスチック	9L	150	600×600	マンホール-6	0.41	0.57	985	835	1/100	

【注記】
 ・特記なき仕様については、各自設体の基準による。
 ・傾斜設置は、逆戻り防止用チェーン付きとすること。
 ・コンクリート製インバート群の上流側管径と下流側管径は20mm程度の落差を設けること。

注 破線は既設又は別途工事を示し、
 太線部は撤去を示す。
 注 特記なき配管は土中埋設配管を示す。



X1	X2	X3	X4	X5	X6	X7	X8	X9	X10	X11
3,000	4,000	4,000	3,000	3,000	6,000	9,000	4,500	9,000	4,500	9,000



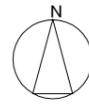
122 教員準備室 楕円自在水栓 T131S-13 x 2 仕切弁 JIS10K-20 x 1	119 用室 万能ホーム水栓 T200S-13 x 3 流しトラップ T14AA-50 x 1 床上掃除口 COA-80 x 1	113 準備室 楕円自在水栓 T131S-13 x 12 共給付流しトラップ T14AB-40 x 6 床上掃除口 COA-65 x 1 仕切弁 JIS5K-40 x 1	112 調理教室 洗面機バス FW30A x 1 万能ホーム水栓 T200S-13 x 2 共給付流しトラップ T14AB-40 x 1 床上掃除口 COA-100 x 4 仕切弁 JIS10K-20 x 1
120 レッスン室 ハンドシャワー TM115CS x 1 床トラップ TSA-80 x 1	114 被服教室 洗面化粧台 LD600D x 1 化粧キabinネット Y3507 x 1 万能ホーム水栓 T200S-19 x 1 共給付流しトラップ T14AB-40 x 1 床上掃除口 COA-50 x 1	水中排水ホック 仕切弁 JIS5K-40 x 1 仕切弁 JIS10K-40 x 1 排水弁 JIS10K-40 x 1	108 教生教室 洗面化粧台 LD600D x 2 床上掃除口 COA-50 x 1

尚書及会附属部「表示記号」の品番は参考のためには別添のものを掲げたものである

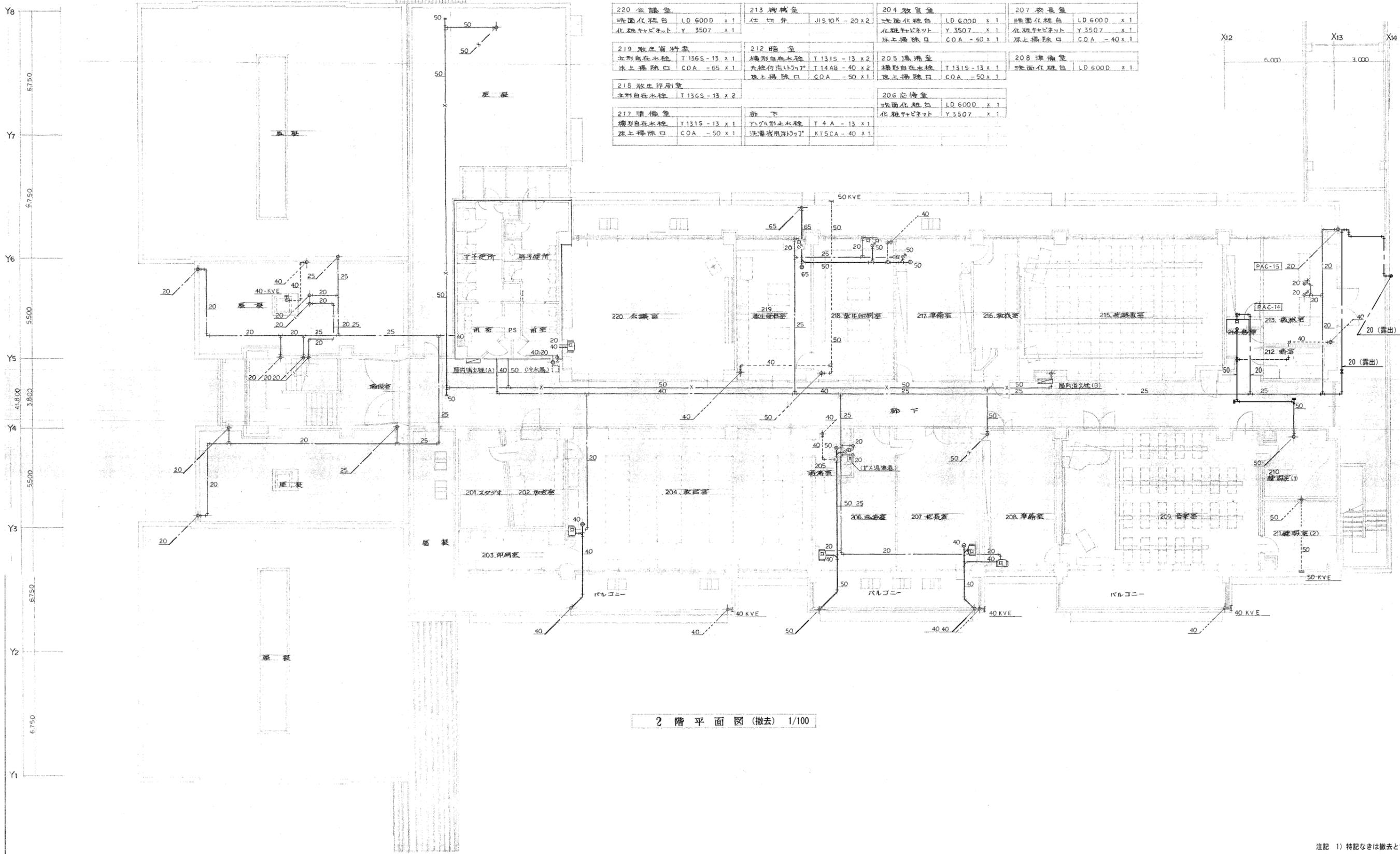
1階平面図(撤去) 1/100

125 教員準備室(2) 楕円自在水栓 T131S-13 x 1	102 理科教室(1) 床上掃除口 COA-40 x 1 仕切弁 JIS10K-40 x 1	105 準備室 水中排水ホック x 1 仕切弁 JIS5K-40 x 2 排水弁 JIS10K-40 x 2	107 教員室 洗面化粧台 LD600D x 1 化粧キabinネット Y3507 x 1	116 ホール室 楕円自在水栓 50 x 300 mm x 6 mm x 55 KW x 1 仕切弁 JIS10K-20 x 2 排水弁 JIS10K-20 x 1 ホック x 25 x 1	116 ホール室 電気温水器 屋内形 500 L x 1 電気温水器 Y形 -20 x 1 ストレーナー -20 x 1 排水弁 -80 x 1
123 更衣室 万能ホーム水栓 T200S-13 x 5 流しトラップ T14AA-50 x 1 床上掃除口 COA-50 x 1	104 理科教室(2) 床上掃除口 COA-40 x 1 仕切弁 JIS10K-40 x 1	106 理科教室(3) 床上掃除口 COA-50 x 4 排水弁 JIS10K-40 x 1	108 教員室 洗面機バス T4A-13 x 1 共給付流しトラップ KT5CA-40 x 1		
101 事務室 洗面化粧台 LD600D x 1 化粧キabinネット Y3507 x 1 楕円自在水栓 T131S-13 x 1	103 準備室 床上掃除口 COA-40 x 1 仕切弁 JIS10K-40 x 1	104 理科教室(2) 床上掃除口 COA-40 x 1 仕切弁 JIS10K-40 x 1	105 準備室 床上掃除口 COA-40 x 1 仕切弁 JIS10K-40 x 1		
				屋外 カマフラップ付機水栓 T26-13 x 4	

注記 1) 特記なきは撤去とする。
注記 2) 斜線はピットを示す。
注記 3) 斜線部は、はつり補修を示し別添建築工事とする。

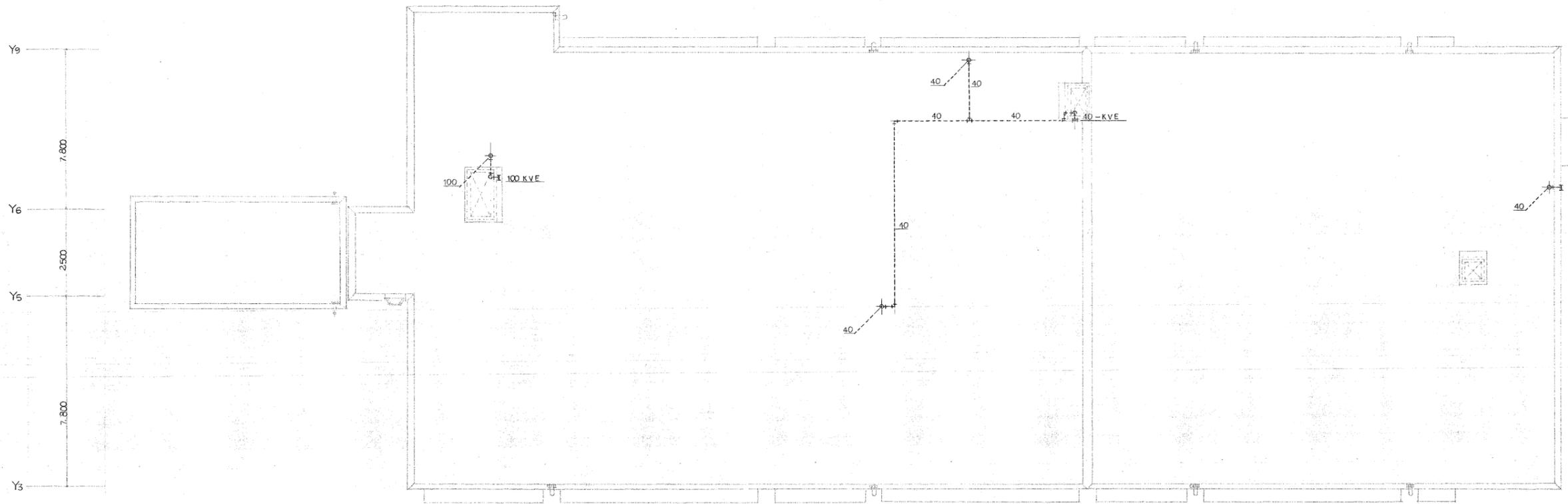
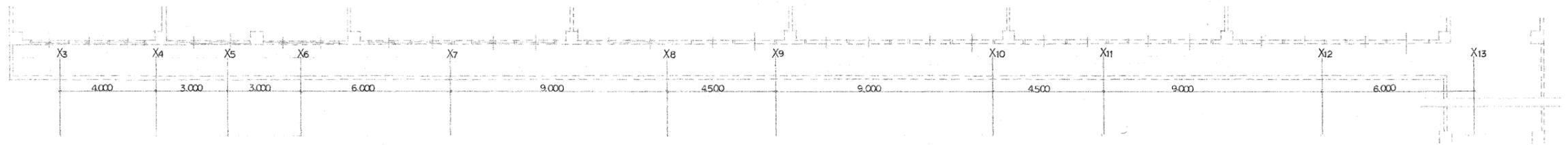


220 会議室 洗面化粧台 LD 600D x 1 化粧手洗台 Y 3507 x 1	213 機械室 仕切弁 JIS10K - 20 x 2	204 教員室 洗面化粧台 LD 600D x 1 化粧手洗台 Y 3507 x 1 床上げ開口 COA - 40 x 1	207 校長室 洗面化粧台 LD 600D x 1 化粧手洗台 Y 3507 x 1 床上げ開口 COA - 40 x 1
219 教生資料室 立形自在水栓 T 136S - 13 x 1 床上げ開口 COA - 65 x 1	212 図書 機形自在水栓 T 131S - 13 x 2 水栓付洗面台 T 14AB - 40 x 2 床上げ開口 COA - 50 x 1	205 湯沸室 機形自在水栓 T 131S - 13 x 1 床上げ開口 COA - 50 x 1	208 準備室 洗面化粧台 LD 600D x 1
218 教生印刷室 立形自在水栓 T 136S - 13 x 2	廊下 立形自在水栓 T 4A - 13 x 1 洗面機用洗面台 KT5CA - 40 x 1	206 応接室 洗面化粧台 LD 600D x 1 化粧手洗台 Y 3507 x 1	



2階平面図(撤去) 1/100

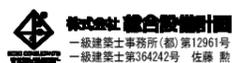
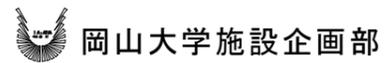
注記 1) 特記なきは撤去とする。



R 階 平 面 図 (撤去) 1/100

注記 1) 特記なきは撤去とする。

備考

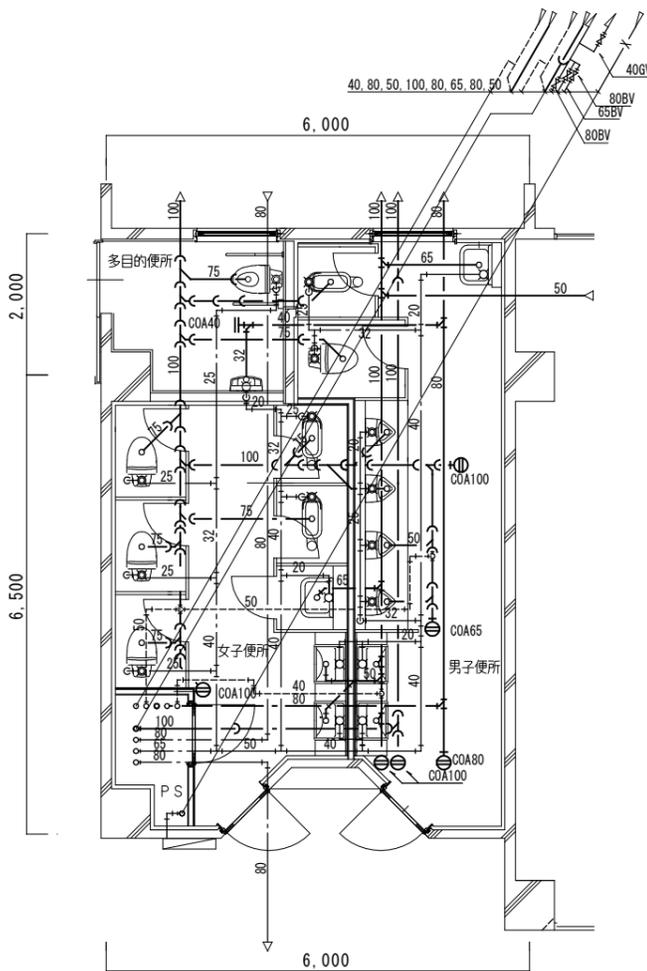
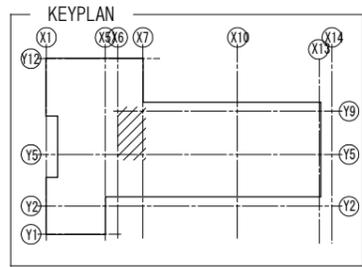


設計業務名
岡山大学(東山)附属中学校校舎改修設備設計業務

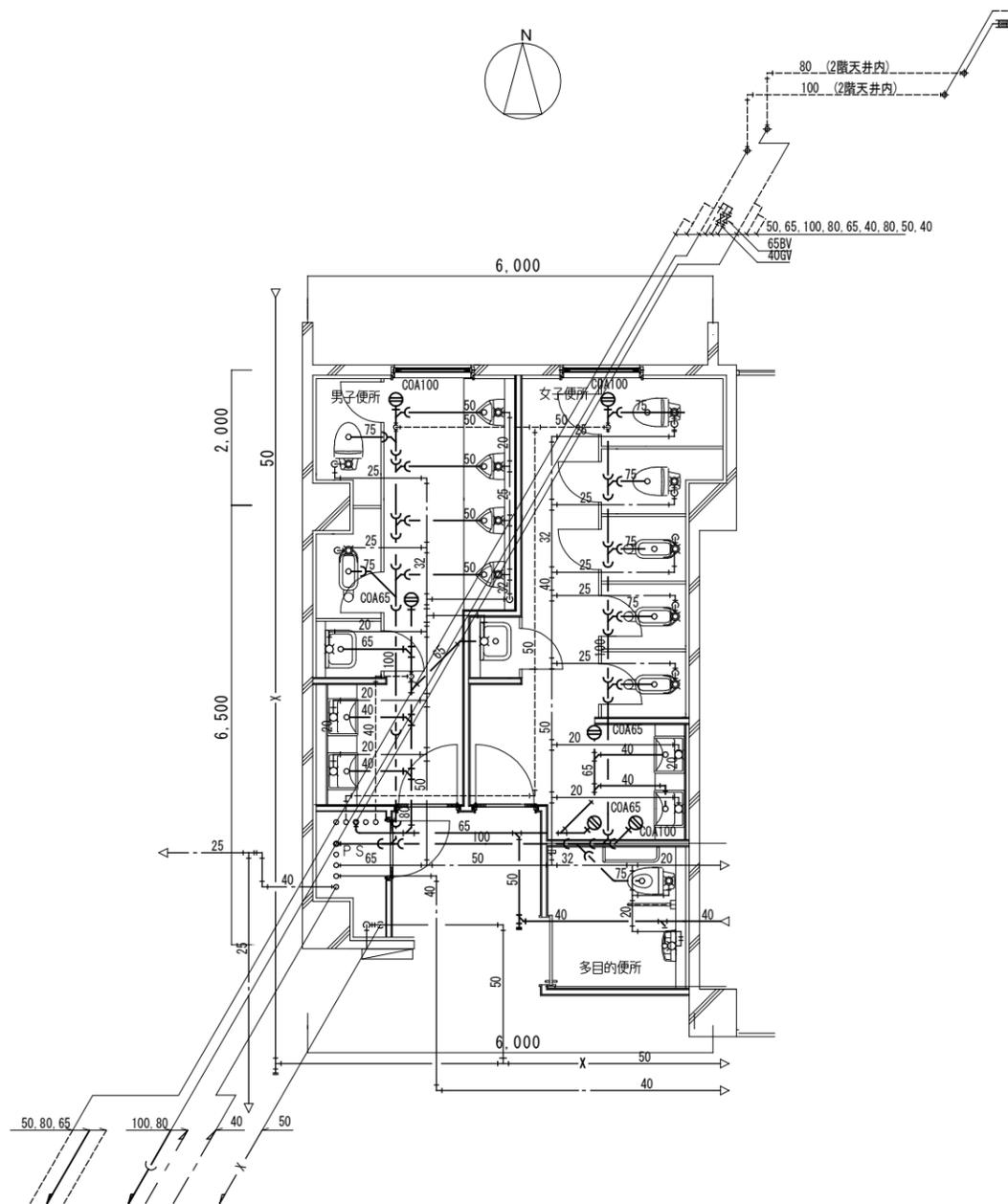
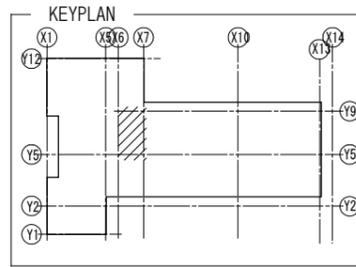
工事名称
岡山大学(東山(一))附属中学校校舎改修Ⅱ機械設備工事
図面名称
給排水衛生設備 R階平面図(撤去)

縮尺 A1:1/100
A3:1/200
作成年月
令和7年11月

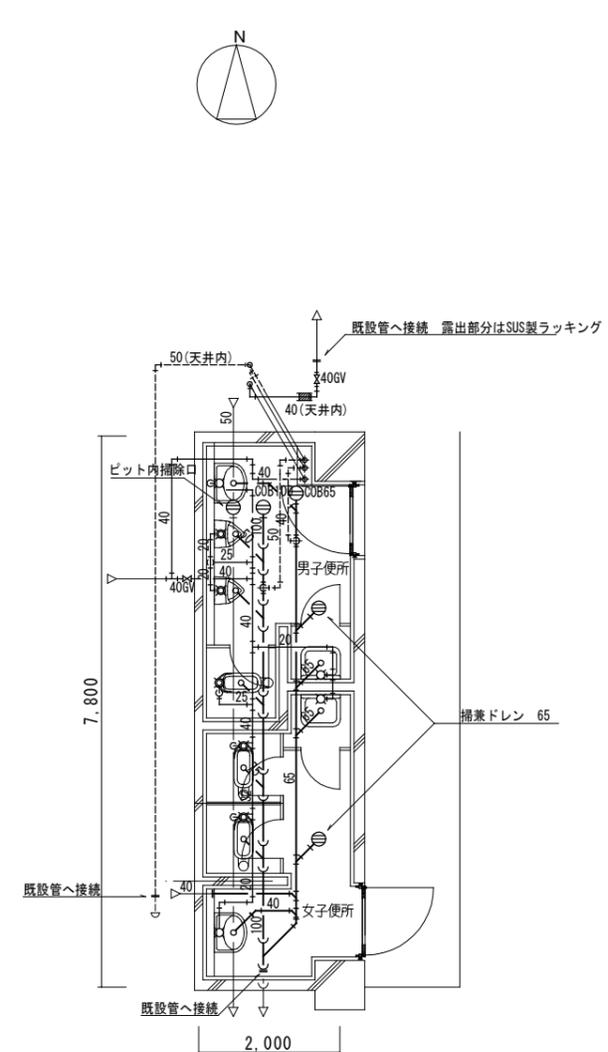
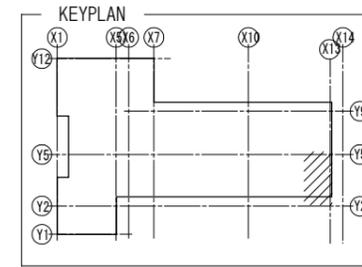
図面番号
M-042



1階西便所 給排水設備平面図(撤去) S=1/50



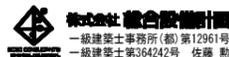
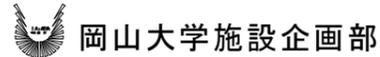
2階西便所 給排水設備平面図(撤去) S=1/50



2号館1階東便所 給排水設備平面図(改修) S=1/50

注記 1) 特記なきは撤去とする。

備考	
----	--

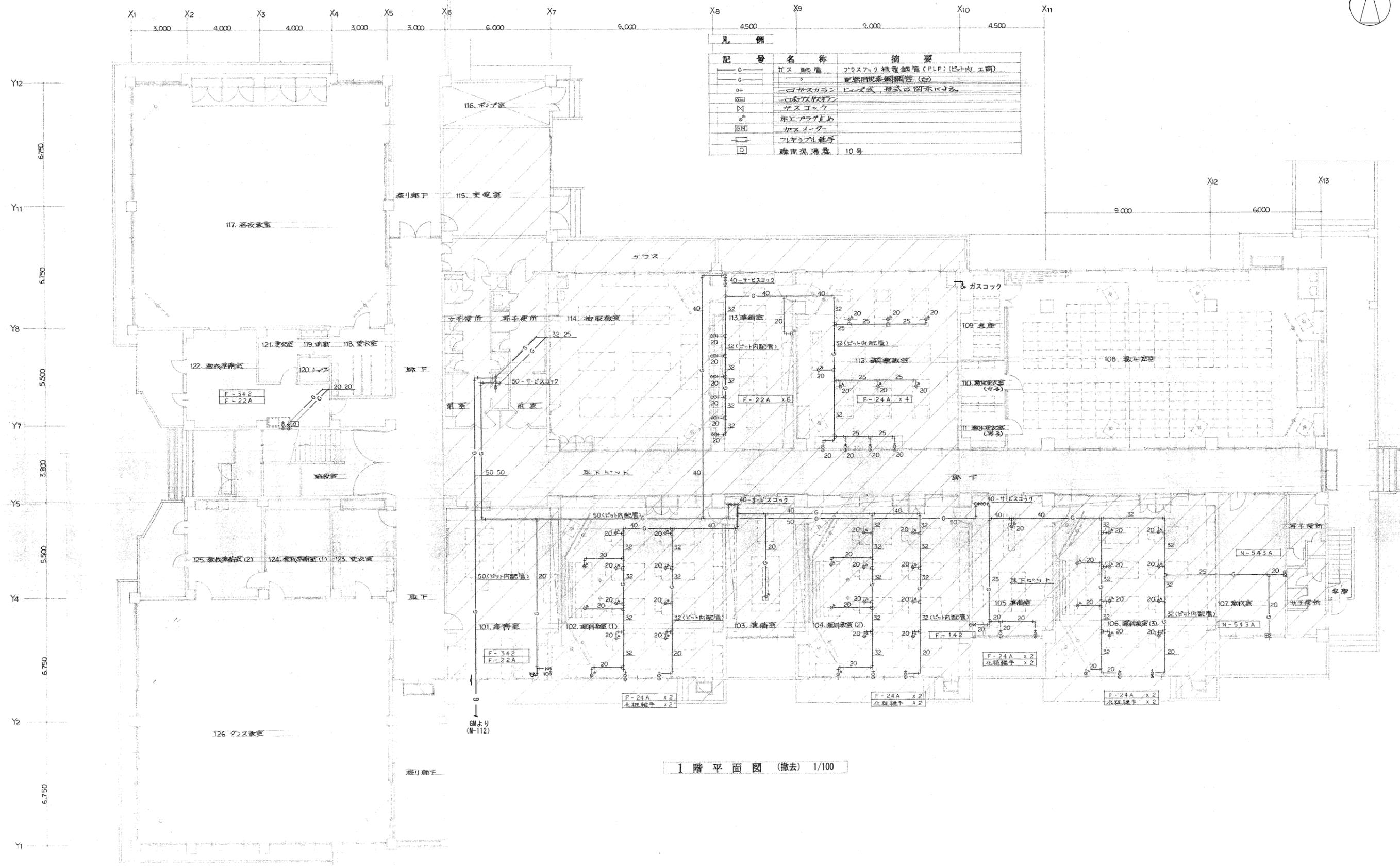
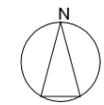


設計業務名
岡山大学(東山)附属中学校校舎改修設備設計業務

工事名称
岡山大学(東山(一))附属中学校校舎改修Ⅱ機械設備工事
図面名称
給排水衛生設備 便所詳細図(撤去)

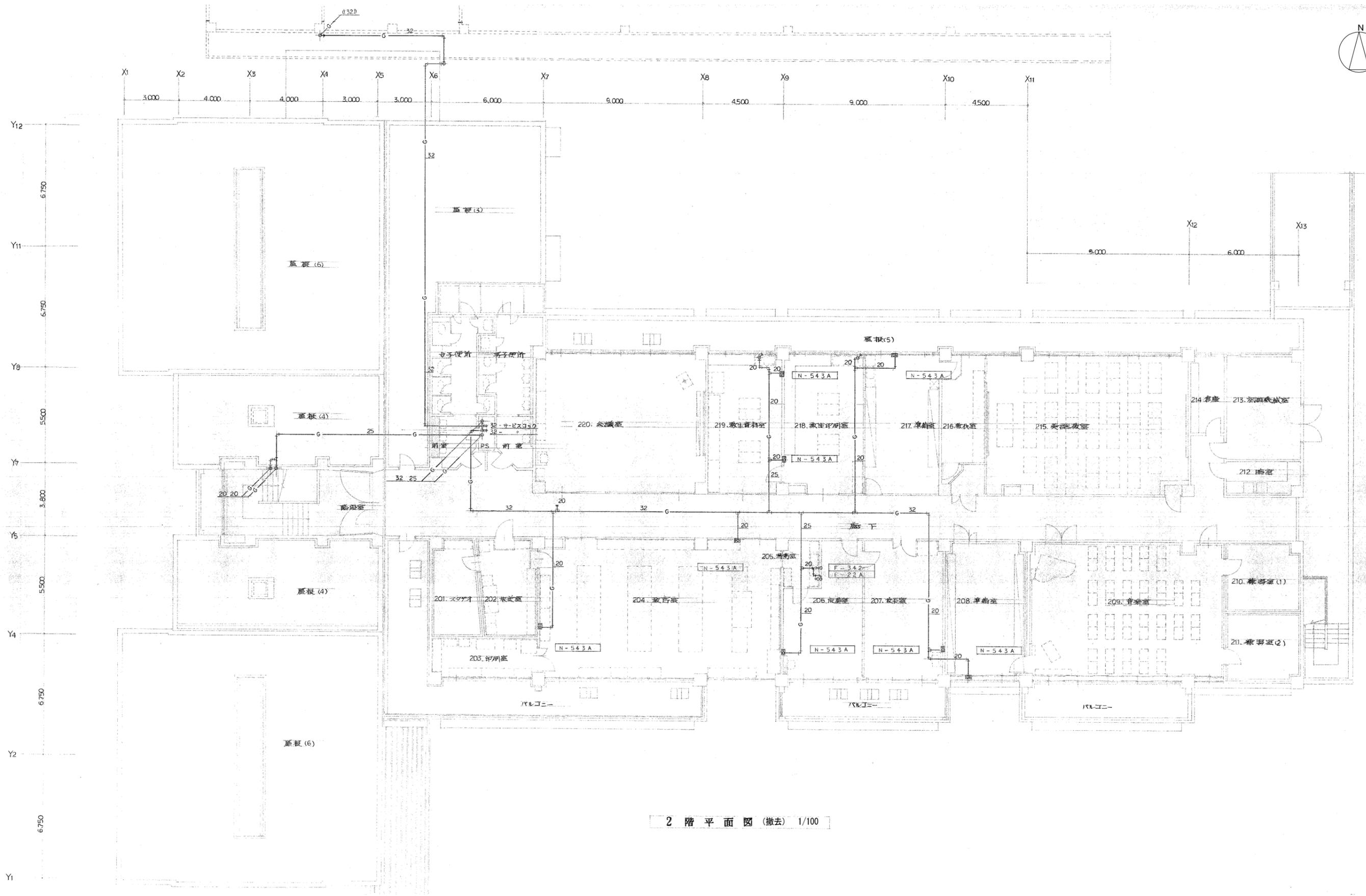
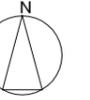
縮尺
A1:1/50
A3:1/100
作成年月
令和7年11月

図面番号
M-043



1階平面図 (撤去) 1/100

注記 1) 特記なきは撤去とする。



2 階 平 面 図 (撤去) 1/100

注記 1) 特記なきは撤去とする。

備考		 岡山大学施設企画部	 株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所(都)第12961号 一級建築士第364242号 佐藤 勲	設計業務名	岡山大学(東山)附属中学校校舎改修設備設計業務	工事名称	岡山大学(東山(一))附属中学校校舎改修Ⅱ機械設備工事	縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	M-045
				図面名称	ガス設備 2階平面図(撤去)	作成年月	令和7年11月				